

Pioneer

MD/CDコンポーネントシステム

X-MDX707

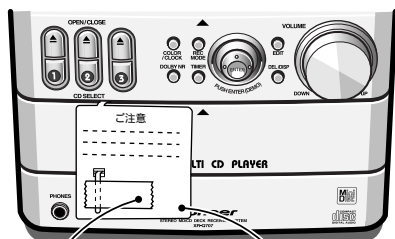
取扱説明書



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

はじめに...

電源を入れる前に必ず次の手順を行ってください。



1 テープを剥がします。

2 このあたりを持ち
ストッパーを引き
抜きます。

電源を入れる前に

1. CDトレイ前にある輸送用ストッパーのテープを剥がしてください。
2. 輸送用ストッパーを引き抜いてください。

注意

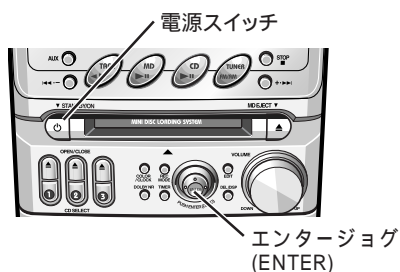
はずした輸送用ストッパーは輸送、運搬等のときに使いますので、大切に保管しておいてください。本機を輸送するときには輸送用ストッパーでCDトレイをしっかりとめておいてください。(98ページ参照)
CDをセットしたまま本機を移動しないでください。故障の原因となる場合があります。

デモ表示について

本機では以下の状態のときに自動的にデモモード(本体表示部の表示内容が自動的に切り替わる)になります。

- CD、MD、テープの演奏や録音が終了してからしばらく経過したあと
- 電源コードをコンセントに差し込んだとき
- 停電したあと

本体またはリモコンの電源スイッチか、ダイレクトパワーオンに対応しているボタン(13ページ参照)を押すと、デモモードを一時的に解除します。



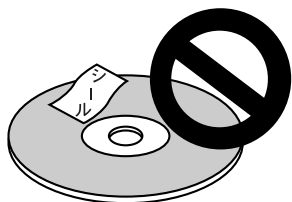
デモモードを表示しないようにするには

1. 電源スイッチを押して電源を切ります
2. エンタージョグ(ENTER)を3秒以上押します
デモ表示を行ないます。
3. デモモード表示中に、もう一度エンタージョグ(ENTER)を3秒以上押します
デモ表示が解除されます。電源スイッチを押して電源を入れ、通常の操作を行なってください。

デモモードを表示するようにするには

1. 電源スイッチを押して電源を切ります
2. エンタージョグ(ENTER)を3秒以上押します
デモ表示が行なわれ、デモモードが設定されます。電源スイッチを押して電源を入れ、通常の操作を行なってください。

注意



レーベル面に紙やシールなどを貼付いたり、キズなどをつけないようにしてください。

のりなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどはみ出しを確認してから、ご使用ください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。

図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

安全上のご注意(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告[異常時の処理]



プラグを抜け

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



もくじ

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

準備

PREPARATIONS

こんなことができます	6
付属品の確認	6
リモコンに電池を入れる	7
接続のしかた	8
各部のなまえ	11
表示の明るさをかえる	14
表示の色をかえる	15
音質を変える	16
確認音を消す	16
時計をあわせる	17

FM/AM放送

FM/AM BROADCASTS

FM/AM放送を聞く	18
放送局の受信のしかた	18
FM放送に雑音が多いとき	18
受信した放送局を記憶させる	19
記憶した放送局を呼び出す	19

CDを操作する

CD OPERATION

CDを聞く	20
聞きたい曲を選ぶ	21
演奏モードを選ぶ	21
表示を切りかえる	22
順不同で演奏する	22
繰り返し演奏する	23
好きな曲を好きな順番で聞く	24

カセットテープを使う

TAPE OPERATION

テープを聞く	26
曲の頭出しをする	27
早送り巻戻しをする	27
FM/AM放送をテープに録音する	28
CDの全曲を簡単にテープに録音する	30
CDの好きな曲だけテープに録音する	33
CDの1曲目だけをテープに録音する	34
CDの途中の曲からテープに録音する	36

MDを操作する

MD OPERATION

MDを聞く	38
表示を切りかえる	39
繰り返し演奏する	39
順不同で演奏する	39
好きな曲を好きな順番で聞く	40
MDの全曲を簡単にテープに録音する	42
MDの好きな曲だけテープに録音する	44
MDの途中の曲からテープに録音する	46
MD録音の基礎知識	48
CDの全曲を簡単にMDに録音する	50
CDの好きな曲だけMDに録音する	52
CDの1曲目だけをMDに録音する	54
CDの途中の曲からMDに録音する	56
テープの全曲を簡単にMDに録音する	58
テープをマニュアルでMDに録音する	60
CDをテープとMDに同時に録音する	62
FM/AM放送をMDに録音する	64
MDモノラル長時間録音を設定する	65
MDに曲番号をつけないで録音するには	65
表示を切りかえる	66
MDの編集機能でできること	67

曲を2つに分ける(デバインド機能)	68
2つの曲を1曲にする (コンバイン機能)	69
ひとつの曲を移動する(ムーブ機能)	70
曲を曲を並べかえる (プログラムムーブ機能)	71
曲を消す	72
MDのディスクや曲に名前をつける	73
ディスク名や曲名を修正する	76

タイマーを使った操作

TIMER OPERATION

好きな音楽で目覚める	80
FM/AM放送をMDに留守録音する	84
FM/AM放送をテープに留守録音する	86
FM/AM放送をMDとテープに 留守録音する	88
音楽を聞きながら眠る	90
外部機器を使う	91

付録

APPENDIX

CDの取扱い	92
テープの取扱い	93
MDの取扱い	94
MDのシステム上の制約	95
日ごろのお手入れ	95
こんな表示が出たときは	96
故障? ちょっと調べてください	97
輸送用ストッパーの取り付け	98
アフターサービス	98
仕様	99
索引	99

準備

PREPARATIONS

FM/AM放送

FM/AM BROADCASTS

CDを操作する

CD OPERATION

カセットテープを使う

TAPE OPERATION

MDを操作する

MD OPERATION

タイマーを使った操作

TIMER OPERATION

付録

APPENDIX

この取扱説明書は、下記の機器を説明
しています。

ステレオMD/CDデッキレシーバー
XR-C2MD
スピーカーシステム
S-C2-LR

もくじ

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

準備

PREPARATIONS

こんなことができます	6
付属品の確認	6
リモコンに電池を入れる	7
接続のしかた	8
各部のなまえ	11
表示の明るさをかえる	14
表示の色をかえる	15
音質を変える	16
確認音を消す	16
時計をあわせる	17

FM/AM放送

FM/AM BROADCASTS

FM/AM放送を聞く	18
放送局の受信のしかた	18
FM放送に雑音が多いとき	18
受信した放送局を記憶させる	19
記憶した放送局を呼び出す	19

CDを操作する

CD OPERATION

CDを聞く	20
聞きたい曲を選ぶ	21
演奏モードを選ぶ	21
表示を切りかえる	22
順不同で演奏する	22
繰り返し演奏する	23
好きな曲を好きな順番で聞く	24

カセットテープを使う

TAPE OPERATION

テープを聞く	26
曲の頭出しをする	27
早送り巻戻しをする	27
FM/AM放送をテープに録音する	28
CDの全曲を簡単にテープに録音する	30
CDの好きな曲だけテープに録音する	33
CDの1曲目だけをテープに録音する	34
CDの途中の曲からテープに録音する	36

MDを操作する

MD OPERATION

MDを聞く	38
表示を切りかえる	39
繰り返し演奏する	39
順不同で演奏する	39
好きな曲を好きな順番で聞く	40
MDの全曲を簡単にテープに録音する	42
MDの好きな曲だけテープに録音する	44
MDの途中の曲からテープに録音する	46
MD録音の基礎知識	48
CDの全曲を簡単にMDに録音する	50
CDの好きな曲だけMDに録音する	52
CDの1曲目だけをMDに録音する	54
CDの途中の曲からMDに録音する	56
テープの全曲を簡単にMDに録音する	58
テープをマニュアルでMDに録音する	60
CDをテープとMDに同時に録音する	62
FM/AM放送をMDに録音する	64
MDモノラル長時間録音を設定する	65
MDに曲番号をつけないで録音するには	65
表示を切りかえる	66
MDの編集機能でできること	67

曲を2つに分ける(デバインド機能)	68
2つの曲を1曲にする (コンバイン機能)	69
ひとつの曲を移動する(ムーブ機能)	70
曲を曲を並べかえる (プログラムムーブ機能)	71
曲を消す	72
MDのディスクや曲に名前をつける	73
ディスク名や曲名を修正する	76

タイマーを使った操作

TIMER OPERATION

好きな音楽で目覚める	80
FM/AM放送をMDに留守録音する	84
FM/AM放送をテープに留守録音する	86
FM/AM放送をMDとテープに 留守録音する	88
音楽を聞きながら眠る	90
外部機器を使う	91

付録

APPENDIX

CDの取扱いかた	92
テープの取扱いかた	93
MDの取扱いかた	94
MDのシステム上の制約	95
日ごろのお手入れ	95
こんな表示が出たときは	96
故障? ちょっと調べてください	97
輸送用ストッパーの取り付け	98
アフターサービス	98
仕様	99
索引	99

準備

PREPARATIONS

FM/AM放送

FM/AM BROADCASTS

CDを操作する

CD OPERATION

カセットテープを使う

TAPE OPERATION

MDを操作する

MD OPERATION

タイマーを使った操作

TIMER OPERATION

付録

APPENDIX

この取扱説明書は、下記の機器を説明
しています。

ステレオMD/CDデッキレシーバー
XR-C2MD
スピーカーシステム
S-C2-LR

こんなことができます

1. 表示の色を 8 色から選べるマルチカラーディスプレイ採用 [P.15]

- 8 色 (青・ライトブルー・緑・黄色・オレンジ・赤・ピンク・紫) から好みに応じたディスプレイカラーを選ぶことができます。また、ディスプレイカラーが無作為 (ランダム) に変化するランダムカラーモードも選ぶことができます。

2. パワーオフ時でも即、演奏スタート、ダイレクトプレイキー採用 [P.13]

- 聴きたいソース (チューナー、CD、MD、テープ、AUX) のファンクションボタンを押すだけで自動的に電源がオン。すぐに演奏がスタートできます。また電源を切る場合、聴いていたファンクションがメモリーされ、再び電源を入れると電源を切る前のファンクションがそのまま設定されます。

3. 3 - CD チェンジャーで長時間 BGM も OK! [P.20]

- 3 枚のディスクをセットすることにより、連続して演奏させたり、3 枚の中から好きなディスクを自在に選んで演奏することができます。また CD 演奏中にも、演奏していない残り 2 枚の CD ディスクを交換することができます。

4. カタカナ対応の MD 編集機能 [P.67]

- MD の編集機能を使うことで、簡単に録音した曲を並べ換えたり、曲を消去することができます。
- ディスク名や曲名もカタカナ表示。ネーム機能を使えば、オリジナルディスクの作成が楽しみになります。

5. オートリバーズデッキ搭載 [P.26]

- MD、CD、チューナーにカセットデッキをプラス。さまざまな音楽ソースを楽しめる一体型マイクロステレオです。

6. 多彩な機器による相互間の録音が可能

- 録音モードボタンで録音の組合せをいろいろ選ぶことができます。

7. 省エネルギー設計製品

- 本製品は、電源オフ時 (スタンバイ時) の消費電力を抑えた設計となっております。スタンバイ時消費電力の値は、99 ページの仕様欄を参照してください。

付属品の確認

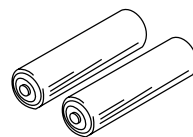
リモートコントロールユニット (リモコン) × 1



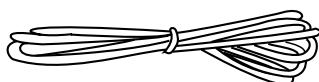
AM ループアンテナ × 1
(図は組み立てた状態です。)



単 3 形乾電池 × 2
(AA/R6P)



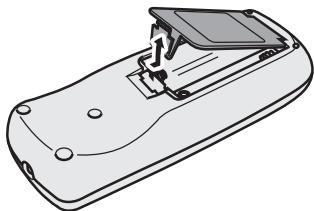
FM T 型アンテナ × 1



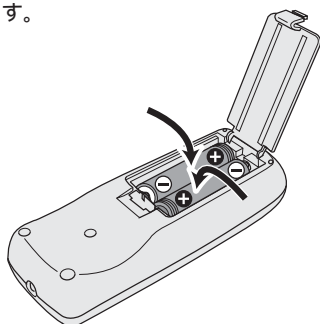
保証書
ご相談窓口・修理窓口のご案内
取扱説明書 (本書)
安全上のご注意

リモコンに電池を入れる

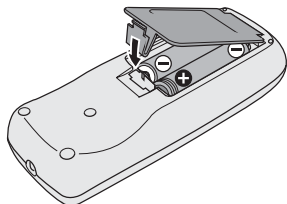
- 1 矢印の方向に引き上げて裏ブタをあけます。



- 2 単3形乾電池 (AA/R6P) の \oplus と \ominus の向きを正しく入れます。



- 3 矢印の方向に押し込んで裏ブタを閉めます。



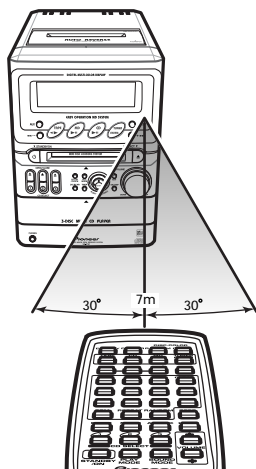
注意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。
(電池の注意事項もよく見てください。)

- 乾電池のプラス \oplus とマイナス \ominus の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間(1か月以上)使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。

リモコン操作範囲

リモコンの操作可能範囲は、リモコン受光部との距離が約7m、角度が左右30度までです。



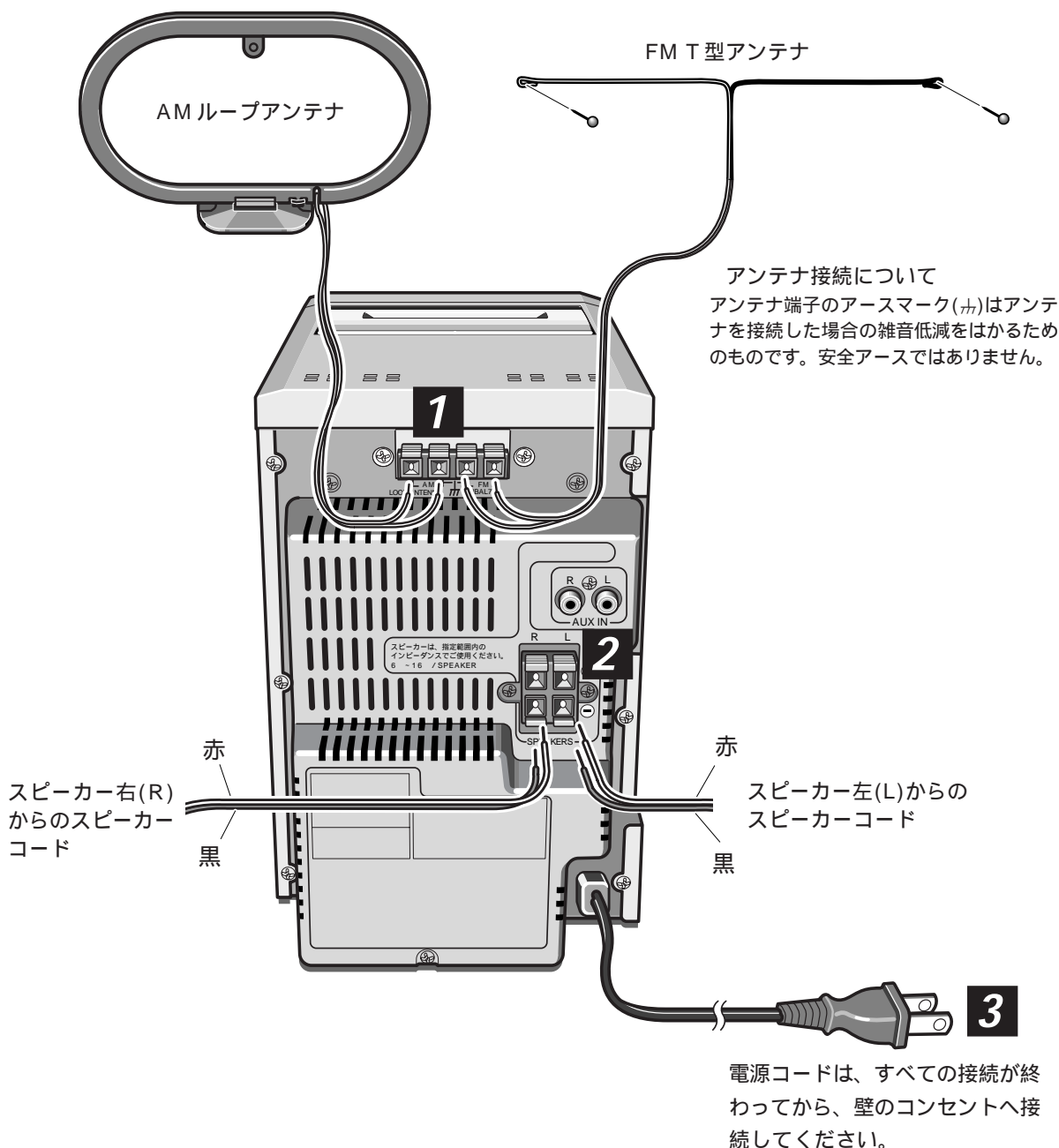
- リモコン前部を、X-MDX707の本体にあるリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

注意

直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。

接続のしかた

- アンテナは必ず接続してください。アンテナを接続しないとFM/AM放送が受信できません。
- 接続を行う場合、あるいは変更を行なう場合には、必ず電源コードを抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

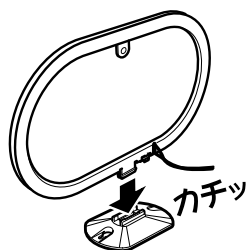


スピーカー設置上の注意

- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりスピーカーが故障する原因となります。
- 不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- このスピーカーシステムは低磁気漏洩設計ですのでテレビに近づけて使用することもできますが、設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15 ~ 30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。

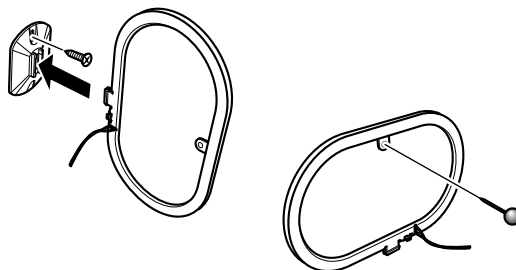
1 FM、AM アンテナをつなぐ

1. AMループアンテナを組み立てます。



矢印の方向へ、カチッと音がするまで差し込みます。

AMループアンテナを壁に取り付けるには図のようにネジや押しピンなどを使って壁に取り付けてください。

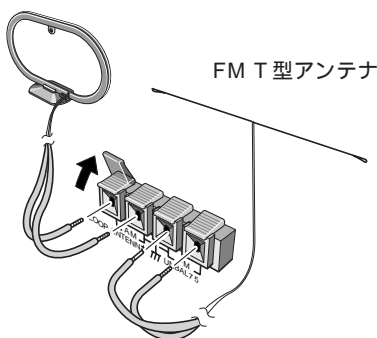


2. AMループアンテナとFM T型アンテナを接続します。



コードのカバーを回しながら引き抜きます。

AM ループアンテナ



FM T型アンテナ

AMループアンテナのコード（2本）をAMアンテナ接続端子に接続します。どちらをアース側の端子（ カ ）につないでもかまいません。

端子のつめを倒し、コードを差し込んだらつめを元に戻します。

軽くひっぱって、抜けないことを確かめてください。

同様に、FM T型アンテナも接続します。

FM T型アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで押しピンなどで張ってください。

（FM T型アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためにはFM屋外アンテナを使用してください。）

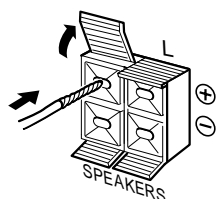
AMループアンテナの置場所について

- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

2 スピーカーをつなぐ

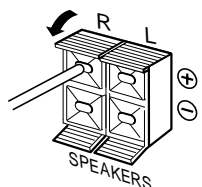


コードのカバーを回しながら引き抜きます。



端子のつめを倒し、スピーカーからのコードを差し込みます。

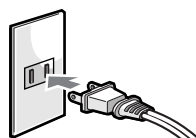
スピーカーコードの色と端子の色を合わせて接続してください。（赤色は \oplus 、黒色は \ominus になります。）



端子のつめを元に戻し、軽くひっぱって、抜けないことを確かめてください。

3 電源コードを壁のコンセントへ差し込む

壁のコンセント（AC100V）に、電源コードのプラグを差し込みます。

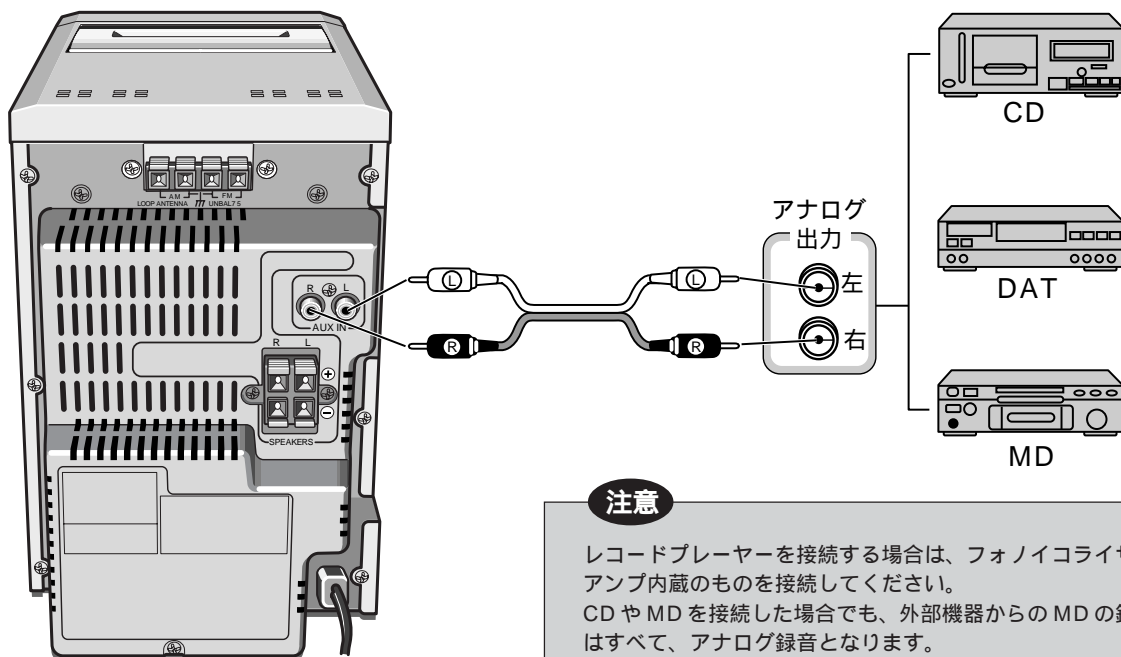


はじめて電源コンセントをつないだ時は表示が点灯し、デモモードになります。詳しくは裏表紙の「デモモードについて」をご覧ください。

外部機器を接続する場合

MD や CD などの機器を、本機に接続することができます。接続した機器を本機で聞いたり、本機の MD やカセットデッキで録音することができます。

- 本機の外部入力 (AUX) 端子に接続機器の出力端子を接続します。
- 別売のピンプラグ付接続コードでつないでください。
- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 外部機器を聞いたり録音したりするときの操作方法は、91 ページの「外部機器を使う」を参照してください。



注意

レコードプレーヤーを接続する場合は、フォノイコライザーアンプ内蔵のものを接続してください。
CD や MD を接続した場合でも、外部機器からの MD の録音はすべて、アナログ録音となります。

付属のアンテナでよく聞こえないとき

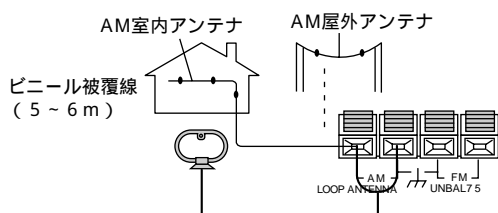
鉄筋コンクリートの建物や AM/FM 放送電波の弱い地域にお住まいの方は、付属のアンテナではよく聞こえない場合があります。その様なときは、AM 外部アンテナ (市販のビニール被覆線) 市販の FM 屋外アンテナを接続します。

接続したアンテナのコードについて

- 本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。またパソコン、テレビなどからも、できるだけ離してください。ノイズの原因になります。
- アース端子のアースマーク (⏏) は、アンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM 外部アンテナの接続

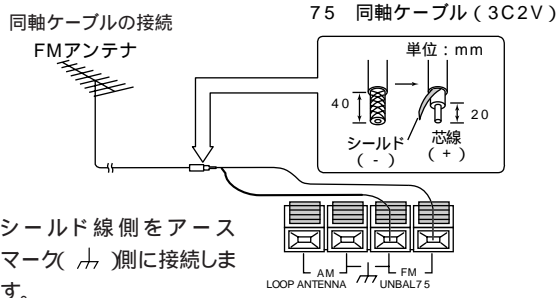
下図のように接続してください。



AM外部アンテナ (市販のビニール被覆線) を接続しても AMループアンテナは外さないでください。


FM 屋外アンテナの接続

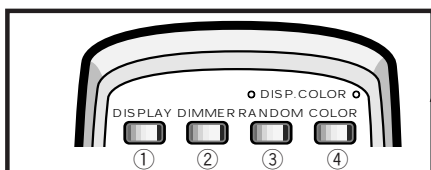
下図のように接続してください。



各部のなまえ

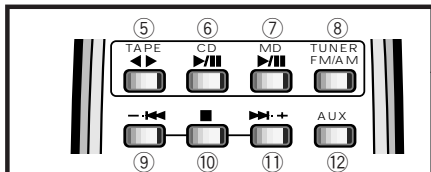
リモコン

本書において、リモコンのマーク（）のある操作ボタンは、リモコンでの操作を表わしています。



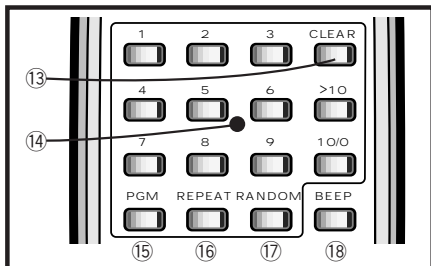
表示部の操作関係のボタン

- ① ディスプレイボタン CDやMDでの表示情報の内容をかえます
- ② デイマーボタン 表示部の明るさを変更します
- ③ ランダムカラーボタン .. 表示部の色を無作為(ランダム)に変更します
- ④ カラーボタン 表示部の色を変更します



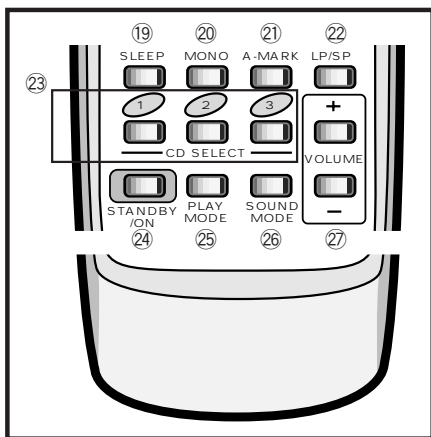
演奏機器の選択関係のボタン

- ⑤ TAPE ◀▶ テープを演奏したり、演奏方向をかえたりします
 - ⑥ CD ▶/|| CDを演奏したり、一時停止させたりします
 - ⑦ MD ▶/|| MDを演奏したり、一時停止させたりします
 - ⑧ TUNER FM/AM ラジオを聞いたり、FMとAMを切りかえたりします
 - ⑨ -◀◀ ボタン
 - ⑩ ■ ボタン
 - ⑪ +▶▶ ボタン
 - ⑫ AUXボタン 外部機器の演奏を聞きたいときに使用します
- 13ページを参照してください



演奏機器の操作関係のボタン

- ⑬ クリアーボタン プログラム演奏の登録内容を削除します
- ⑭ 数字ボタン 曲を選択したりプログラム演奏の登録などをします
- ⑮ プログラムボタン プログラム演奏のときに使用します
- ⑯ リピートボタン リピート演奏のときに使用します
- ⑰ ランダムボタン ランダム演奏のときに使用します
- ⑱ ビープボタン 操作音のオン/オフに使用します
- ⑲ スリープボタン スリープタイマーの設定・解除に使用します
- ⑳ モノボタン FM放送のステレオ/モノ切り換えに使用します
- ㉑ オートマークボタン オートマーク機能のオン/オフに使用します
- ㉒ LP/SPボタン MDの録音モードの切り換えに使用します
- ㉓ CD選択ボタン 3枚あるCDからどれかを選択するときに使用します
- ㉔ 電源スイッチ 電源をオン/オフするときに使用します
- ㉕ 演奏モードボタン CD、テープの演奏モードの切り換えに使用します
- ㉖ サウンドモードボタン ... 音質を変えるときに使用します
- ㉗ ボリューム 音量を調整するときに使用します



電源のオン / オフ

電源を入れるには



電源スイッチを押します。
(表示部が点灯します。)

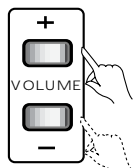
電源を切るときは



電源スイッチをもう一度押します。
表示部が消灯し、時計表示になります。

音量の調整

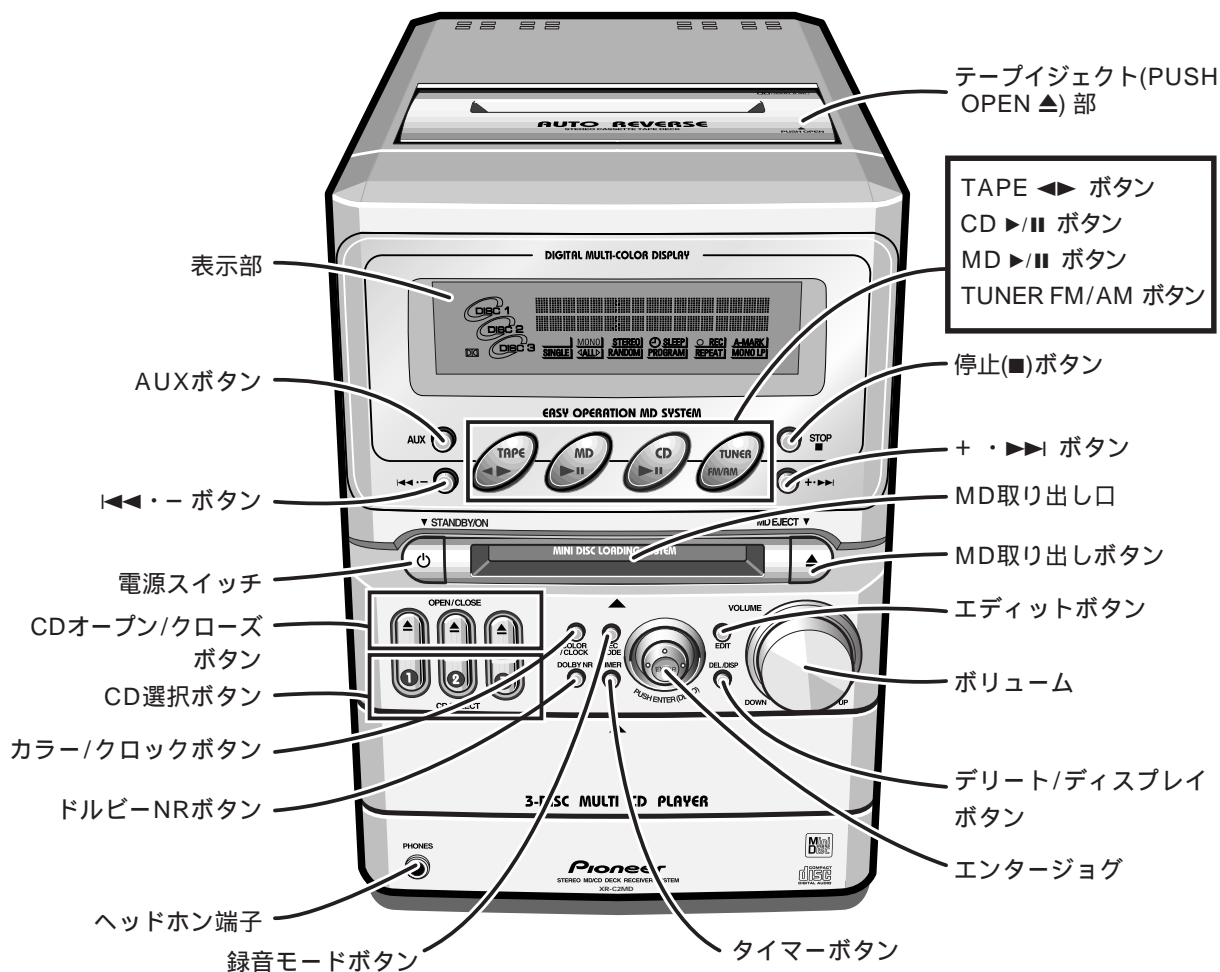
音量を調整するには



(+) 部を押すと大きくなります。

(-) 部を押すと小さくなります。

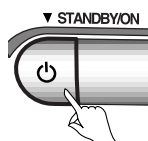
本体部



- ドルビー・ノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
- ドルビー、DOLBY 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。

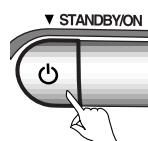
電源のオン / オフ

電源を入れるには



電源スイッチを押します。
(表示部が点灯します。)

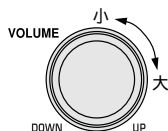
電源を切るときは



電源スイッチをもう一度押します。
表示部が消灯し、時計表示になります。

音量の調整

音量を調整するには



音量調整つまみを回します。

ヘッドホンを使うとき

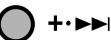


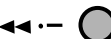




市販のヘッドホンを、ヘッドホン端子に接続します。



インピーダンス16 ~ 50 (推奨32)で、直径3.5ステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は聞こえなくなります。

共通操作ボタン

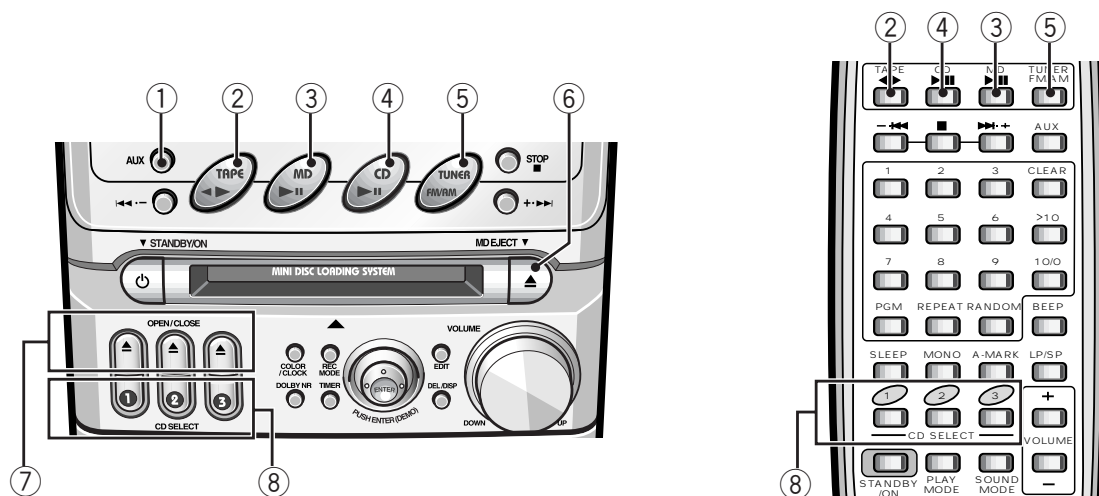
共通操作ボタンの役割り（下記のようにそれぞれのファンクションにより働きが異なります。）

ボタン	ファンクション	MD	テープ	チューナー	CD
 		早送りボタン / 選曲ボタン	早送り（巻戻し）ボタン / 選曲ボタン	ステーション選択ボタン	早送りボタン / 選曲ボタン
 		早戻しボタン / 選曲ボタン	巻戻し（早送り）ボタン / 選曲ボタン	ステーション選択ボタン	早戻しボタン / 選曲ボタン
		停止ボタン	停止ボタン	オートチューニングの停止	停止ボタン

（ は本体部のボタン、 はリモコンのボタンを表しています。）

ダイレクトパワーオン

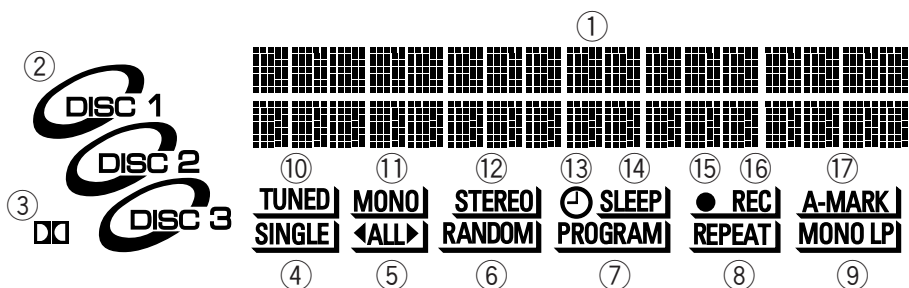
電源がオフ（スタンバイ）のときに下記のボタンを押すと、電源スイッチ以外でも電源がオンになります。



- ① 外部入力(AUX)端子に接続している機器が動作していれば、その機器の音が出ます。
- ② テープがセットされていれば演奏をはじめます。演奏方向は、最後に使用したときと同じ方向となります。もう一度押すと、演奏方向は逆方向になります。
- ③ MD がセットされていれば演奏をはじめます。
- ④ CD がセットされていれば演奏をはじめます。
- ⑤ FM または AM 放送になります。最後に受信していた放送局が選択されます。

- ⑥ 電源がオンになり、MD がセットされていれば MD が取り出せます。
- ⑦ 電源がオンになり選んだ CD のディスプレイが開きます。
- ⑧ 選んだディスク番号に CD がセットされていれば演奏を開始します。

表示部



- ① 文字や数字で、いろいろな情報を表示します
- ② CDの状態を表わします
ディスクが挿入されているとき → ディスク番号が点灯
一時停止中 → 一時停止しているCDのディスク番号が点滅
- ③ ドルビーNRがオンのときに点灯
- ④ CDのシングルディスクプレイ(SINGLE)モードで点灯
- ⑤ CDのオールディスクプレイ(ALL)モードで点灯
- ⑥ ランダム演奏時に点灯
- ⑦ プログラム設定時、または演奏時に点灯
- ⑧ 1曲リピート演奏時に点滅、全曲リピート演奏時に点灯
- ⑨ MDのモノラル長時間録音設定時に点灯
- ⑩ FM/AM放送受信時に点灯
- ⑪ リモコンのモノボタンを押すと点灯
- ⑫ ステレオ放送受信時に点灯
- ⑬ ウェイクアップタイマー設定時に点灯
ウェイクアップタイマー動作時に点滅
- ⑭ スリープタイマー設定時に点灯
- ⑮ レックタイマー設定時に点灯
レックタイマー動作時に点滅
- ⑯ 録音時に点灯
- ⑰ オートマーク設定時に点灯

表示の明るさをかえる

本体表示部の明るさをかえることができます。
リモコンで操作します。



ディマー(DIMMER)ボタン

リモコンのディマー(DIMMER)ボタンを押します
1回押すと現在の明るさを表示し、2回目以降は押すごとに以下のように切りかわります。

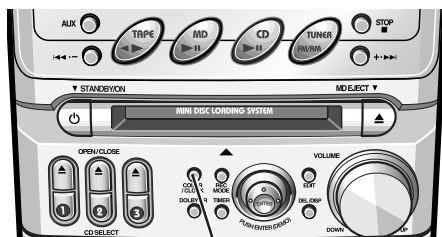
明るい (LIGHT) ← → 暗い (DARK)

注意

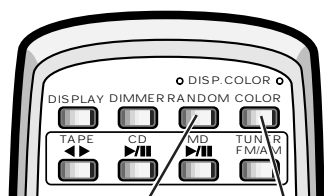
明るさの設定は、電源をオフにすると、もとの明るい (LIGHT)設定に戻ります。

表示の色をかえる

購入時は青色に設定されている表示部の色を、8種類の中から選ぶことができます。



カラー/クロック(COLOR/
CLOCK)ボタン



カラー(COLOR)ボタン

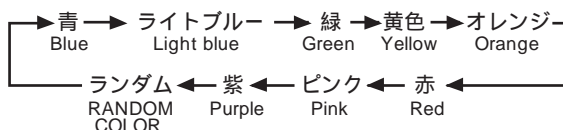
ランダムカラー(RANDOM)ボタン

自分の好きな色を選ぶ

[本体で操作する場合]

カラー/クロック(COLOR/CLOCK)ボタンを押します

1 回押すと現在の表示色を表示し、2 回目以降は以下のように表示色が切り替わります。設定した色が表示されたら操作を終了します。色は数秒後に自動的に設定されます。



ランダム(RANDOM COLOR)を選ぶと ...

8 種類の色が、30 秒から 60 秒ごとに、無作為(ランダム)に変化します。

[リモコンで操作する場合]

カラー(COLOR)ボタンを押します

1 回押すと現在の表示色を表示し、2 回目以降は、以下のように表示色が切り替わります。



ランダム (無作為) に色を変えるには ...

ランダムカラー(RANDOM)ボタンを押します。1 回押すと現在の表示色を表示し、2 回目以降は押すごとにランダムのオンとオフが切り替わります。

注意

8 色 (青・ライトブルー・緑・黄色・オレンジ・赤・ピンク・紫) は、厳密な意味での色再現性はありません。本機を使用される室内温度や長期の使用による経年変化、発光素子のバラツキで、色合いが異なります。

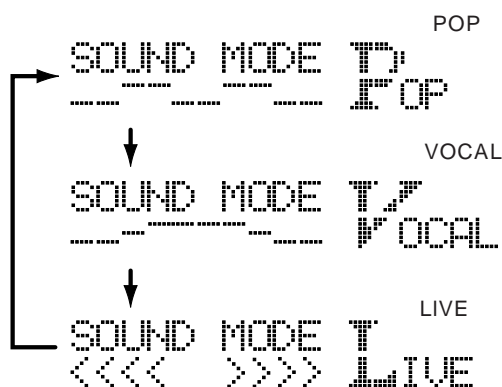
音質を変える

サウンドモードをかえると、音質が変わります。
リモコンで操作します。



サウンドモード
(SOUND MODE)
ボタン

サウンドモード(SOUND MODE)ボタンを押します
最初に押したときは現在の音質を表示します。
その後、押すごとに音質が以下のように切りかわり、表示
されている音質で演奏されます。
音質表示は2秒間で消え、もとの表示に戻ります。



POP 低音、高音を強調したメリハリのある音質

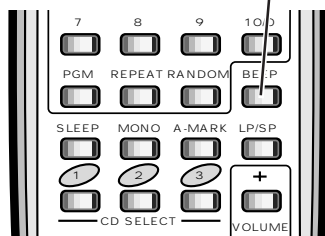
VOCAL 中音を強調した音

LIVE 拡がり感のある音質

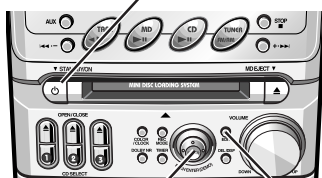
確認音を消す

ボタンの操作を音で確認できるようになっています。
確認音は、出さないように設定できます。
確認音を消す場合は、以下の手順で行なってください。

2 ビープ(BEEP)ボタン



1 電源スイッチ



3~4 エンタージョグ (ENTER)

2 エディット (EDIT)ボタン

[リモコンで操作する場合]

1. 電源スイッチを押して電源を入れます
2. ビープ(BEEP)ボタンを押します
1回押すと現在設定されている確認音の状態を表示し、2回目以降は押すごとに以下の様に切り替わります。
BEEP ON ← BEEP OFF
(確認音あり) (確認音なし)

[本体で操作する場合]

1. 電源スイッチを押して電源を切ります
2. エディット(EDIT)ボタンを4秒以上押します
表示部のバックライトが点灯して、現在設定されている確認音の状態を表示します。
3. エンタージョグ(ENTER)を左右に動かして、オンとオフを選択します
4. エンタージョグ(ENTER)を押して決定します
表示部のバックライトが消えて、スタンバイ中の時計表示に戻ります。

時計をあわせる

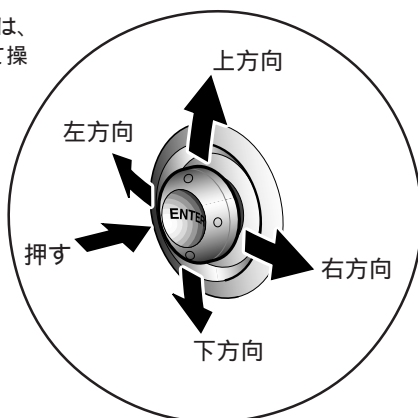
- 時刻は 24 時間表示です。
- 電源がオフ(スタンバイ状態)のときに操作してください。



1 カラー/クロック
(COLOR/CLOCK)
ボタン

2~5 エンタージョグ
(ENTER)

図のようにエンター
ジョグ(ENTER)は、
5 方向へ動かして操
作します。



メモ

- 電源がオンのときに、本体のデリート/ディスプレイ (DEL/DISP) ボタンかリモコンのディスプレイ (DISPLAY) ボタンを 2 秒以上押すと、時計表示にすることができます。数秒間時計表示をした後、もとの表示に戻ります。
- 電源がオフ(スタンバイ状態)のときに、本体のデリート/ディスプレイ(DEL/DISP)ボタンかリモコンのディスプレイ(DISPLAY)ボタンを 1 回押すと、数秒間バックライトが点灯し、時計表示を見やすくすることができます。

操作例) 午後6時40分(18:40)に合わせする場合

1. カラー/クロック(COLOR/CLOCK)ボタンを 2 秒間以上押します

TIME 0:00

2. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、「時」を合わせます
例の場合は、18 にする。

TIME 18:00

3. エンタージョグ(ENTER)を押します
「時」が入力されます。

TIME 18:00

4. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして「分」を合わせます
例の場合は、40 にします。

TIME 18:40

5. エンタージョグ(ENTER)を押します
「分」が入力され、時計が動きはじめます。

TIME 18:40

注意

デモモードでは時計をあわせることはできません。電源スイッチを押してデモモードを解除し、再度電源スイッチを押してスタンバイ状態にしてから設定を行ってください。
停電したり電源コードを抜くと時計表示が「0:00」となり、時計は動作しません。この場合はもう一度時計を合わせ直してください。

FM/AM放送を聞く

アンテナが接続されていないと、ラジオのFM/AM放送を受信することはできません。接続されていない場合は、8～10ページを参照してアンテナを接続してください。



メモ

- 本機はテレビ放送の1～3チャンネルの音声を受信することができます。各チャンネルの周波数は次のとおりです。
1ch: 95.75MHz
2ch: 101.75MHz
3ch: 107.75MHz
音声はモノラルになります。2ヶ国語放送は主音声のみとなります

注意

FM放送の90MHz～108MHzはテレビ信号が影響してオートチューニングできないことがあります。この場合はマニュアルチューニングで周波数を合わせてください。
本機のFM放送受信回路とテレビ受信回路とは兼用の回路ため、地域によってはテレビの音声受信時にFM放送が混信することがあります。
AM放送で1ステップの周波数を変更すると、受信できない放送局が生じる場合があります。

放送局の受信のしかた

本体のボタンで操作します。

1. チューナー(TUNER)ボタンを押します
本機がラジオを聞ける状態になります。
押すごとに、FM放送とAM放送が切り替わります。

FM 放送 ← → AM 放送

2. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして放送局を受信します
自動的に放送局を受信するオートチューニングと手動で1ステップずつ周波数を合わせていくマニュアルチューニングとがあります。

オートチューニング

エンタージョグ(ENTER)を上または下に動かして、周波数が動きはじめたら指を離します

周波数が自動に変化して、放送局を受信すると止まります。途中で止めるときは、再度エンタージョグ(ENTER)を上か下に1回動かすか、停止(STOP ■)ボタンを押します。

マニュアルチューニング

エンタージョグ(ENTER)を上または下に1回ずつ動かす

周波数が1ステップずつ変化します。
1ステップは、FM放送が0.05MHzで、AM放送が9kHzです。またAM放送では1ステップの周波数を変えることもできます。

1ステップの周波数を変える(AM放送)

1. 電源を切ってスタンバイ状態にします
2. 停止(STOP ■)ボタンを4秒以上押します
表示部のバックライトが点灯して、現在設定されている1ステップの周波数が点滅表示します。
3. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かします
AM放送の1ステップの周波数を、9kHzか10kHzのどちらか選択します。
4. エンタージョグ(ENTER)を押して決定します
表示部のバックライトが消えて、スタンバイ状態の時計表示に戻ります。

FM放送に雑音が多いとき

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FMのステレオ放送に雑音が多いときは、モノラル演奏にして放送を聞きやすくします。リモコンで操作します。

リモコンのモノ(MONO)ボタンを押します
押すごとに、以下の様に切り替わります。

ステレオ受信 ← → モノラル受信

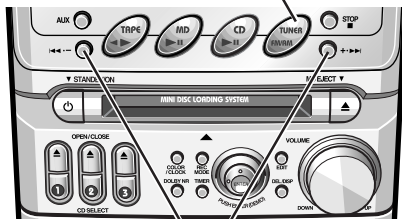
3 ◀◀・- ボタンまたは+・▶▶ボタン



4 エンタージョグ (ENTER) ボタン

2 エディット (EDIT) ボタン

1 チューナー (TUNER) ボタン



2 ◀◀・- ボタンまたは+・▶▶ボタン

注意

すでに記憶されているステーションへ違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。
 停電や電源プラグを抜いた状態で12時間以上放置した場合、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。

受信した放送局を記憶させる

FM/AM放送あわせて24局まで記憶することができます。
 本体で操作します。

例) FM 82.5MHzをステーション2へ記憶させます

1. FM 82.5MHzを受信します
 チューナー(TUNER)ボタンを押してFM放送を選択し、エンタージョグ(ENTER)で受信周波数を82.5MHzに合わせます。
 受信状態が悪くてモノラル音声にする場合は、リモコンのモノ(MONO)ボタンを押してください。モノラルの設定も記憶させることができます。

TUNER FM
82.50MHz

2. エディット(EDIT)ボタンを押します

ST-01
82.50MHz

3. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かすか、◀◀・- または +・▶▶ボタンで記憶させたいステーションを選びます
 ステーションは1~24まであります。例の場合は、ステーション2を選びます。

ST-02
82.50MHz

4. エンタージョグ(ENTER)を押して記憶させます
 FM 82.5MHzがステーション2に記憶されます。

記憶した放送局を呼び出す

1. チューナー(TUNER)ボタンを押します
2. ◀◀・- ボタン、または +・▶▶ボタンで記憶したステーションを選びます
 各ステーションに記憶した放送局を聞くことができます。

リモコンの数字ボタンでダイレクトに選びます
 ステーション番号と同じ数字ボタンを押すと、ダイレクトにステーションを選ぶことができます。

1 ~ 9 : 番号のボタンを押します。

10 : を押します。

11 ~ 19 : を押してから番号を選びます。

20 ~ 24 : を2回押してから番号を選びます。

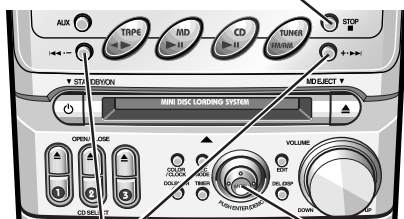
CD を聞く



CD選択(CD SELECT)ボタン

1.2 CDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタン

停止(STOP ■)ボタン



◀◀・一 ボタンまたは
+・▶▶ボタン

エンタージョグ
(ENTER)

注意

CDを2枚以上重ねて入れたり、CD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
8cmCDアダプターは使用しないでください。
トレイが開いているときは、ディスク選択ボタンが点滅します。CD選択(CD SELECT)ボタンは、トレイが閉まり、CDのディスク情報を読み終わるまで点滅します。
演奏中のディスクのCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押すと、演奏は停止します。

1. CDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してトレイを開けます

ディスクは3枚までセットできます。セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してください。

ディスクをセットします



レーベル面(曲名などが印刷されている面)を上にしてセットします。
続けてディスクはセットできます。他のディスクをセットする場合は、セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してからセットします。

2. セットしたCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してトレイを閉めます

3. CD (▶/■)ボタンを押します

3枚のディスクをセットしたときは、最後にセットしたディスク(CD選択(CD SELECT)ボタンの点灯しているディスク)から順に演奏します。
例えば DISC2 から演奏した場合は、
DISC2 → DISC3 → DISC1 の順で演奏します。

好きなディスクから演奏するには・・・

CD (▶/■)ボタンを押さずにCD選択(CD SELECT)ボタンを押します。選択したディスクから順に演奏を開始します。

演奏をやめるには・・・

停止(STOP ■)ボタンを押します。

演奏を一時停止するには・・・

CD (▶/■)ボタンを押す。
もう一度押すと、演奏を再開します。

曲の頭出しをするには・・・

前の曲に戻るときは、◀◀・一 ボタンを短く押すか、エンタージョグ(ENTER)を下方向に動かします。押した回数だけ曲を飛び越します。演奏中に1回押すと、演奏している曲の頭に戻ります。
次の曲に移るときは、+・▶▶ボタンを短く押すか、エンタージョグ(ENTER)を上方向に動かします。押した回数だけ曲を飛び越します。

早送り・早戻しをするには・・・

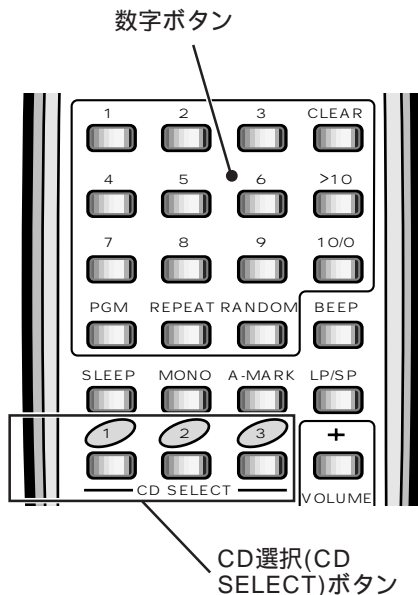
早送りするには、演奏中に +・▶▶ボタンを押し続けます。
早戻しするには、演奏中に◀◀・一 ボタンを押し続けます。

演奏中にディスクを交換するには・・・

演奏しているディスク以外のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押して交換します。

聞きたい曲を選ぶ

リモコンで操作します。



1. CD選択(CD SELECT)ボタンを押して、聞きたい曲のディスクを選びます
演奏が開始されます。
2. 聞きたい曲の曲番号をリモコンの数字ボタンで選びます

1 ~ 9 : 番号のボタンを押します。

10 : を押します。

11 以上 : を押してから番号を選びます。

(例) 15 曲目
20 曲目

CD が停止中に数字ボタンで曲番号を選んだ場合は、選んだ曲の演奏を開始します。

CD OPERATION

演奏モードを選ぶ

本機にディスクが2枚以上セットされているとき、すべてのディスクの演奏を行なうオールディスクプレイ(ALL)モードと、選択したディスクの演奏だけを行なうシングルディスクプレイ(SINGLE)モードとを切り替えます。リモコンで操作します。

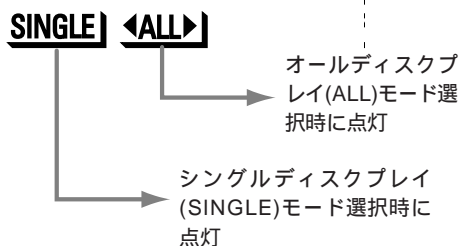


演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します

押すごとに、以下の様に切り替わります。

演奏モードを選択しない場合は、オールディスクプレイ(ALL)モードで演奏されます。

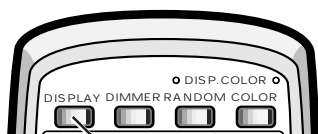
オールディスク
プレイモード
(ALL) ↔ シングルディスク
プレイモード
(SINGLE)



演奏モード
(PLAY MODE)
ボタン

表示を切りかえる

演奏または一時停止しているときのディスクの時間表示の内容を切りかえることができます。



ディスプレイ(DISPLAY)ボタン

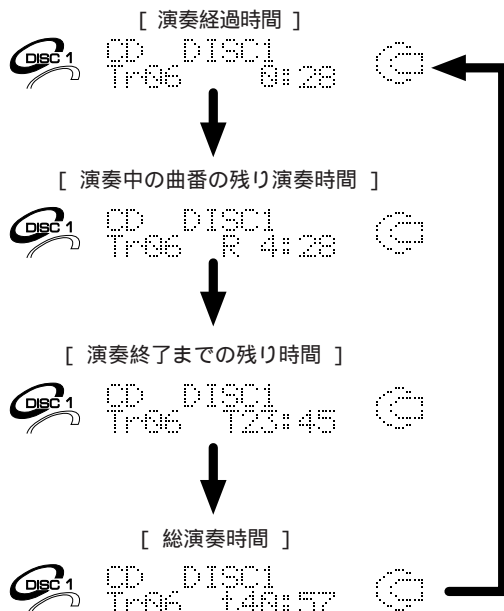


デリート/ディスプレイ(DEL/DISP)ボタン

メモ

- プログラム演奏を設定してある場合は、登録した曲の総合残量時間と総演奏時間が表示されます。
- ランダム演奏中は、残量演奏時間は表示されません。

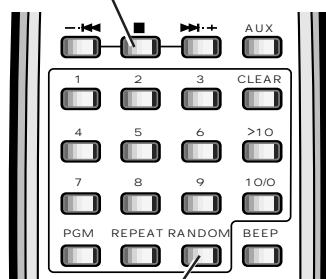
デリート/ディスプレイ(DEL/DISP)ボタンを押します (リモコンの場合はディスプレイ(DISPLAY)ボタン) 押すごとに以下のように切りかわります。



順不同で演奏する

ランダム演奏といいます。曲を無作為に選んで1回ずつ演奏します。リモコンで操作します。

停止(STOP ■)ボタン



ランダム(RANDOM)ボタン

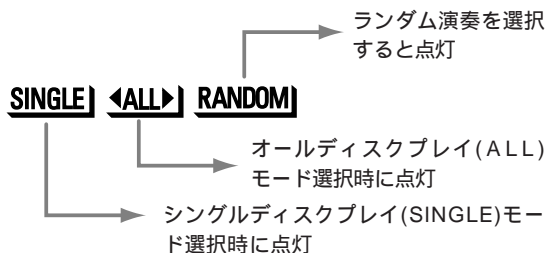
メモ

- ランダム演奏中にリPEAT(REPEAT)ボタンを押すと、全曲リピートになります。シングルディスクプレイ(SINGLE)モードでは1枚のディスク、オールディスクプレイ(ALL)モードでは全ディスクのランダム演奏を繰り返します。(ランダムリピート演奏)
- ランダム演奏中にランダム(RANDOM)ボタンを押すと、ランダム演奏が解除され通常の演奏に戻ります。

ランダム(RANDOM)ボタンを押します

ランダム演奏を開始します。

演奏モードがシングルディスクプレイ(SINGLE)モードのときにランダム演奏にすると、選択されているディスクを無作為に演奏し、オールディスクプレイ(ALL)モードのときにランダム演奏にすると、セットされているディスクの全曲を無作為に演奏します。



ランダム演奏をやめるには...

停止(STOP ■)ボタンを押します。演奏が停止して、ランダム演奏は解除されます。

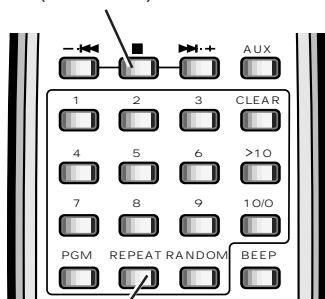
注意

ランダム演奏中に演奏モードの切りかえはできません。ランダム演奏を行う前にあらかじめ演奏モード(PLAY MODE)ボタンにて演奏モードの設定を行ってください。

繰り返し演奏する

リピート演奏といいます。演奏している1曲だけを繰り返す1曲(ONE TRACK)リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲(ALL TRACK)リピートとがあります。リモコンで操作します。

停止(STOP ■)ボタン



リピート(REPEAT)ボタン

リピート(REPEAT)ボタンを押します

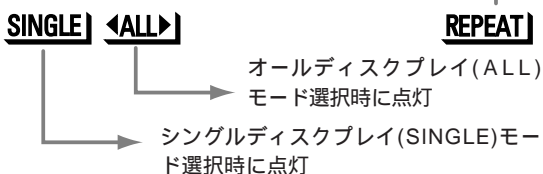
押すごとに、以下の様に切り替わります。



(****部の表示は、選択するディスク、演奏モードにより内容は変わります。)

演奏モードがシングルディスクプレイ(SINGLE)モードのときに全曲リピートにすると、選択されているディスクの全曲を繰り返し演奏し、オールディスクプレイ(ALL)モードのときに全曲リピートにすると、セットされているディスクの全曲を繰り返し演奏します。

1 曲リピート(ONE TRACK) : 点滅
全曲リピート(ALL TRACK) : 点灯



リピート演奏をやめるには...

停止(STOP ■)ボタンを押します。演奏が停止して、リピート演奏は解除されます。

メモ

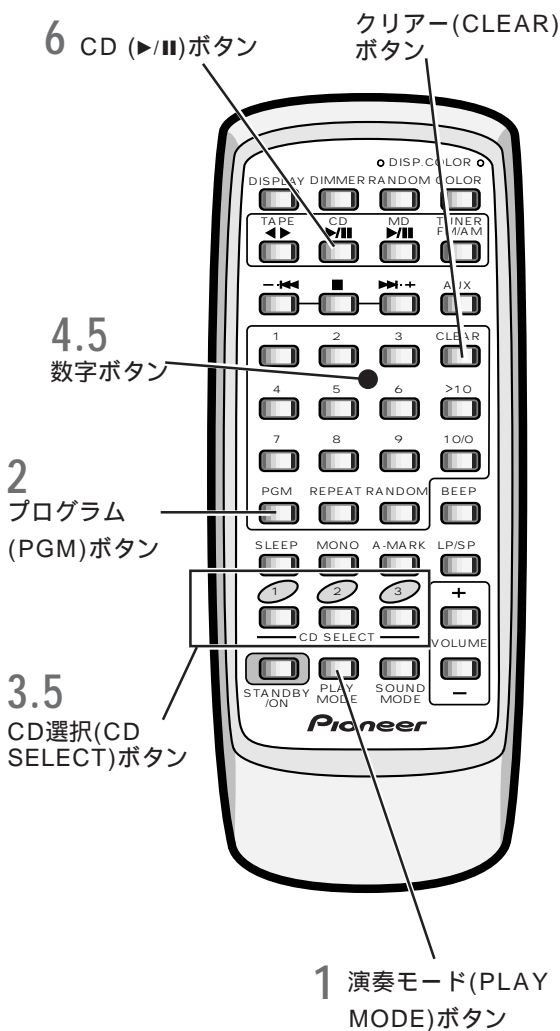
- 1 曲リピート中に **+**・**▶▶** ボタンまたは **◀◀**・**-** ボタンを押して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し演奏します。
- プログラム演奏中にリピート(REPEAT)ボタンを押すと、演奏中の曲を繰り返し演奏します。もう一度リピート(REPEAT)ボタンを押すと、プログラムされた全曲を繰り返し演奏します。(プログラムリピート演奏といいます。)
さらにリピートボタンを押すと、リピート演奏は解除され、通常のプログラム演奏に戻ります。
- 1 曲リピート中にランダム(RANDOM)ボタンを押すとリピート演奏は解除され、ランダム演奏を開始します。また、全曲リピート中にランダム(RANDOM)ボタンを押すとディスクの全曲を無作為(ランダム)に繰り返します。(ランダムリピート演奏)

注意

CDの停止中にリピート(REPEAT)ボタンを押してリピート演奏を設定した場合、電源をオフ(スタンバイ状態)にするとリピート演奏の設定は解除されます。

好きな曲を好きな順番で聞く

プログラム演奏といいます。好きな曲を最大32ステップまで登録することができます。
リモコンで操作します。



数字ボタン

数字ボタンでの曲番号を選の選びかた

1 ~ 9 : 番号のボタンを押します。

10 : を押します。

11 以上 : を押してから番号を選びます。

(例) 15 曲目
20 曲目

例) 演奏順をCDディスク番号①の6曲目、CDディスク番号②の3曲目の曲順にする場合

1. 演奏モードをオール(ALL)モードにします
シングルディスクプレイ(SINGLE)モードになっている場合は、演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して、演奏モードをオールディスクプレイ(ALL)モードにします(演奏モードについては、21ページを参照してください。)
2. CDの停止中に、プログラム(PGM)ボタンを押します
3. 聞きたい曲のディスク番号のCD選択(CD SELECT)ボタンを押します
例の場合は、①のCD選択(CD SELECT)ボタンを押します。
4. 数字ボタンで聞きたい曲の番号を登録します
例の場合は、数字ボタンの6を押します。

↓
5. 手順3と4を繰り返して、聞きたい曲のディスク番号と曲番号を登録します
例の場合は、②のCD選択(CD SELECT)ボタンを押してから、数字ボタンで3曲目を選びます。
6. CD (▶/⏮)ボタンを押します
プログラムした順に演奏を開始します。

登録中に曲番を間違えたとき

クリアー(CLEAR)ボタンを押します
押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容を確認する

停止中にプログラム(PGM)ボタンを押します
押すごとに登録した曲から順に内容が表示されます。

プログラム登録した1曲だけを消す

1. 停止中にプログラム(PGM)ボタンを押します
消したい曲が表示されるまでプログラム(PGM)ボタンを押します。
2. クリアー(CLEAR)ボタンを押します
表示されている曲だけが消え、その後に登録した曲のステップが順に繰り上がります。
CD (▶/⏮) ボタンを押すと、プログラムした順に演奏を開始します。

プログラム登録した内容をすべて消す

以下のいずれかの操作で登録した内容をすべて消去することができます

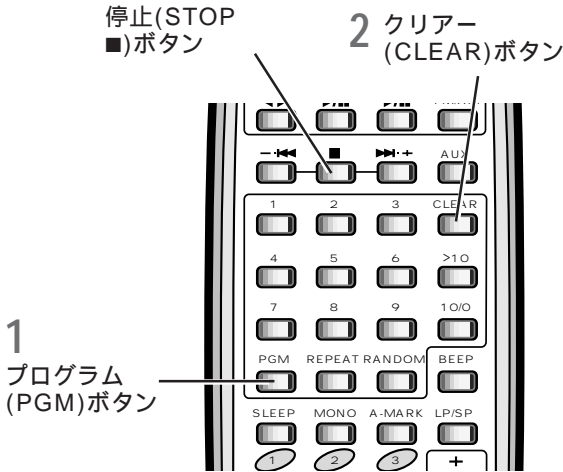
- 演奏中に停止(STOP ■)ボタンを2回押します。
- 停止中に停止(STOP ■)ボタンを1回押します。
- CD オープン / クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してディスクを取り出します。

登録する曲を追加する

1. プログラム演奏を停止させます
2. 登録する曲のディスク番号と曲番号を選びます
CD選択(CD SELECT)ボタンを押してディスク番号を選んでから、数字ボタンで曲番号選びます。
CD (▶/⏮) ボタンを押すと、プログラムした順に演奏を開始します。

注意

プログラム演奏中にCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押すと、プログラム演奏は解除され通常の演奏になります。
シングルディスクプレイ(SINGLE)モードでもプログラム登録はできますが、ディスクは手順2のプログラム(PGM)ボタンを押す前にCD選択(CD SELECT)ボタンで選んだディスク内だけの曲の登録となります。

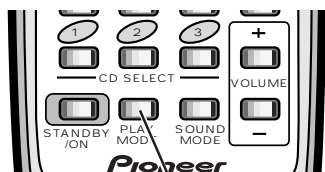


テープを聞く

TYPE I (ノーマル) を使用してください。

TYPE II (クローム / HIGH) または TYPE IV (メタル) テープは、録音されている原音とは変わりますが、再生はできます。

ヘッドは定期的に清掃してください。(93 ページ参照)



4 演奏モード (PLAY MODE)ボタン

メモ

ドルビー NR システムについて

ドルビー NR システムは、テープの演奏中に生じる高域のテープヒスノイズ(サーという雑音)を減らすシステムです。録音時に、雑音が耳につきやすい高域の小音量の部分のレベルを上げて録音し、演奏時にこのレベルを上げた分だけ減衰させて、もとのレベルに戻します。このとき、同じ耳につきやすい雑音も低減されます。ドルビー NR システムをオンにして録音したテープは、演奏時もドルビー NR をオンしてください。オンで録音したテープをオフで演奏させたり、オフで録音したテープをオンで演奏させると、原音に忠実な演奏ができません。また、本機のドルビー NR システムは B タイプです。

1. テーププロジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押して、カセットホルダーにテープを入れます



テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。

カセットテープをホルダー内に入れます。

手でカセットホルダーを押して閉めます。

- ## 2. ドルビー NR(DOLBY NR)ボタンを押して、オンかオフかを選びます

オンかオフかは、録音してあるテープのドルビーのオンとオフに合わせてください。

押すごとに以下のように切り替わります。

ドルビーオンのときは、表示部に **ON** が点灯します。

ドルビー オン ↔ ドルビー オフ
(点灯) (消灯)

- ### 3. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押します 演奏を開始します。

演奏方向は、前に演奏していた方向となります。

演奏方向を切りかえるには……

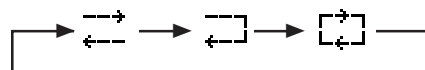
演奏中にテープ(TAPE ◀▶)ボタンを押します。押すごとに切りかわります。

◀(リバーズ方向) ↔ ▶(フォワード方向)

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にするば▶がA面に、◀がB面になります。


- #### 4. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押してリバースモードを選びます

押すごとに以下のように切り替わります。



――→ : 片面だけ演奏がして停止します。

□：片面を1回ずつ(両面)演奏して停止します。

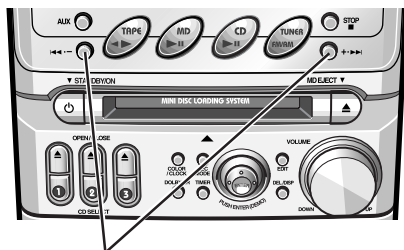
: 最大 16 面まで繰り返し演奏してから停止します。

演奏を停止するには

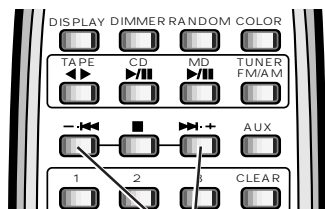
停止(STOP ■)ボタンを押します。

曲の頭出しをする

ミュージックサーチともいいます。演奏中に、いま聞いている曲や次の曲の頭出しをします。飛び越し選曲もできます。



◀◀・- ボタンまたは
+・▶▶ボタン



◀◀・- ボタンまたは
+・▶▶ボタン

演奏方向が、▶(フォワード方向)でも ◀(リバーブ方向)で同じ操作で頭出しを行ないます。

◀◀・- ボタンを押します

聞いている曲の頭出しをします。押すごとに、前の曲を飛び越します。

例えば3曲目を演奏中に2回押すと、2曲目の頭出しを行ないます。

+・▶▶ボタンを押します

次の曲の頭出しをします。押すごとに、曲を飛び越します。

例えば3曲目を演奏中に2回押すと、5曲目の頭出しを行ないます。

注意

次のようなテープを演奏しているときは、ミュージックサーチが正しく働かないことがあります。

曲と曲の間に4秒以上の無録音部分がないテープ
クラシック音楽などの小さな音が長く続く曲が入ったテープ
会議や英会話などの音声途切れているテープ
無録音部分にノイズがあるテープ

早送り巻戻しをする

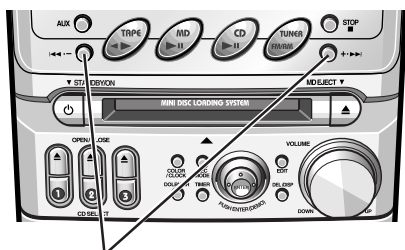
演奏方向が、▶(フォワード方向)でも ◀(リバーブ方向)でも同じ操作で早送り巻戻しを行ないます。停止中に操作します。

◀◀・- ボタンを押します

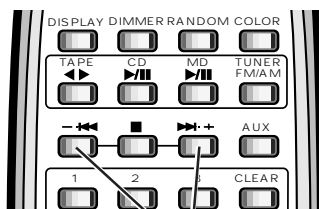
巻き戻しをします。

+・▶▶ボタンを押します

早送りをします。



◀◀・- ボタンまたは
+・▶▶ボタン



◀◀・- ボタンまたは
+・▶▶ボタン

FM/AM放送をテープに録音する

TYPE I (ノーマル) を使用してください。TYPE II (クローム / HIGH) または TYPE IV (メタル) テープは、ご使用になれません。

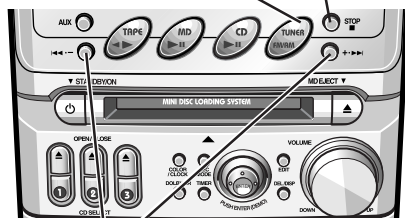
テープの始めにリーダーテープ (録音できない部分) があるので、約 5 秒ほどテープを走行させておいてください。誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。ヘッドは定期的に清掃してください。(93 ページ参照)

- 3 テープ(TAPE ◀▶) ボタン 1 テープイジェクト (PUSH OPEN ▲) 部



- 2 ドルビー NR (DOLBY NR) ボタン

- 5 チューナー (TUNER) ボタン 停止 (STOP ■) ボタン



◀◀・・ ボタンまたは
+・▶▶ ボタン

1. テープイジェクト (PUSH OPEN ▲) 部を押し
カセットホルダーに録音用テープを入れます



テープイジェクト (PUSH OPEN ▲) 部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。

↓
カセットテープをホルダー内に入れます。

↓
手でカセットホルダーを押し
て閉めます。

2. ドルビー NR (DOLBY NR) ボタンを押して、
オンかオフかを選びます

オンを選ぶと高域のノイズが低減されます。(26 ページ参照)

押すごとに以下のように切り替わります。

ドルビーオンのときは、表示部に □□ が点灯します。

ドルビー オン ◀————▶ ドルビー オフ
(□□ 点灯) (□□ 消灯)

3. テープ (TAPE ◀▶) ボタンを押して録音方向を
切りかえます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止 (STOP ■) ボタンを押します。

◀ (リバース方向) ◀————▶ (フォワード方向)

テープをカセットホルダーにセットするとき、A 面を上になれば ▶ が A 面に、◀ が B 面になります。

4. 演奏モード (PLAY MODE) ボタンを押してリ
バースモードを選びます

押すごとに以下のように切り替わります。

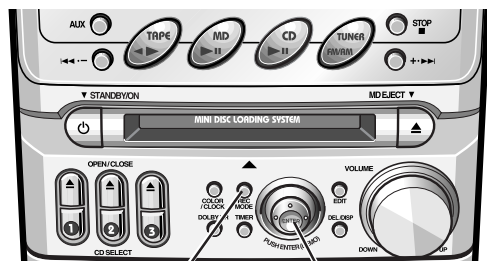
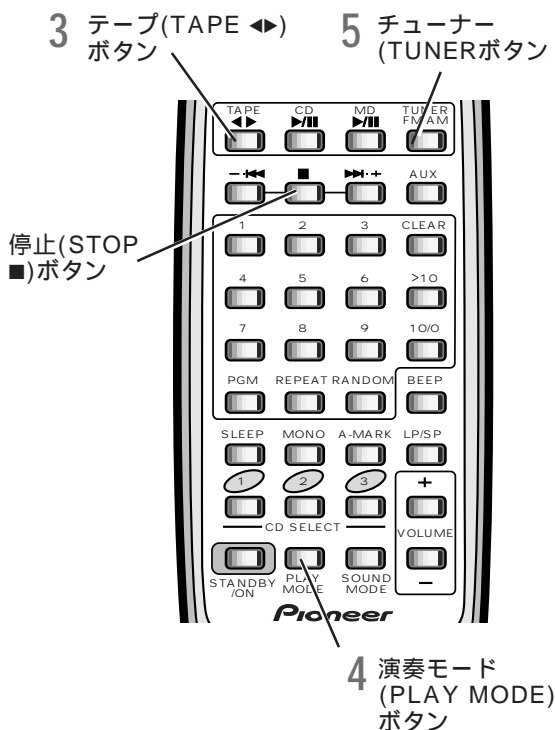


↔ : 片面だけ録音して停止します。

↔↔ : 片面を 1 回ずつ (両面) 録音して停止します。
ただし ◀ (リバース方向) から録音を開始した場合は、片面 (リバース) 録音が終わると停止します。

5. チューナー (TUNER) ボタンを押します

6. ◀◀・・ ボタン、または +・▶▶ ボタンで、録
音したい放送局のステーションを選びます
またはリモコンの数字ボタンでダイレクトに選
びます。録音したい放送局がステーションに記憶され
ていない場合は、18 ページを参照して選局してくだ
さい。

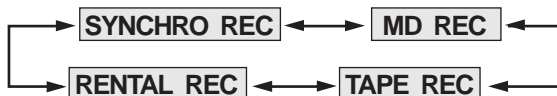


注意

録音中には、CDやMDなどに切り換えることはできません。
本機はALC(Auto Level Control)機能により自動的に録音レベルを設定します。
録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。
テープへの録音中に、「再生専用MD」または「録音・再生MDで誤消去防止状態になっているディスク」を挿入すると、録音を中止してMDの演奏を開始します。

7. 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

8. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、「TAPE REC」を選びます
押すごとに以下のように切り替わります。



REC MODE
TAPE REC

9. エンタージョグ(ENTER)を押します
テープの録音を開始します。

録音を停止するには ...

停止(STOP ■)ボタンを押します。

AM放送の雑音を減らして録音する

ビートカット(BEAT CUT)機能といいます。AM放送を録音するときに雑音(ピーというような音)が録音されるような場合に雑音が低減されます。

1. 電源スイッチを押して、電源オフ(スタンバイ状態)にします

2. 録音モード(REC MODE)ボタンを3秒以上押します
表示部のバックライトが点灯し、現在設定されているビートカットの状態を点滅表示します。

3. エンタージョグ(ENTER)を左右に動かして、オンとオフかを選択します

ビートカット オン ◀▶ ビートカット オフ
(BEAT CUT ON) (BEAT CUT OFF)

4. エンタージョグ(ENTER)を押して決定します
表示部のバックライトが消灯して、スタンバイ状態の時計表示に戻ります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断では使用できません。

CDの全曲を簡単に テープに録音する

CDシンクロ録音といいます。

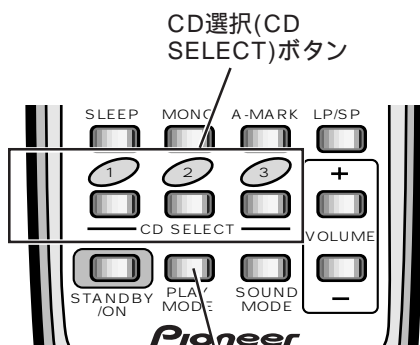
TYPE I (ノーマル) を使用してください。TYPE II (クローム / HIGH) または TYPE IV (メタル) テープは、ご使用になれません。

テープの始めにリーダーテープ (録音できない部分) があるので、約 5 秒ほどテープを走行させておいてください。誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。ヘッドは定期的に清掃してください。(93 ページ参照)

- 3 テープ(TAPE ◀▶) ボタン 1 テープイジェクト (PUSH OPEN ▲) 部

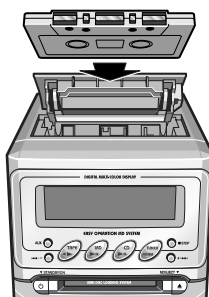


- 2 ドルビー NR (DOLBY NR) ボタン 停止 (STOP ■) ボタン



- 4.8 演奏モード (PLAY MODE) ボタン

1. テープイジェクト (PUSH OPEN ▲) 部を押して
カセットホルダーに録音用テープを入れます



テープイジェクト (PUSH OPEN ▲) 部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。

↓
カセットテープをホルダー内に入れます。

↓
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. ドルビー NR (DOLBY NR) ボタンを押して、
オンかオフかを選びます

オンを選ぶと高域のノイズが低減されます。(26 ページ参照)

押すごとに以下のように切り替わります。

ドルビーオンのときは、表示部に □□ が点灯します。

ドルビー オン ←→ ドルビー オフ
(□□ 点灯) (□□ 消灯)

3. テープ (TAPE ◀▶) ボタンを押して録音方向を
切りかえます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止 (STOP ■) ボタンを押します。

◀ (リバース方向) ←→▶ (フォワード方向)

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上になれば ▶ が A 面に、◀ が B 面になります。

4. 演奏モード (PLAY MODE) ボタンを押してリ
バースモードを選びます

押すごとに以下のように切り替わります。



◀▶ : 片面だけ録音して停止します。

◀▶ ◀▶ : 片面を 1 回ずつ (両面) 録音して停止します。
ただし ◀ (リバース方向) から録音を開始した場合は、片面 (リバース) 録音が終わると停止します。

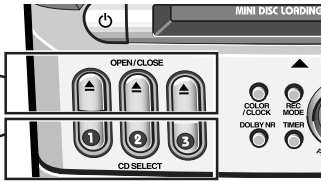
5. オープン / クローズ (OPEN / CLOSE) ボタン
を押してトレイを開けます

ディスクは 3 枚までセットできます。セットしたいディスク番号の CD オープン / クローズ (OPEN / CLOSE) ボタンを押してください。

5.6

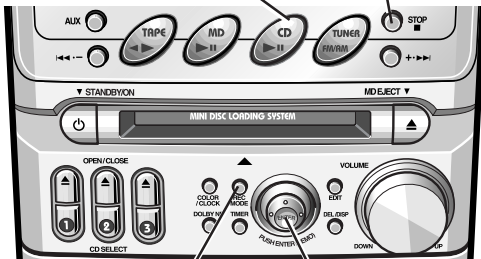
CDオープン/クローズ
(OPEN/CLOSE)
ボタン

CD選択(CD
SELECT)ボタン



7 CD(▶/⏸)ボタン

停止(STOP ■)
ボタン



9 録音モード
(REC MODE)
ボタン

10~13
エンタージョグ
(ENTER)

メモ

- テープがフォワード面(▶)からリバース面(◀)へ反転する時に、録音中の曲が途中の状態ではフォワード面(▶)が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。
- 3枚のディスクをセットしたときは、最後にセットしたディスク(CD 選択(CD SELECT)ボタンの点灯しているディスク)から順に録音します。
希望のディスクから録音したいときは、手順8のあとにCD選択(CD SELECT)ボタンを押して録音したいディスクを一度演奏させてから停止(STOP ■)ボタンで停止する操作を行なうと、選択したディスクから順に録音できます。

注意

本機はALC(Auto Lebel Control)により自動的に録音レベルを設定します。
録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。
テープへの録音中に、「再生専用MD」または「録音・再生 MD で誤消去防止状態になっているディスク」を挿入すると、録音を中止してMDの演奏を開始します。

6. ディスクをセットします



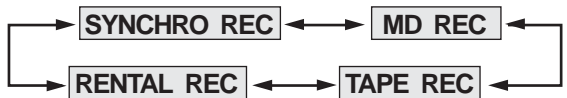
レーベル面(曲名などが印刷されている面)を上にしてセットします。
続けてディスクはセットできます。他のディスクをセットする場合は、セットしたいディスク番号のオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してからセットします。

7. CD(▶/⏸)ボタンを押してトレイを閉めます
演奏が開始されますので、停止(STOP ■)ボタンを押して演奏を停止させてください。

8. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します
押すごとに、オールディスクプレイ(ALL)モードとシングルディスクプレイ(SINGLE)モードが切り替わります。
セットしたすべてのディスクの録音を行なう場合は、オールディスクプレイ(ALL)モード。選択したディスク1枚だけの録音を行なう場合は、シングルディスクプレイ(SINGLE)モードとなります。

9. 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

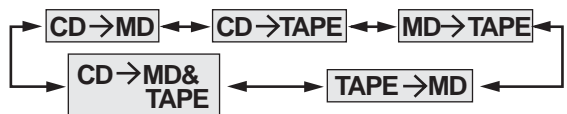
10 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"SYNCHRO REC"を選びます
押すごとに以下のように切り替わります。



SYNCHRO REC

11 エンタージョグ(ENTER)を押します

12 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"CD →TAPE"を選びます



CD → TAPE

13 エンタージョグ(ENTER)を押します
CD の演奏とテープの録音を開始します。
CD の演奏が終わると、テープも停止します。途中で止めるときは停止(STOP ■)ボタンを押します。

CDの好きな曲だけ テープに録音する

CD プログラムシンクロ録音といいます。

TYPE I (ノーマル) を使用してください。TYPE II (クローム / HIGH) または TYPE IV (メタル) テープは、ご使用になれません。

テープの始めにリーダーテープ (録音できない部分) があるので、約 5 秒ほどテープを走行させておいてください。誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。ヘッドは定期的に清掃してください。(93 ページ参照)

3 テープ(TAPE ◀▶)ボタン

停止(STOP ■)
ボタン

11.12
数字ボタン

9
プログラム
(PGM)ボタン

10.13
CD選択(CD
SELECT)ボタン

4.8 演奏モード(PLAY
MODE)ボタン


5.6
オープン/クローズ
(OPEN/CLOSE)
ボタン

10.13
CD選択(CD
SELECT)ボタン

数字ボタン

数字ボタンでの曲番号を選の選びかた

1 ~ 9 : 番号のボタンを押します。

10 :  を押します。

11 以上 :  を押してから番号を選びます。

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押し
カセットホルダーに録音用テープを入れます



テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。


↓
カセットテープをホルダー内に入れます。



↓
手でカセットホルダーを押し
て閉めます。

2. ドルビー NR(DOLBY NR)ボタンを押して、
オンかオフかを選びます

オンを選ぶと高域のノイズが低減されます。(26 ページ参照)

押すごとに以下のように切り替わります。

ドルビーオンのときは、表示部に  が点灯します。

ドルビー オン ←→ ドルビー オフ
( 点灯) ( 消灯)

3. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して録音方向を
切りかえます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(STOP ■)ボタンを押します。

◀ (リバース方向) ←→▶ (フォワード方向)

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上になれば▶がA面に、◀がB面になります。

4. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押してリ
バースモードを選びます

押すごとに以下のように切り替わります。



◀▶ : 片面だけ録音して停止します。

◀▶▶▶ : 片面を1回ずつ(両面)録音して停止します。
ただし◀ (リバース方向) から録音を開始
した場合は、片面(リバース)録音が終わる
と停止します。

5. CDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタ
ンを押してトレイを開けます

ディスクは3枚までセットできます。セットしたい
ディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/
CLOSE)ボタンを押してください。

6. ディスクをセットします



レーベル面(曲名などが印刷されている面)を上にしてセットします。
続けてディスクはセットできます。他のディスクをセットする場合は、セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してからセットします。

7. CD(▶/⏮)ボタンを押してトレイを閉めます 演奏が開始されますので、停止(STOP ■)ボタンを押して演奏を停止させてください。

8. 演奏モード(PPLAY MODE)ボタンを押します 押すごとに、オールディスクプレイ(ALL)モードとシングルディスクプレイ(SINGLE)モードが切り替わります。 セットしたすべてのディスクの録音を行なう場合は、オールディスクプレイ(ALL)モード。選択したディスク1枚だけの録音を行なう場合は、シングルディスクプレイ(SINGLE)モードとなります。

9. CDの停止中に、プログラム(PGM)ボタンを押します

PROGRAM DISC1
P01- PROGRAM

10 録音したい曲のディスク番号のCD選択(CD SELECT)ボタンを押します

11 数字ボタンで録音したい曲番号を選びます

PROGRAM DISC1
P01-06 5:01 PROGRAM
◀ALL▶

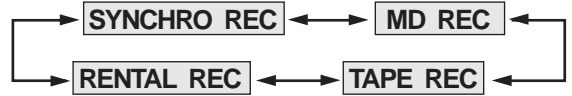
CD ディスク番号①の6曲目を選んだときの表示

12 手順10と11を繰り返して、録音したい曲のディスク番号と曲番号を選びます

選ぶ曲番号を間違えたときは、クリアー(CLEAR)ボタンを押します。押すごとに最後に選んだ曲から順に消えていきます。

13 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

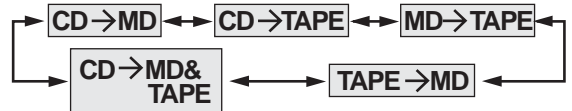
14 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"SYNCHRO REC"を選びます 押すごとに切り替わります。



SYNCHRO REC

15 エンタージョグ(ENTER)を押します

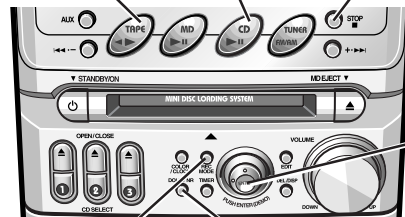
16 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"CD → TAPE"を選びます



CD → TAPE

17 エンタージョグ(ENTER)を押します 録音を開始します。 CDの演奏が終わると、テープも停止します。途中で止めるときは停止(STOP ■)ボタンを押します。

3 テープ(TAPE ◀▶)ボタン 7 CD(▶/⏮)ボタン 停止(STOP ■)ボタン



14~17
エンター
ジョグ
(ENTER)

13 録音モード(REC MODE)ボタン 2 ドルビーNR(DOLBY NR)ボタン

メモ

- テープがフォワード面(▶)からリバース面(◀)へ反転する時に、録音中の曲が途中の状態ではフォワード面(▶)が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。
- 録音中にディスクが切り換わる間は、テープの録音は一時中断状態になります。ディスクの切り換えが終わると再び録音を開始します。

注意

本機はALC(Auto Level Control)により自動的に録音レベルを設定します。
録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。
テープへの録音中に、「再生専用MD」または「録音・再生MDで誤消去防止状態になっているディスク」を挿入すると、録音を中止してMDの演奏を開始します。

CDの1曲目だけをテープに録音する

レンタルCD録音といいます。トレイにセットされているディスクの1曲目だけを録音します。シングルCDを録音するのに便利です。

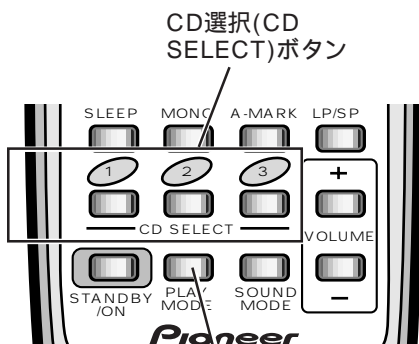
TYPE I (ノーマル) を使用してください。TYPE II (クローム / HIGH) または TYPE IV (メタル) テープは、ご使用になれません。

テープの始めにリーダーテープ (録音できない部分) があるので、約5秒ほどテープを走行させておいてください。誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。ヘッドは定期的に清掃してください。(93ページ参照)

- 3 テープ(TAPE ◀▶) ボタン 1 テープイジェクト (PUSH OPEN ▲) 部

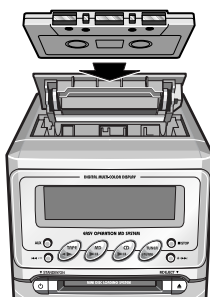


- 2 ドルビーNR (DOLBY NR) ボタン 停止(STOP ■) ボタン



- 4 演奏モード(PLAY MODE) ボタン

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押しカセットホルダーに録音用テープを入れます



テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。

↓
カセットテープをホルダー内に入れます。

↓
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. ドルビーNR(DOLBY NR)ボタンを押して、オンかオフかを選びます

オンを選ぶと高域のノイズが低減されます。(26ページ参照)

押すごとに以下のように切り替わります。

ドルビーオンのときは、表示部に□が点灯します。

ドルビー オン ◀————▶ ドルビー オフ
(□点灯) (□消灯)

3. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して録音方向を切りかえます

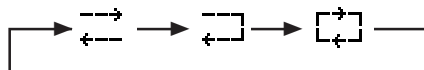
押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(STOP ■)ボタンを押します。

◀ (リバース方向) ◀————▶ (フォワード方向)

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上になれば▶がA面に、◀がB面になります。

4. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押してリバースモードを選びます

押すごとに以下のように切り替わります。



▶ : 片面だけ録音して停止します。

◀▶ : 片面を1回ずつ(両面)録音して停止します。
ただし◀ (リバース方向) から録音を開始した場合は、片面 (リバース) 録音が終わると停止します。

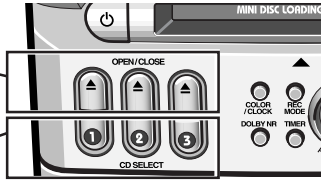
5. CD オープン / クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してトレイを開けます

ディスクは3枚までセットできます。セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してください。

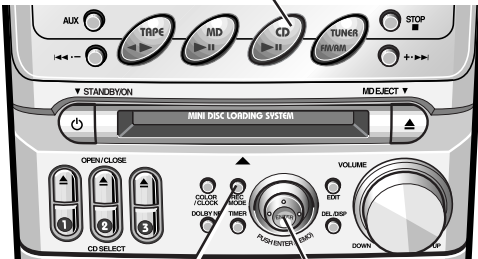
5.6

CDオープン/クローズ
(OPEN/CLOSE)
ボタン

CD選択(CD
SELECT)ボタン



7 CD(▶/⏏)ボタン



8 録音モード
(REC MODE)
ボタン

9~12
エンタージョグ
(ENTER)

メモ

- テープがフォワード面(▶)からリバース面(◀)へ回転する時に、録音中の曲が途中の状態ではフォワード面(▶)が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。
- 3枚のディスクをセットしたときは、最後にセットしたディスク(CD選択(CD SELECT)ボタンの点灯しているディスク)から順に録音します。
希望のディスクから録音したいときは、手順7のあとにCD選択(CD SELECT)ボタンを押して録音したいディスクを一度演奏させてから停止(STOP ■)ボタンで停止する操作を行なうと、選択したディスクから順に録音できます。

注意

本機はALC(Auto Level Control)により自動的に録音レベルを設定します。
録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。
テープへの録音中に、「再生専用MD」または「録音・再生MDで誤消去防止状態になっているディスク」を挿入すると、録音を中止してMDの演奏を開始します。
レンタルCDでは、CDの演奏モード(21ページ参照)に関係なく、オールディスクプレイ(ALL)モードが選択されます。

6. ディスクをセットします

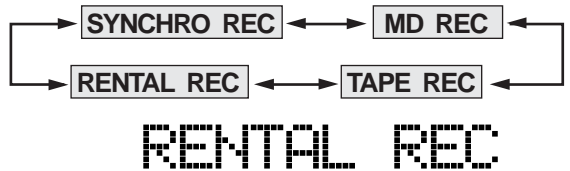


レーベル面(曲名などが印刷されている面)を上にしてセットします。
続けてディスクはセットできます。他のディスクをセットする場合は、セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してからセットします。

7. CD(▶/⏏)ボタンを押してトレイを閉めます
演奏が開始されますので、停止(STOP ■)ボタンを押して演奏を停止させてください。

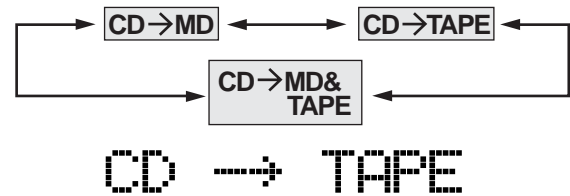
8. 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

9. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"RENTAL REC"を選びます
押すごとに以下のように切り替わります。



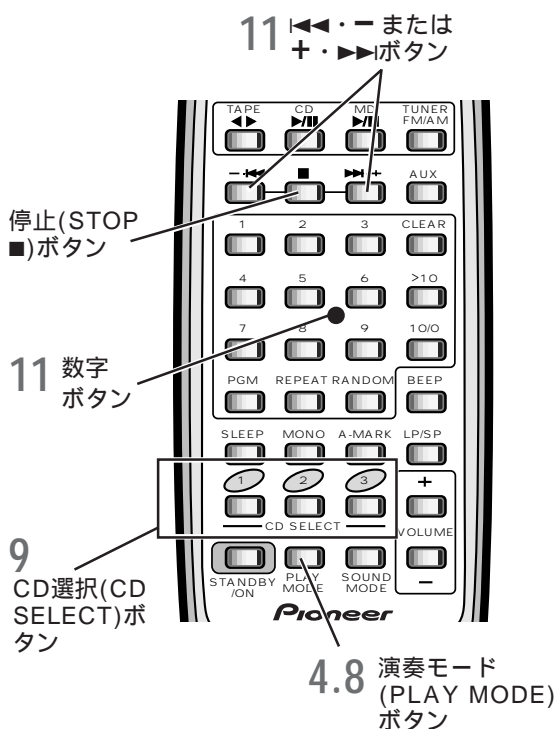
10 エンタージョグ(ENTER)を押します

11 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"CD → TAPE"を選びます



12 エンタージョグ(ENTER)を押します

CDの演奏とテープの録音を開始します。
CDの演奏が終わると、テープも停止します。途中で止めるときは停止(STOP ■)ボタンを押します。



メモ

- 途中で録音を止めるときは、停止(STOP ■)ボタンを押します。
例えばCDの5曲目から8曲目までを録音する場合や5曲目だけを録音する場合は、手順11で5曲目を選んだ後、録音している演奏を聞きながら、希望の録音が終了した時点で停止(STOP ■)ボタンを押します。

注意

テープがフォワード面(▶)からリバース面(◀)へ反転する間も、CDの演奏は継続されます。したがって録音されたテープは、その間の音は途切れたままの録音となります。

本機はALC(Auto Level Control)により自動的に録音レベルを設定します。

録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。

テープへの録音中に、「再生専用MD」または「録音・再生MDで誤消去防止状態になっているディスク」を挿入すると、録音を中止してMDの演奏を開始します。

6. ディスクをセットします



レーベル面(曲名などが印刷されている面)を上にしてセットします。

続けてディスクはセットできます。他のディスクをセットする場合は、セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してからセットします。

7. CD(▶/||)ボタンを押してトレイを閉めます 演奏がスタートします。

8. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します 押すごとに、オールディスクプレイ(ALL)モードと シングルディスクプレイ(SINGLE)モードが切り替 わります。 セットしたすべてのディスクの録音を行なう場合 は、オールディスクプレイ(ALL)モード。選択した ディスク1枚だけの録音を行なう場合は、シングル ディスクプレイ(SINGLE)モードとなります。

9. CD選択(CD SELECT)ボタンを押して、録音 したい曲のディスクを選びます

10 CD(▶/||)ボタンを押して一時停止させます

11 録音を開始する曲を選びます リモコンの数字ボタン、または◀◀・—/ +・▶▶ ボタンで、録音を開始する曲を選びます。 この時、演奏経過時間の表示が"0:00"でない場合 は、曲の途中からの録音となりますので注意してく ださい。

12 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録 音モードの選択表示にします

13 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、 "TAPE REC"を選びます 押すごとに以下のように切り替わります。



TAPE REC

14 エンタージョグ(ENTER)を押します CDの演奏とテープの録音を開始します。 CDの演奏が終わると、テープも停止します。途中 で止めるときは停止(STOP ■)ボタンを押します。

MD を聞く

2 MD (▶/■) ボタン

停止(STOP ■) ボタン



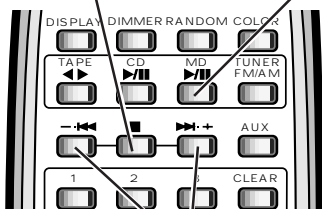
◀◀・- ボタンまたは
+・▶▶ ボタン

MD取り出し(MD
EJECT ▲)ボタン

エンタージョグ(ENTER)

停止(STOP ■) ボタン

2 MD (▶/■) ボタン



◀◀・- ボタンまたは
+・▶▶ ボタン

メモ

- MDでは演奏を開始する前にディスクの最初に記録されているTOC(トック)情報を読み取りますので、その間は音が出ません。
- 演奏中または演奏一時停止中にデリート/ディスプレイ(DEL/DISP)ボタン(リモコンの場合は、ディスプレイ(DISPLAY)ボタン)を押すと、ディスクの総演奏時間と演奏経過時間を交互に表示します。
- 電源がオフの時にMDを入れることはできません。MDを入れる前に必ず電源がオンされていることを確認してください。

1. MDを入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。
MDの情報(ディスク名や演奏時間など)が表示されます。「再生専用MD」または「録音・再生MDで誤消去防止状態になっているもの」を挿入すると自動的に演奏を開始します。

2. MD (▶/■) ボタンを押します

曲名が入っているMDは、演奏時に曲名を表示します。

演奏をやめるには

停止(STOP ■)ボタンを押します。

演奏を一時停止するには

MD (▶/■) ボタンを押します。
もう一度押すと、演奏を再開します。

MDを取り出すには

MD取り出し(MD EJECT ▲)ボタンを押します。

曲の頭出しをするには

前の曲に戻るときは、◀◀・- ボタンを短く押すか、エンタージョグ(ENTER)を下方方向に動かします。押した回数だけ曲を飛び越します。演奏中に1回押すと、演奏している曲の頭に戻ります。
次の曲に戻るときは、+・▶▶ ボタンを短く押すか、エンタージョグ(ENTER)を上方方向に動かします。押した回数だけ曲を飛び越します。

早送り・早戻しをするには

早送りするには、演奏中に +・▶▶ ボタンを押し続けます。
早戻しするには、演奏中に◀◀・- ボタンを押し続けます。

聞きたい曲を選ぶ

リモコンで操作します。

曲番号をリモコンの数字ボタンで選びます

MDが停止中に数字ボタンで曲番号を選んだ場合は、選んだ曲の演奏を開始します。

1 ~ 9 : 番号のボタンを押す。

10 : を押す。

11 以上 : を押してから番号を選びます。

(例) 15 曲目
20 曲目

表示を切りかえる

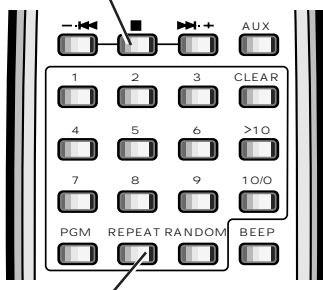
[総演奏時間] Tr006 0:28
 [演奏経過時間] Tr006 1:40:57

デリート/ディスプレイ(DEL/DISP)ボタンを押します
 (リモコンの場合はディスプレイ(DISPLAY)ボタン)
 押すごとに「演奏経過時間」と「総演奏時間」が切りかわります。

繰り返し演奏する

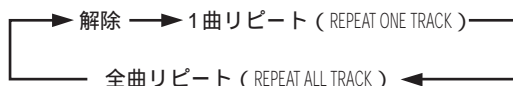
リピート演奏といいます。演奏している1曲だけを繰り返す1曲リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲リピートとがあります。リモコンで操作します。

停止(STOP ■)ボタン



リピート(REPEAT)ボタン

リピート(REPEAT)ボタンを押します
 押すごとに、以下の様に切り替わります。



1曲リピートを選択すると、本体表示部の"REPEAT"が点滅し、全曲リピートを選択すると、本体表示部の"REPEAT"が点灯します。

リピート演奏をやめるには....

停止(STOP ■)ボタンを押します。
 注意：CDの停止中にリピート(REPEAT)ボタンを押してリピート演奏を設定した場合、電源をオフ(スタンバイ状態)にするとリピート演奏の設定は解除されます。

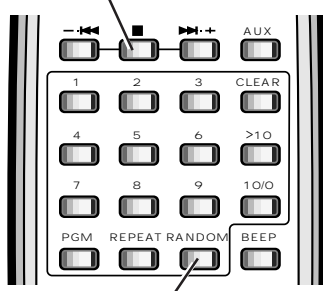
メモ

- 1曲リピート中にランダム(RANRAM)ボタンを押すと、リピート演奏は解除されランダム演奏を行ないます。
- 1曲リピート中に「+>▶」ボタンまたは「◀◀-」ボタンを押して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し演奏します。
- プログラム演奏中にリピート(REPEAT)ボタンを押すと、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
 もう一度リピート(REPEAT)ボタンを押すと、プログラムされた全曲を繰り返し演奏します。(プログラムリピート演奏といいます。)さらにリピート(REPEAT)ボタンを押すと、リピート演奏は解除され、通常のプログラム演奏に戻ります。また全曲リピート中にランダム(RANRAM)ボタンを押すと、ディスクの全曲を無作為(ランダム)に繰り返し演奏します。(ランダムリピート演奏といいます。)

順不同で演奏する

ランダム演奏といいます。曲を無作為に選んで1回ずつ演奏します。リモコンで操作します。

停止(STOP ■)ボタン



ランダム(RANDOM)ボタン

ランダム(RANDOM)ボタンを押します
 ランダム演奏を開始します。
 本体表示部の"RANDOM"が点灯します。

ランダム演奏をやめるには....

停止(STOP ■)ボタンを押します。

メモ

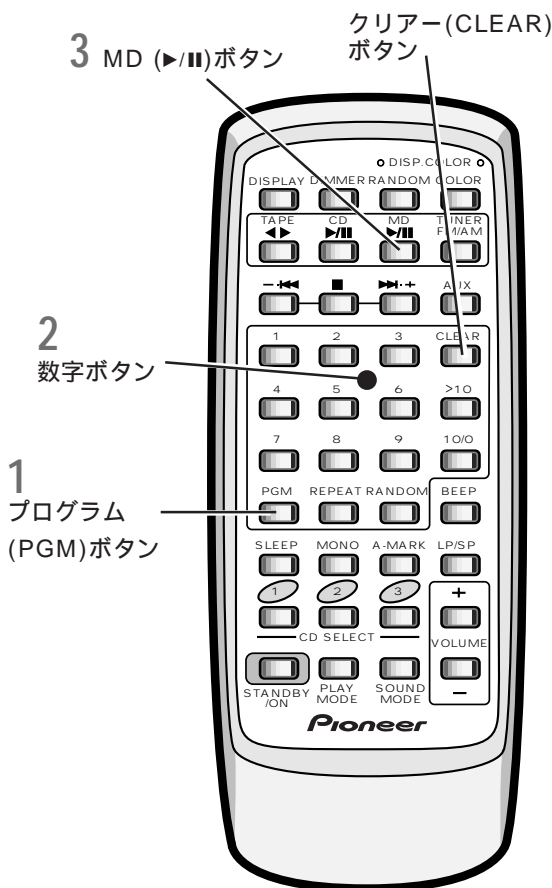
- ランダム演奏は最大99曲までできます。
 100曲以上入っているディスクでは1曲目から99曲目までの間でランダム演奏します。
- ランダム演奏中にリピート(REPEAT)ボタンを押すと、ディスクの全曲をランダムに繰り返し再生します。(ランダムリピート演奏といいます。)
- ランダム演奏中にランダム(RANDOM)ボタンを押すと、ランダム演奏が解除され通常の演奏に戻ります。

好きな曲を好きな順番で聞く

プログラム演奏といいます。好きな曲を最大24ステップまで登録することができます。

リモコンで操作します。

プログラム登録した順番に、そのまま曲を並べかえることもできます。



例) 6曲目、31曲目の順に演奏する場合

1. MDの停止中に、プログラム(PGM)ボタンを押します

PROGRAM
P01- 0:00 []

PROGRAM

2. 数字ボタンで聞きたい曲番号を登録します
聞きたい曲の順番に、曲番号を登録していきます。
6曲目を登録します

6 []

PROGRAM
P01-006 5:01 []

PROGRAM

31曲目を登録します

PROGRAM
P02- 5:01 []

PROGRAM

>10 >10 >10 1 []

PROGRAM
P02-031 12:53 []

PROGRAM

3. MD (▶/⏸) ボタンを押します
プログラム登録した順に演奏を開始します。

登録中に曲番を間違えたとき

クリアー (CLEAR) ボタンを押します
押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容を確認する

停止中にプログラム (PGM) ボタンを押します
押すごとに、登録した曲から順に内容が表示されます。

数字ボタン

数字ボタンでの曲番号を選の選びかた

1 ~ 9 : 番号のボタンを押します。

10 : を押します。

11 以上 : を押してから番号を選びます。

(例) 15 曲目

20 曲目

登録する曲を追加する

1. プログラム演奏を停止させます
2. 登録する曲番号を数字ボタンで選びます
3. MD (▶/⏸) ボタンを押します
プログラムした順に演奏を開始します。

プログラム登録した1曲だけを消す

1. 停止中にプログラム(PGM)ボタンを押します
消したい曲が表示されるまでプログラム(PGM)ボタンを押します。
2. クリアー(CLEAR)ボタンを押します
表示されている曲だけが消え、その後に登録した曲のステップが順に繰り上がります。

プログラム登録した内容をすべて消す

以下のいずれかの操作で登録した内容をすべて消去することができます

- 演奏中に停止(STOP ■)ボタンを2回押します。
- 停止中に停止(STOP ■)ボタンを1回押します。
- MD 取り出し(MD EJECT ▲)ボタンを押してディスクを取り出します。

MDの編集機能でプログラム登録した曲順に並べかえる

プログラムムーブといいます。プログラム登録した曲順にMDの曲を並べかえてディスクに記録します。あらかじめプログラム登録をしてください。(40ページ参照)

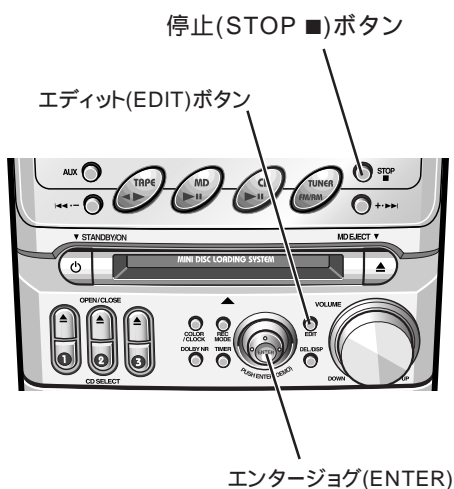
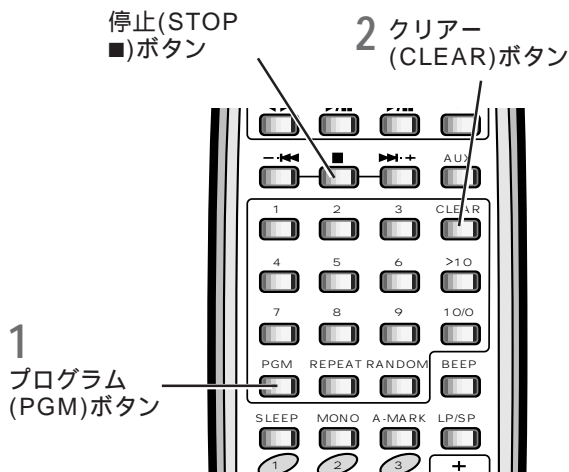
1. エディット(EDIT)ボタンを押します

EDIT MODE
PROGRAM MOVE
PROGRAM]

2. エンタージョグ(ENTER)を押します
10秒以内に押してください。
中止するときは停止(STOP ■)ボタンを押します。

PROGRAM MOVE ?

3. エンタージョグ(ENTER)を押します
10秒以内に押してください。
"COMPLETE"と表示され、プログラムした曲順に並べかえます。
MDの新しい曲順がディスクに記録されたので、以後、MDの曲順はプログラムされた曲順に演奏されます。



注意

プログラム演奏中にランダム(RANDOM)ボタンを押すと、プログラム演奏が解除されランダム演奏します。

プログラム登録しなかった曲は、プログラムムーブで並べかえた曲のうしろに並びます。

同じ曲を2回以上プログラム登録しているときは、うしろにプログラムされた曲が優先されます。

誤消去防止つまみが開いたMD(48ページ参照)では、プログラムムーブを行なうことはできません。

MDの全曲を簡単に テープに録音する

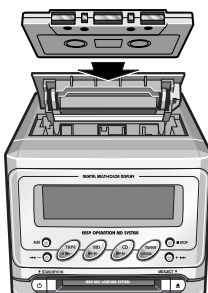
MD シンクロ録音といいます。

TYPE I (ノーマル) を使用してください。TYPE II (クローム / HIGH) または TYPE IV (メタル) テープは、ご使用になれません。

テープの始めにリーダーテープ (録音できない部分) があるので、約 5 秒ほどテープを走行させておいてください。誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。ヘッドは定期的に清掃してください。(93 ページ参照)



1. テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押し
カセットホルダーに録音用テープを入れます



テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。

↓
カセットテープをホルダー内に入れます。

↓
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. ドルビー NR(DOLBY NR) ボタンを押して、
オンかオフかを選びます

オンを選ぶと高域のノイズが低減されます。(26 ページ参照)

押すごとに以下のように切り替わります。

ドルビーオンのときは、表示部に **NR** が点灯します。

ドルビー オン ←→ ドルビー オフ
(**NR** 点灯) (**NR** 消灯)

3. テープ(TAPE ◀▶) ボタンを押して録音方向を
切りかえます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(STOP ■) ボタンを押します。

◀ (リバース方向) ←→▶ (フォワード方向)

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上になれば▶がA面に、◀がB面になります。

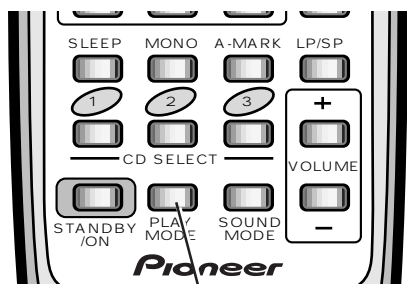
4. 演奏モード(PLAY MODE) ボタンを押してリ
バースモードを選びます

押すごとに以下のように切り替わります。

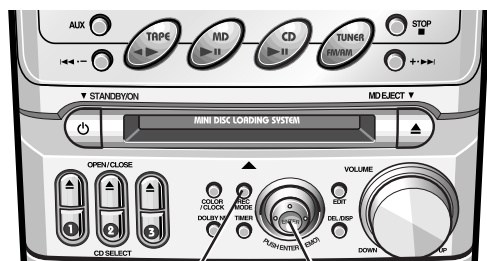


◀▶ : 片面だけ録音して停止します。

◀▶ ◀▶ : 片面を1回ずつ(両面)録音して停止します。
ただし◀ (リバース方向) から録音を開始した場合は、片面 (リバース) 録音が終わると停止します。



4 演奏モード (PLAY MODE) ボタン



6 録音モード (REC MODE) ボタン

8~10 エンタージョグ (ENTER)

メモ

- テープがフォワード面(▶)からリバース面(◀)へ反転する時に、録音中の曲が途中の状態ではフォワード面(▶)が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。

注意

本機はALC (Auto Level Control) により自動的に録音レベルを設定します。
録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。

5. MDを入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
「再生専用MD」または「録音・再生MDで誤消去防止状態になっているもの」を挿入すると演奏を開始しますので、停止(STOP ■)ボタンを押します。

6. 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

7. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"SYNCHRO REC"を選びます

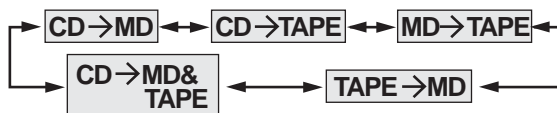
押すごとに以下のように切り替わります。



SYNCHRO REC

8. エンタージョグ(ENTER)を押します

9. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"MD → TAPE"を選びます



MD → TAPE

10. エンタージョグ(ENTER)を押します

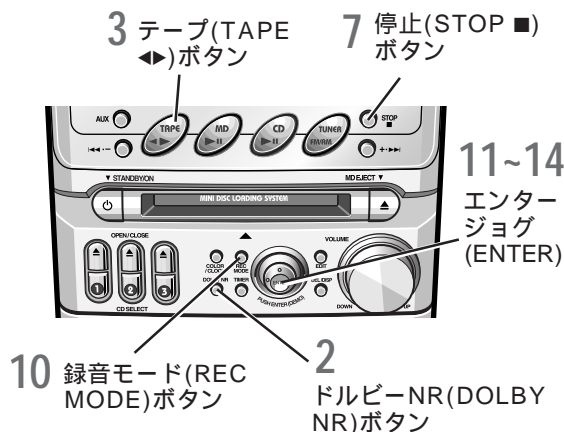
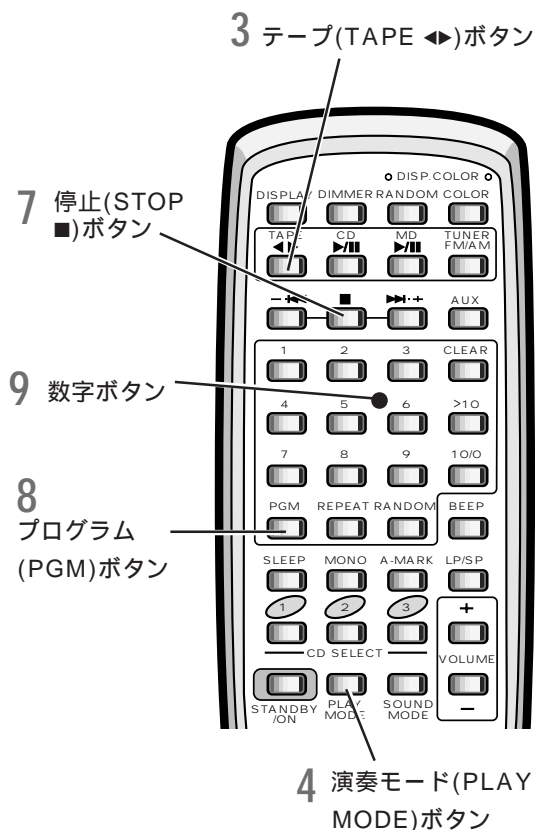
MDの演奏とテープの録音を開始します。
MDの演奏が終わると、テープも停止します。途中で止めるときは停止(STOP ■)ボタンを押します。

MDの好きな曲だけ テープに録音する

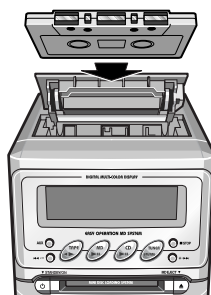
MD プログラムシンクロ録音といえます。

TYPE I (ノーマル) を使用してください。TYPE II (クローム / HIGH) または TYPE IV (メタル) テープは、ご使用になれません。

テープの始めにリーダーテープ (録音できない部分) があるので、約 5 秒ほどテープを走行させておいてください。誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。ヘッドは定期的に清掃してください。(93 ページ参照)



1. テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押し
カセットホルダーに録音用テープを入れます



テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。

↓
カセットテープをホルダー内に入れます。

↓
手でカセットホルダーを押し
て閉めます。

2. ドルビー NR(DOLBY NR)ボタンを押して、
オンかオフかを選びます

オンを選ぶと高域のノイズが低減されます。(26 ページ参照)

押すごとに以下のように切り替わります。

ドルビーオンのときは、表示部に **ON** が点灯します。

ドルビー オン ◀————▶ ドルビー オフ
(**ON** 点灯) (**ON** 消灯)

3. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して録音方向を
切りかえます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(STOP ■)ボタンを押します。

◀ (リバース方向) ◀————▶ (フォワード方向)

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上になれば ▶ が A 面に、◀ が B 面になります。

4. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押してリ
バースモードを選びます

押すごとに以下のように切り替わります。



◀————▶ : 片面だけ録音して停止します。

◀————▶ ◀————▶ : 片面を 1 回ずつ (両面) 録音して停止します。
ただし ◀ (リバース方向) から録音を開始した場合は、片面 (リバース) 録音が終わると停止します。

5. MDを入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。

6. MD (▶/■) ボタンを押します

「再生専用 MD」または「録音・再生 MD で誤消去防止状態になっているもの」を挿入すると自動的に演奏を開始します。

7. 停止 (STOP ■) ボタンを押します

MD の情報 (ディスク名や演奏時間など) が表示されます。

8. プログラム (PGM) ボタンを押します

PROGRAM DISC1
P01- 0:00

PROGRAM

9. 数字ボタンで録音したい曲番号を登録します

録音したい曲の順番に曲番号を登録していきます。登録中に曲番を間違えたときは、クリア (CLEAR) ボタンを押します。押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

6 曲目を登録します



31 曲目を登録します



数字ボタンについて

リモコンの数字ボタンでの曲番号の選びかた

1 ~ 9 : 番号のボタンを押します。

10 : を押します。

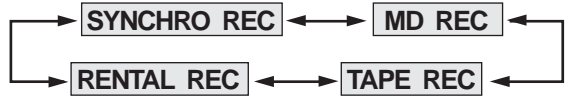
11 以上 : を押してから番号を選びます。

(例) 15 曲目
20 曲目

10 録音モード (REC MODE) ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

11 エンタージョグ (ENTER) を上下に動かして、"SYNCHRO REC" を選びます

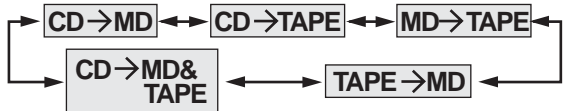
押すごとに以下のように切り替わります。



SYNCHRO REC

12 エンタージョグ (ENTER) を押します

13 エンタージョグ (ENTER) を上下に動かして、"MD → TAPE" を選びます



MD → TAPE

14 エンタージョグ (ENTER) を押します

MD の演奏とテープの録音を開始します。
MD の演奏が終わると、テープも停止します。途中で止めるときは停止 (STOP ■) ボタンを押します。

メモ

- テープがフォワード面 (▶) からリバース面 (◀) へ反転する時に、録音中の曲が途中の状態でもフォワード面 (▶) が終了してしまった場合は、リバース面の最初からその曲を録音し直します。

注意

本機は ALC (Auto Level Control) により自動的に録音レベルを設定します。
録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。

MDの途中の曲から テープに録音する

マニュアル録音といいます。

TYPE I (ノーマル) を使用してください。TYPE II (クローム / HIGH) または TYPE IV (メタル) テープは、ご使用になれません。

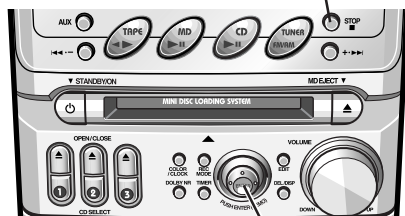
テープの始めにリーダーテープ (録音できない部分) があるので、約 5 秒ほどテープを走行させておいてください。誤消去防止ツメの折れているテープは録音できません。ヘッドは定期的に清掃してください。(93 ページ参照)

- 3 テープ(TAPE ◀▶) ボタン 1 テープイジェクト (PUSH OPEN ▲) 部



- 2 ドルビーNR (DOLBY NR) ボタン 9 録音モード (REC MODE) ボタン

停止(STOP ■) ボタン



- 10.11 エンタージョグ (ENTER)

1. テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押し
カセットホルダーに録音用テープを入れます



テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。

カセットテープをホルダー内に入れます。

手でカセットホルダーを押し
て閉めます。

2. ドルビー NR(DOLBY NR) ボタンを押して、
オンかオフかを選びます

オンを選ぶと高域のノイズが低減されます。(26 ページ参照)

押すごとに以下のように切り替わります。

ドルビーオンのときは、表示部に□□が点灯します。

ドルビー オン ◀————▶ ドルビー オフ
(□□ 点灯) (□□ 消灯)

3. テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して演奏させて、
録音方向を切りかえます

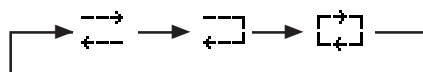
押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(STOP ■)ボタンを押します。

◀◀ (リバース方向) ◀————▶▶▶▶ (フォワード方向)

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上になれば▶▶がA面に、◀◀がB面になります。

4. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押してリ
バースモードを選びます

押すごとに以下のように切り替わります。



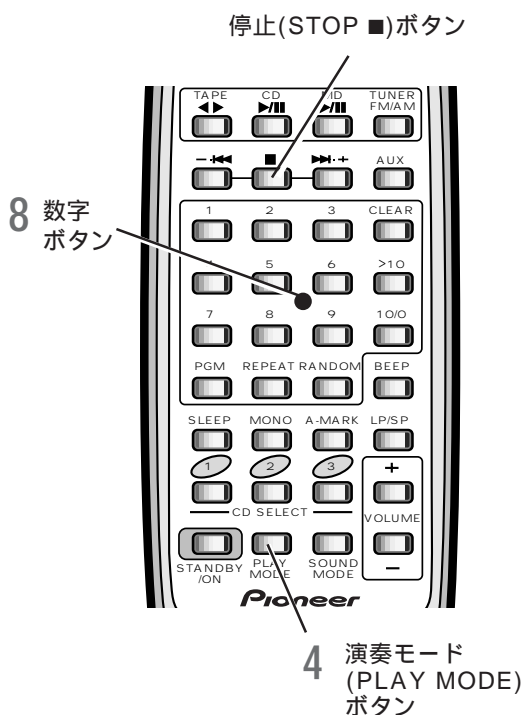
▶▶▶▶ : 片面だけ録音して停止します。

◀◀◀◀ ▶▶▶▶ : 片面を1回ずつ(両面)録音して停止します。
ただし◀◀ (リバース方向) から録音を開始した場合は、片面 (リバース) 録音が終わると停止します。

5. MDを入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。



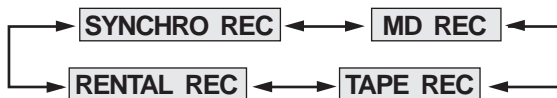
6. MD (▶/■)ボタンを押します
「再生専用MD」または「録音・再生MDで誤消去防止状態になっているもの」を挿入すると自動的に演奏を開始します。

7. MD (▶/■)ボタンを押して一時停止させます

8. 録音を開始する曲を選びます
リモコンの数字ボタン、または◀◀・- / +・▶▶ボタンで、録音を開始する曲を選びます。
この時、演奏経過時間の表示が"0:00"でない場合は、曲の途中からの録音となりますので注意してください。

9. 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

10 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"TAPE REC"を選びます
押すごとに以下のように切り替わります。



TAPE REC

11 エンタージョグ(ENTER)を押します
MDの演奏とテープの録音を開始します。
MDの演奏が終わると、テープも停止します。

途中で録音を止めたいとき

停止(STOP ■)ボタンを押します。

例えばMDの5曲目から8曲目までを録音する場合や5曲目だけを録音する場合は、手順8で5曲目を選んだ後、録音している演奏を聞きながら、希望の録音が終了した時点で停止(STOP ■)ボタンを押します。

注意

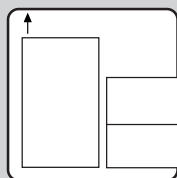
テープがフォワード面(▶)からリバース面(◀)へ反転する間も、MDの演奏は継続されます。したがって録音されたテープは、その間の音は途切れたままの録音となります。

本機はALC(Auto Level Control)により自動的に録音レベルを設定します。

録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。

MD 録音の基礎知識

テープ録音との違い！



TOC (トック) が記録されています

曲や音声と共に、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として TOC (Table of Contents) が記録されています。

裏面には録音できません

裏に入れようとしても、入らない構造になっています。

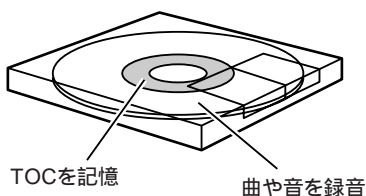
録音開始場所を探す必要はありません

録音できる場所を自動的に探して、そこから録音を始めます。

録音前に録音できる時間を確認できます

MD に記録される情報 (TOC)

演奏や編集をするときには、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として TOC を手がかりに動作しています。したがって MD で曲の録音をしたり編集作業をした場合は、TOC 情報もディスクに記録しますし、TOC 情報を書き換えたりもしています。ですから正しく曲の録音作業を行っても TOC 情報が正しくディスクに書かれない場合は、正しい演奏ができません。



TOC はいつ MD に記録される？

- MD を取り出しているとき
- 電源を切ったとき

TOC を記録するときの注意

- TOC の記録中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOC が正しく記録されず、正しく再生できない場合があります。

録音中に停電すると？

- MD への録音中にコンセントが抜けたり停電すると、そのときの録音内容はすべて消えてしまいます。すでに録音してある MD に録音していた場合は、追加していた部分が消えます。これは、TOC が記録できないためです。

なぜ MD は録音開始前に録音場所を探す必要がないのか？

録音した曲の曲名や曲順、録音場所といった情報を TOC で管理しているからです。ですから TOC 情報を見れば、録音を開始する前に、録音できるディスクの残り時間を知ることができるのです。

次のようなときは録音できません。

再生専用 MD (市販の音楽ソフト) に録音しようとしたとき

MD が誤消去防止状態になっているとき

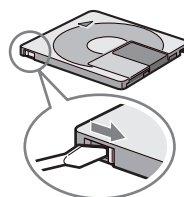
MD の録音可能時間が残っていないとき

"TOC FULL" が表示されたとき

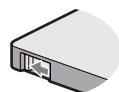
TOC が異常の時

録音した MD を誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。



あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。お問合わせ先：社団法人 私的録音補償金管理協会 東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号 東京オペラシティタワー 11F
電話 (03) 5353 - 0336
FAX (03) 5353 - 0337

本機はドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

TOC 情報で録音できる時間を確かめる

MD を挿入すると、TOC 情報から録音可能な時間を知ることができます。

TOC データがない MD

未使用の録音再生用 MD のことで、BLANK (ブランク) と表示されるので、ブランク・ディスクともいいます。したがって、MD の記録可能時間すべて録音することができます。



TOC データあり / ディスクの名前なしの MD

録音済の録音再生用 MD、または再生専用 MD で、ディスクの名前を入力していない状態の MD。MD の録音可能時間から記録済の時間を引けば、残記録時間がわかります。

下の図の例の場合は、
74 分 (録音可能時間) - 20 分 17 秒 = 53 分 43 秒



TOC データあり / ディスクの名前ありの MD

ディスクに名前が入力されている、録音済の録音再生用 MD、または再生専用 MD。ディスクの名前は、最大 100 文字まで表示します。MD の録音可能時間から記録済の時間を引けば、残記録時間がわかります。



TOC データがいっぱいの MD

MD には、最大で 255 曲までの TOC 情報しか録音できません。したがって、このままでは新たに曲を録音することはできませんので、曲を消去 (トラックイレース) するか、全曲消去 (オールイレース) してください。(72 ページ参照)

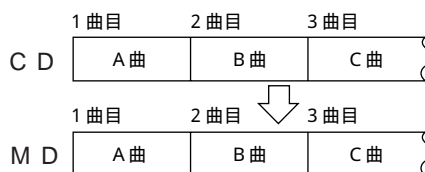


曲番号について

MD に曲や音声を録音すると、自動的に曲番号がつけられます。追加録音したときは、順に曲番号が大きくなります。

CD から録音したとき

CD などについている曲番号と同じ所に、1 曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし 4 秒以下の曲がある場合などは、CD の曲番号と録音した MD の曲番号が一致しないことがあります。

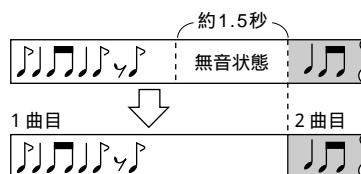


ラジオ放送から録音したとき

1 回の録音内容を 1 曲として曲番号がつけます。

テープや外部機器から録音したとき

1.5 秒以上の無音部分があると、曲間と判断して曲番号が自動的につきます (オートマーカー機能)。



信号に雑音があるときなど、録音する内容によっては、正しい位置に曲番号がつかないこともあります。

オートマーカー機能を使わずに、ひと続きの曲として記録することもできます。(65 ページ参照)

CD から MD に録音したときの注意

本機で CD から MD に録音した場合は、すべてデジタル録音となります。したがって、本機で CD から録音した MD を、他の機器で別の MD や CD-R などにデジタル録音することはできません。これは、SCMS (シリアル・コピー・マネージメントシステム) により定められているためです。本機で CD から録音した MD を別の MD などのデジタル録音機器に録音する場合はアナログで録音してください。

CDの全曲を簡単にMDに録音する

CDシンクロ録音といいます。

デジタル録音となります。

本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。

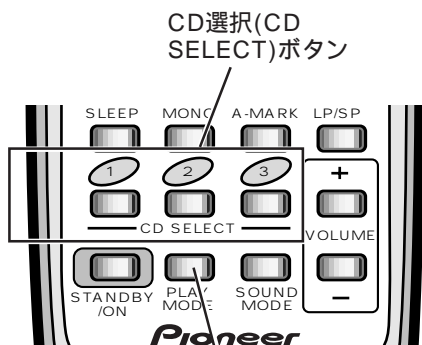
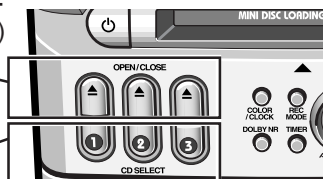
MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。

MD記録曲数は最大255曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

2.3

CDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタン

CD選択(CD SELECT)ボタン



CD選択(CD SELECT)ボタン

5 演奏モード (PLAY MODE)ボタン

1. 録音用のMDを入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

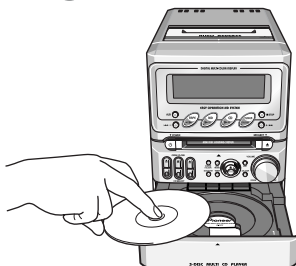
誤消去防止状態になっているMDには録音できません。(48ページ参照)

ディスクの録音可能時間を知ることができます。(49, 66ページ参照)

2. CDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してトレイを開けます

ディスクは3枚までセットできます。セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してください。

3. ディスクをセットします



レーベル面(曲名などが印刷されている面)を上にしてセットします。

続けてディスクはセットできます。他のディスクをセットする場合は、セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してからセットします。

4. CD(▶/■)ボタンを押してトレイを閉めます

演奏が開始されますので、停止(STOP ■)ボタンを押して演奏を停止させてください。

5. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します

押すごとに、オールディスクプレイ(ALL)モードとシングルディスクプレイ(SINGLE)モードが切り替わります。セットしたすべてのディスクの録音を行なう場合は、オールディスクプレイ(ALL)モード。選択したディスク1枚だけの録音を行なう場合は、シングルディスクプレイ(SINGLE)モードとなります。

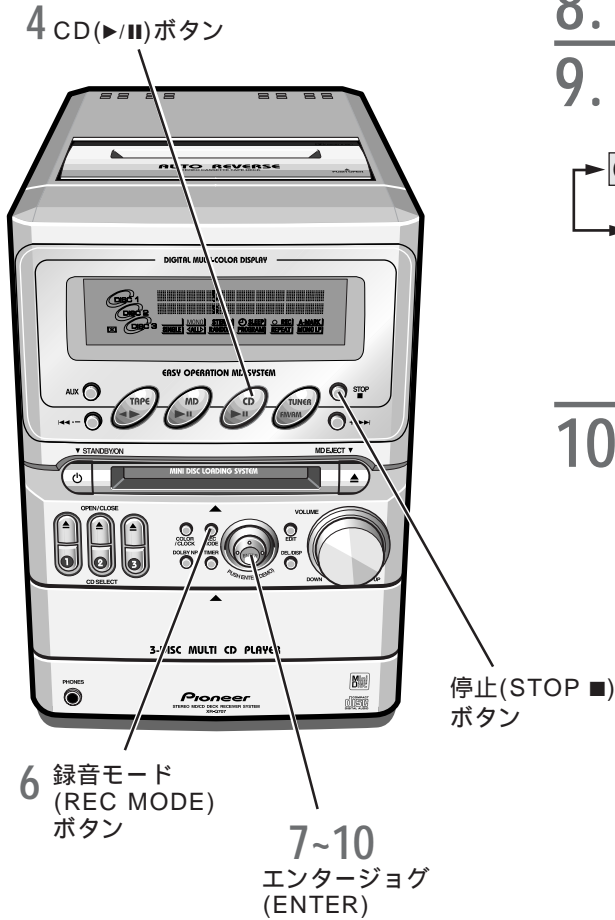
6. 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

7. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"SYNCHRO REC"を選びます

押すごとに以下のように切り替わります。

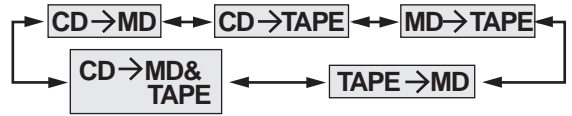


SYNCHRO REC



8. エンタージョグ (ENTER) を押します

9. エンタージョグ (ENTER) を上下に動かして、"CD → MD" を選びます



SYNCHRO REC
CD → MD

10 エンタージョグ (ENTER) を押します

CD の演奏と MD の録音を開始します。

CD の演奏が終わると、MD も停止します。途中で止めるときは停止 (STOP ■) ボタンを押します。

メモ

- 3 枚のディスクをセットしたときは、最後にセットしたディスク (CD 選択 (CD SELECT) ボタンの点灯しているディスク) から順に録音します。希望のディスクから録音したいときは、手順 5 のあとに CD 選択 (CD SELECT) ボタンを押して録音したいディスクを一度演奏させてから停止 (STOP ■) ボタンで停止する操作を行なうと、選択したディスクから順に録音できます。
- 録音中に演奏している CD の曲が終了してディスクが切り換わる間は、MD の録音は一時中断状態になります。ディスクの切り換えが終わると再び録音を開始します。
- CD の曲番号と同じ所に、1 曲ごとの曲番号が自動的に付きます。ただし 4 秒以下の曲がある場合などは、CD の曲番号と録音した MD の曲番号が一致しないことがあります。

CDの好きな曲だけ MDに録音する

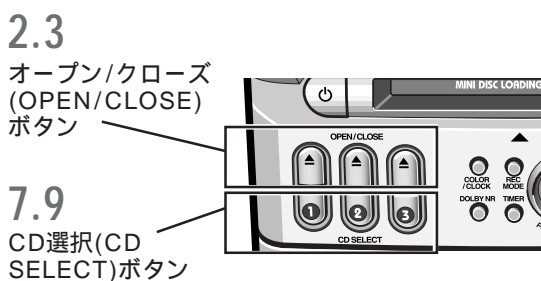
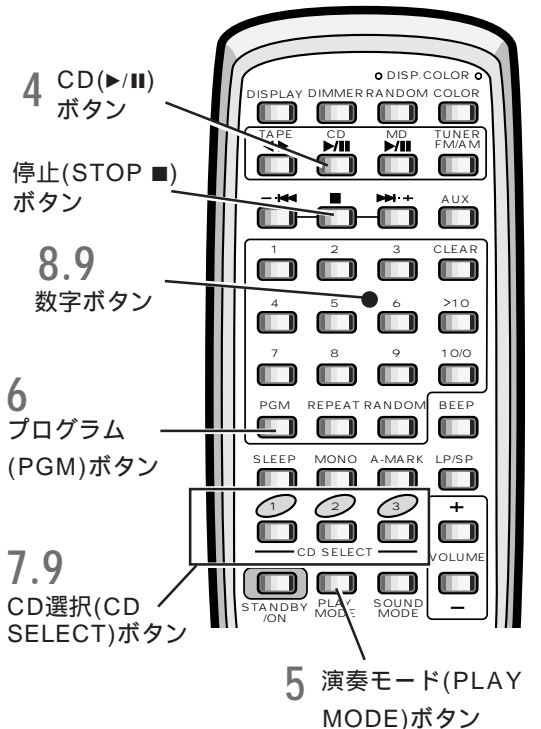
CD プログラムシンクロ録音といいます。

デジタル録音となります。

MD は自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。

本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。

MD 記録曲数は最大 255 曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。



数字ボタン

数字ボタンでの曲番号を選ぶかた

1 ~ 9 : 番号のボタンを押します。

10 : を押します。

11 以上 : を押してから番号を選びます。

1. 録音用の MD を入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。

途中から自動的に引き込まれます。

誤消去防止状態になっている MD には録音できません。(48 ページ参照)

ディスクの録音可能時間を知ることができます。(49, 66 ページ参照)

2. CDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してトレイを開けます

ディスクは3枚までセットできます。セットしたいディスク番号の CD オープン / クローズ(OPEN / CLOSE)ボタンを押してください。

3. ディスクをセットします



レーベル面(曲名などが印刷されている面)を上にしてセットします。

続けてディスクはセットできます。他のディスクをセットする場合は、セットしたいディスク番号の CD オープン / クローズ(OPEN / CLOSE)ボタンを押してからセットします。

4. CD(▶/||)ボタンを押してトレイを閉めます

演奏が開始されますので、停止(STOP ■)ボタンを押して演奏を停止させてください。

5. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します

押すごとに、オールディスクプレイ(ALL)モードとシングルディスクプレイ(SINGLE)モードが切り替わります。

セットしたすべてのディスクの録音を行なう場合は、オールディスクプレイ(ALL)モード。選択したディスク1枚だけの録音を行なう場合は、シングルディスクプレイ(SINGLE)モードとなります。

6. CDの停止中に、プログラム(PGM)ボタンを押します

PROGRAM DISC1
P01- 0:00

PROGRAM

7. 録音したい曲のディスク番号の CD 選択(CD SELECT)ボタンを押します

8. 数字ボタンで録音したい曲番号を選びます

PROGRAM DISC1
P01-06 5:01

◀ALL▶ PROGRAM▶

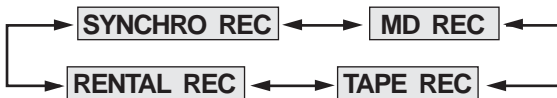
CD ディスク番号①の6曲目を選んだときの表示

9. 手順7と8を繰り返して、録音したい曲のディスク番号と曲番号を選びます

選ぶ曲番号を間違えたときは、クリアー(CLEAR)ボタンを押します。押すごとに最後に選んだ曲から順に消えていきます。

- 10 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

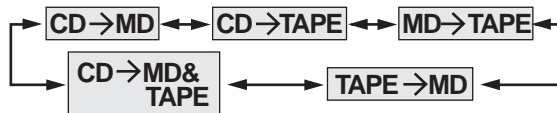
- 11 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"SYNCHRO REC"を選びます
押すごとに以下のように切り替わります。



SYNCHRO REC

- 12 エンタージョグ(ENTER)を押します

- 13 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"CD → MD"を選びます



SYNCHRO REC
CD → MD

- 14 エンタージョグ(ENTER)を押します
CDの演奏とMDの録音を開始します。
CDの演奏が終わると、MDも停止します。途中で止めるときは停止(STOP ■)ボタンを押します。

REC TIME OVER"表示が出たとき...

CDプログラムシンクロ録音において、好きな曲として選んだ曲のトータル時間よりもMDの録音可能時間が不足していると、"REC TIME OVER"と表示されます。

好きな曲を選び直すとき

1. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"REPROGRAM ?"を選びます

REPROGRAM ?

2. エンタージョグ(ENTER)を押します

3. プログラム(PGM)ボタンを押します
登録してあるプログラムの曲の中から、消去する曲を選びます。

4. クリアー(CLEAR)ボタンを押して、プログラムから選んだ曲を消去します

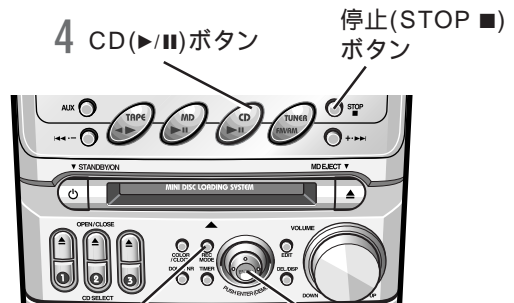
5. 手順10～14を行ないます

そのまま録音をするとき

1. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"REC CONTINUE ?"を選びます

REC CONTINUE ?

2. エンタージョグ(ENTER)を押します
そのまま録音をはじめます。録音終了後、MDが停止するとCDも停止します。
ただしこの場合は、すべての曲がMDに録音されるわけではありません。



- 10 録音モード(REC MODE)ボタン

- 11~14
エンター
ジョグ
(ENTER)

CDの1曲目だけをMDに録音する

レンタルCD録音といいます。トレイにセットされているディスクの1曲目だけを録音します。シングルCDを録音するのに便利です。デジタル録音となります。

本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。

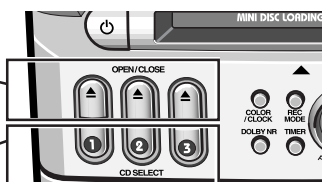
MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。

MD記録曲数は最大255曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

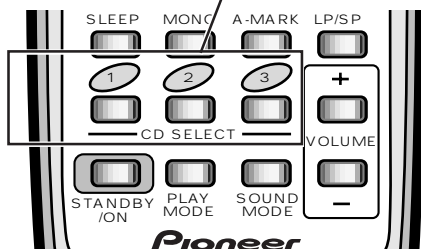
2.3

CDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタン

CD選択(CD SELECT)ボタン



CD選択(CD SELECT)ボタン



1. 録音用のMDを入れます

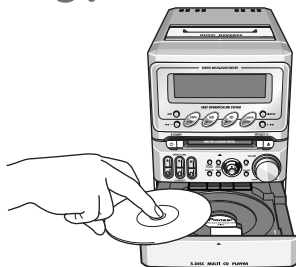


ラベルを上にして矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。誤消去防止状態になっているMDには録音できません。(48ページ参照) ディスクの録音可能時間を知ることができます。(49,66ページ参照)

2. CDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してトレイを開けます

ディスクは3枚までセットできます。セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してください。

3. ディスクをセットします



レーベル面(曲名などが印刷されている面)を上にしてセットします。続けてディスクはセットできます。他のディスクをセットする場合は、セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してからセットします。

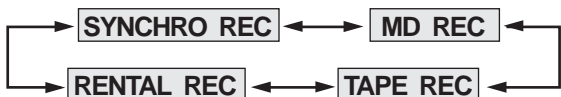
4. CD(▶/■)ボタンを押してトレイを閉めます

演奏が開始されますので、停止(STOP ■)ボタンを押して演奏を停止させてください。

5. 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

6. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"RENTAL REC"を選びます

押すごとに以下のように切り替わります。

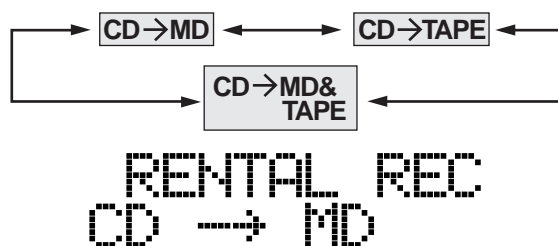


REC MODE
RENTAL REC

7. エンタージョグ(ENTER)を押します



8. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
"CD → MD" を選びます



9. エンタージョグ(ENTER)を押します
CD の演奏と MD の録音を開始します。
CD の演奏が終わると、MD も停止します。途中で
止めるときは停止(STOP ■)ボタンを押します。

注意

レンタルCD では、CD の演奏モード (21 ページ参照) に関係なく、オールディスクプレイ (ALL) モードが選択されます。

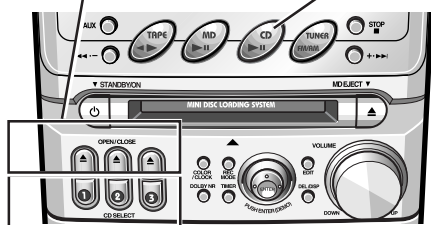
メモ

- 3枚のディスクをセットしたときは、最後にセットしたディスク (CD 選択 (CD SELECT) ボタンの点灯しているディスク) から順に録音します。
希望のディスクから録音したいときは、手順4のあとにCD選択 (CD SELECT) ボタンを押して録音したいディスクを一度演奏させてから停止 (STOP ■) ボタンで停止する操作を行なうと、選択したディスクから順に録音できます。

CDの途中の曲からMDに録音する

マニュアル録音といいます。デジタル録音となります。本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。MD記録曲数は最大255曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

- 2.3 オープン/クローズ (OPEN/CLOSE) ボタン
4.7 CD (▶/||) ボタン



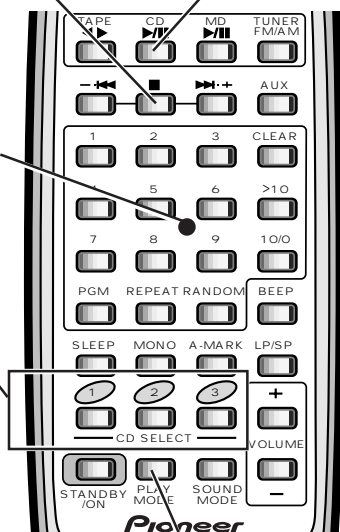
- 6 CD選択 (CD SELECT) ボタン

停止 (STOP ■) ボタン

- 4.7 CD (▶/||) ボタン

- 8 数字ボタン

- 6 CD選択 (CD SELECT) ボタン



- 5 演奏モード (PLAY MODE) ボタン

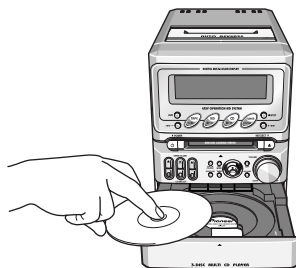
1. 録音用のMDを入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。誤消去防止状態になっているMDには録音できません。(48ページ参照) ディスクの録音可能時間を知ることができます。(49, 66ページ参照)

2. CDオープン/クローズ (OPEN/CLOSE) ボタンを押してトレイを開けます
ディスクは3枚までセットできます。セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ (OPEN/CLOSE) ボタンを押してください。

3. ディスクをセットします



レーベル面 (曲名などが印刷されている面) を上にしてセットします。続けてディスクはセットできます。他のディスクをセットする場合は、セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ (OPEN/CLOSE) ボタンを押してからセットします。

4. CD (▶/||) ボタンを押してトレイを閉めます
演奏がスタートします。

5. 演奏モード (PLAY MODE) ボタンを押します
押すごとに、オールディスクプレイ (ALL) モードとシングルディスクプレイ (SINGLE) モードが切り替わります。
セットしたすべてのディスクの録音を行なう場合は、オールディスクプレイ (ALL) モード。選択したディスク1枚だけの録音を行なう場合は、シングルディスクプレイ (SINGLE) モードとなります。

6. CD選択 (CD SELECT) ボタンを押して、録音したい曲のディスクを選びます

7. CD (▶/||) ボタンを押して一時停止させます

8. 録音を開始する曲を選びます
リモコンの数字ボタン、または ◀◀ ◯ ▶▶ / + ◯ ▶▶ ボタンで、録音を開始する曲を選びます。
この時、演奏経過時間の表示が "0:00" でない場合は、曲の途中からの録音となりますので注意してください。

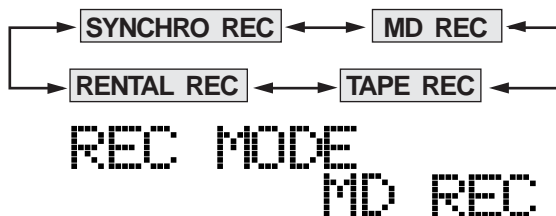


9 録音モード
(REC MODE)
ボタン

10.11
エンタージョグ
(ENTER)

9. 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

10 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"MD REC"を選びます
押すごとに以下のように切り替わります。



11 エンタージョグ(ENTER)を押します
CDの演奏とMDの録音を開始します。
CDの演奏が終わると、MDも停止します。

途中で録音を止めたいとき

停止(STOP ■)ボタンを押します。

例えばCDの5曲目から8曲目までを録音する場合や5曲目だけを録音する場合は、手順8で5曲目を選んだ後、録音している演奏を聞きながら、希望の録音が終了した時点で停止(STOP ■)ボタンを押します。

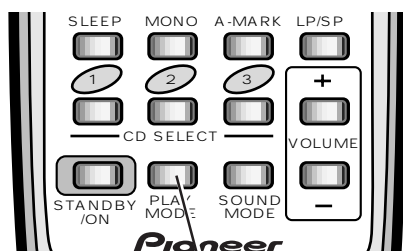
テープの全曲を簡単にMDに録音する

テープシンクロ録音といいます。アナログ録音となります。本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。MD記録曲数は最大255曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

- 4 テープ(TAPE ◀▶)ボタン 2 テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部



- 3 ドルビーNR (DOLBY NR) ボタン 7 録音モード (REC MODE) ボタン



- 6 演奏モード (PLAY MODE) ボタン

1. 録音用のMDを入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。誤消去防止状態になっているMDには録音できません。(48ページ参照) ディスクの録音可能時間を知ることができます。(49, 66ページ参照)

2. テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押して、テープを入れます



テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。

↓
カセットテープをホルダー内に入れます。

↓
手でカセットホルダーを押して閉めます。

3. ドルビーNR(DOLBY NR)ボタンを押して、オンかオフかを選びます

オンかオフかは、録音してあるテープのドルビーのオンとオフに合わせてください。押すごとに以下のように切り替わります。ドルビーオンのときは、表示部に[DOLBY NR]が点灯します。

ドルビー オン ◀————▶ ドルビー オフ
([DOLBY NR] 点灯) ([DOLBY NR] 消灯)

4. テープの演奏方向を切りかえます
テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押す。押すごとに切りかわります。

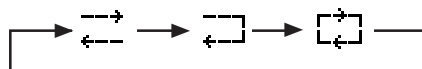
◀(リバース方向) ◀————▶(フォワード方向)

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上になれば▶がA面に、◀がB面になります。演奏方向を選んだら停止(STOP ■)ボタンを押します。

5. ◀◀◀◀ ボタンまたは▶▶▶▶ボタンを押して、録音開始したい面の頭出しをします

テープのはじめ、または終わりまで巻き終えた時点で、テープは自動的に停止します。

6. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押してリ
バースモードを選びます
押すごとに以下のように切り替わります。

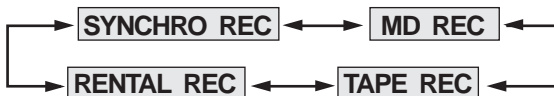


→ : 片面だけ録音して停止します。

↔ : 片面を1回ずつ録音して停止します。
ただし ◀ (リバース方向) から録音を開始
した場合は、片面 (リバース) 録音が終わ
ると停止します。

7. 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録
音モードの選択表示にします

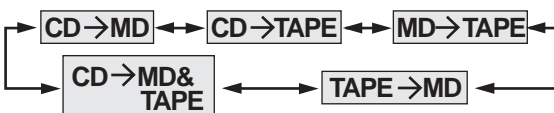
8. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
"SYNCHRO REC"を選びます
押すごとに以下のように切り替わります。



SYNCHRO REC

9. エンタージョグ(ENTER)を押します

- 10 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
"TAPE → MD"を選びます

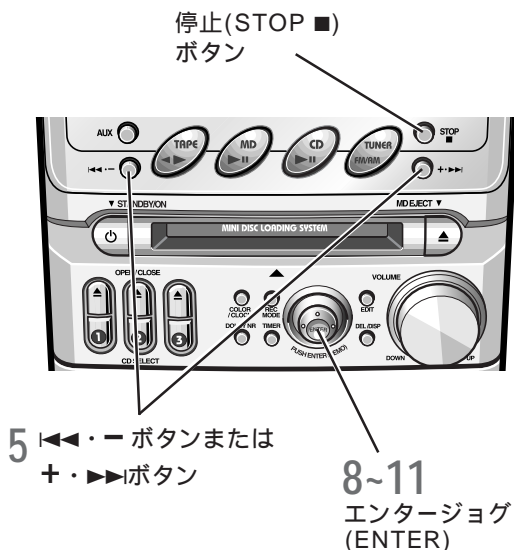


TAPE → MD

- 11 エンタージョグ(ENTER)を押します
テープの演奏とMDの録音を開始します。
テープの演奏が終わると、MDも停止します。途
中で止めるときは停止(STOP ■)ボタンを押します。

メモ

- 演奏するテープがMDの録音時間よりも長いときは、MDが停止するとテープも停止します。
- 演奏するテープに1.5秒以上の無音部分があると、曲間と判断して曲番号が自動的につきます(オートマーク機能)。ただし、無音部分に雑音があるなどテープの録音状態によっては、正しい位置に曲番号がつかないこともあります。
- オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として記録することもできます。(65ページ参照)



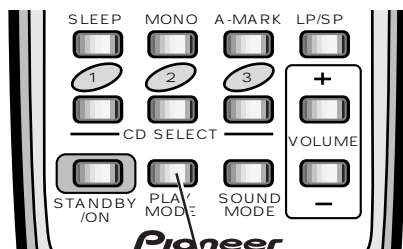
テープをマニュアルでMDに録音する

マニュアル録音といいます。アナログ録音となります。本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。MD記録曲数は最大255曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

- 4 テープ(TAPE ◀▶)ボタン 2 テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部



- 3 ドルビーNR(DOLBY NR)ボタン 7 録音モード(REC MODE)ボタン



- 6 演奏モード(PLAY MODE)ボタン

1. 録音用のMDを入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。誤消去防止状態になっているMDには録音できません。(48ページ参照) ディスクの録音可能時間を知ることができます。(49,66ページ参照)

2. テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押して、テープを入れます



テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。

↓
カセットテープをホルダー内に入れます。

↓
手でカセットホルダーを押して閉めます。

3. ドルビーNR(DOLBY NR)ボタンを押して、オンかオフかを選びます

オンかオフかは、録音してあるテープのドルビーのオンとオフに合わせてください。

押すごとに以下のように切り替わります。

ドルビーオンのときは、表示部に[DOLBY NR]が点灯します。

ドルビー オン ◀————▶ ドルビー オフ
([DOLBY NR] 点灯) ([DOLBY NR] 消灯)

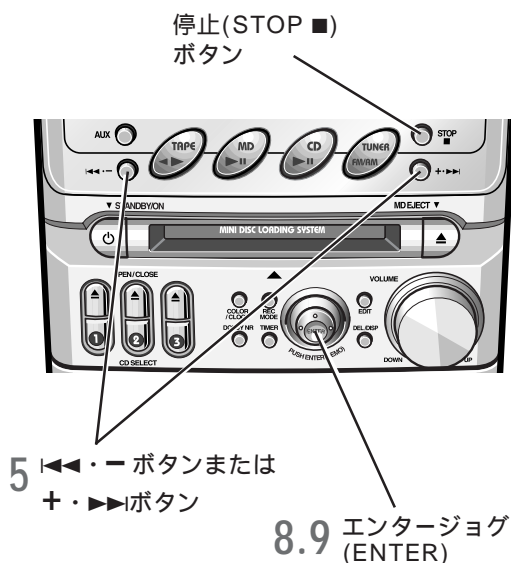
4. テープの演奏方向を切りかえます
テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押す。押すごとに切りかわります。

◀(リバース方向) ◀————▶ (フォワード方向)

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上にするれば▶がA面に、◀がB面になります。

5. ◀◀◀◀ ボタンまたは+▶▶▶▶ボタンを押して、録音したい曲の頭出しをします(ミュージックサーチ/27ページ参照)

録音したい曲の頭出しができたなら、停止(STOP ■)ボタンを押します。



6. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押してリ
バースモードを選びます
押すごとに以下のように切り替わります。

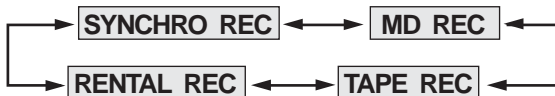


◀◀ : 片面だけ録音して停止します。

◀◀ ▶▶ : 片面を 1 回ずつ録音して停止します。
ただし ◀ (リバース方向) から録音を開始
した場合は、片面(リバース)録音が終わる
と停止します。

7. 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録
音モードの選択表示にします

8. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
"MD REC"を選びます
押すごとに以下のように切り替わります。



REC MODE
MD REC

9. エンタージョグ(ENTER)を押します
テープの演奏と MD の録音を開始します。

録音を停止するには

停止(STOP ■)ボタンを押します。

例えばテープの 5 曲目から 8 曲目までを録音する
場合や 5 曲目だけを録音する場合は、手順 5 で 5
曲目を選んだ後、録音している演奏を聞きながら、
希望の録音が終了した時点で停止(STOP ■)ボタ
ンを押します。

メモ

- 演奏するテープに 1.5 秒以上の無音部分があると、曲
間と判断して曲番号が自動的につきます(オートマ
ーク機能)。ただし、無音部分に雑音があるなどテー
プの録音状態によっては、正しい位置に曲番号がつか
ないこともあります。
- オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として記
録することもできます。(65 ページ参照)

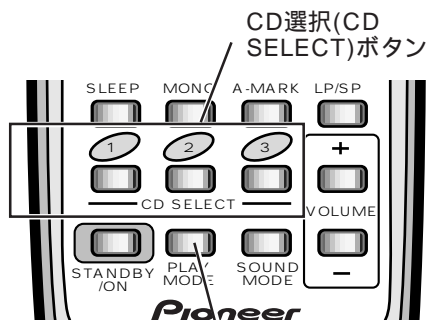
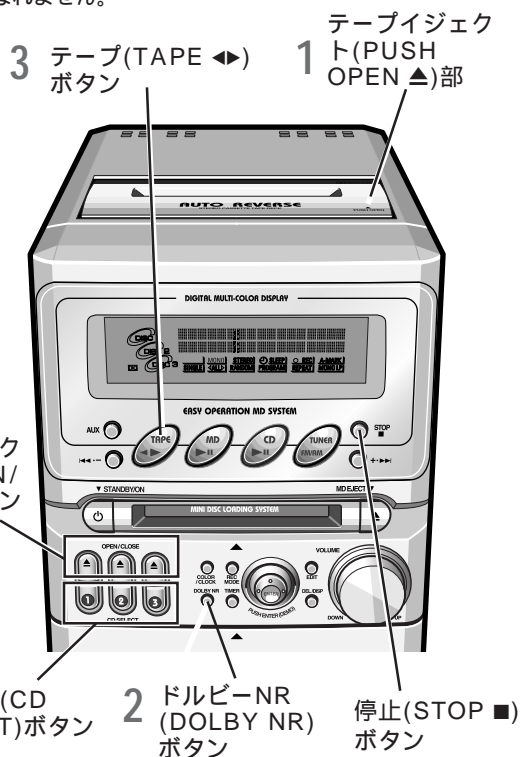
CD をテープと MD に同時に録音する

CD の全曲を同時にテープと MD に録音することができます。テープにはアナログで録音され、MD にはデジタルで録音されます。(CD シンクロ録音といえます。)

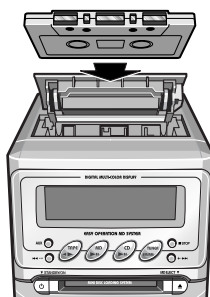
CD の 1 曲目だけをテープと MD に同時に録音することもできます。その場合も同様に操作します。(レンタル CD 録音といえます。)

また、CD の好きな曲だけをプログラム登録してから、CD シンクロ録音を行なうと、簡単に CD の好きな曲だけをテープと MD に同時に録音することができます。(CD プログラムシンクロ録音といえます。)

TYPE I (ノーマル) を使用してください。TYPE II (クローム / HIGH) または TYPE IV (メタル) テープは、ご使用になれません。



1. テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押してカセットホルダーに録音用テープを入れます



イジェクト(PUSH OPEN ▲)部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。

↓
カセットテープをホルダー内に入れます。

↓
手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. ドルビー NR(DOLBY NR)ボタンを押して、オンかオフかを選びます

オンを選ぶと高域のノイズが低減されます。(26 ページ参照)

押すごとに以下のように切り替わります。

ドルビーオンのときは、表示部に **ON** が点灯します。

ドルビー オン ←→ ドルビー オフ
(ON 点灯) (OFF 消灯)

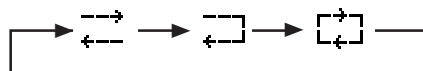
3. テープ(TAPE)ボタンを押して録音方向を切りかえます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止(STOP ■)ボタンを押します。

◀ (リバース方向) ↔ (フォワード方向)

4. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押してリバースモードを選びます

押すごとに以下のように切り替わります。



→ : 片面だけ録音して停止します。

↔ : 片面を 1 回ずつ (両面) 録音して停止します。ただし ◀ (リバース方向) から録音を開始した場合は、片面 (リバース) 録音が終わると停止します。

5. MD を入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

誤消去防止状態になっている MD には録音できません。(48 ページ参照)

ディスクの録音可能時間を知ることができます。(49, 66 ページ参照)

6. CDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してトレイを開けます

ディスクは3枚までセットできます。セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してください。

7. ディスクをセットします



レーベル面(曲名などが印刷されている面)を上にしてセットします。続けてディスクはセットできます。他のディスクをセットする場合は、セットしたいディスク番号のCDオープン/クローズ(OPEN/CLOSE)ボタンを押してからセットします。

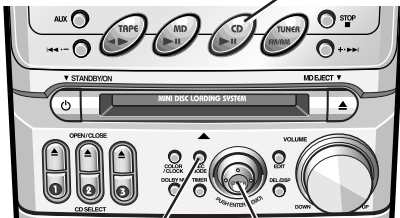
8. CD(▶/■)ボタンを押してトレイを閉めます 演奏が開始されますので、停止(STOP ■)ボタンを押して演奏を停止させてください。

9. 演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押します 押すごとに、オールディスクプレイ(ALL)モードとシングルディスクプレイ(SINGLE)モードが切り替わります。(21ページ参照) ただしレンタルCD録音をする場合は、シングルディスクプレイ(SINGLE)モードを選択したときでも録音を開始すると、オールディスクプレイ(ALL)モードになります。

CD プログラムシンクロ録音する場合

あらかじめ録音したい曲を選んで、プログラムを設定してください。(24ページ参照)

8 CD(▶/■)ボタン



10 録音モード(REC MODE)ボタン

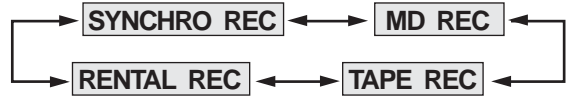
11~14 エンタージョグ(ENTER)ボタン

注意

本機はテープへの録音は、ALC (Auto Level Control) により自動的に録音レベルを設定します。録音するファンクションによっては、テープを演奏したときに音量が下がる場合があります。

10 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

11 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"SYNCHRO REC"を選びます 押すごとに以下のように切り替わります。



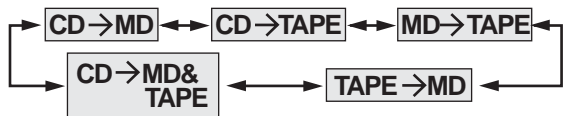
SYNCHRO REC

CDの1曲目だけを録音(レンタルCD録音)する場合

エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"RENTAL REC"を選びます

12 エンタージョグ(ENTER)を押します

13 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、"CD → MD & TAPE"を選びます



CD → MD & TAPE

14 エンタージョグ(ENTER)を押します

CDの演奏とMD、テープの録音を開始します。CDの演奏が終わると、テープもMDも停止します。ただしMDまたはテープが停止した場合は、CDの演奏が終わるまで録音は続きます。途中で止めるときは停止(STOP ■)ボタンを押します。

メモ

- 3枚のディスクをセットしたときは、最後にセットしたディスク(CD選択(CD SELECT)ボタンの点灯しているディスク)から順に録音します。希望のディスクから録音したいときは、手順9のあとにCD選択(CD SELECT)ボタンを押して録音したいディスクを一度演奏させてから停止(STOP ■)ボタンで停止する操作を行なうと、選択したディスクから順に録音できます。

FM/AM 放送を MD に録音する

マニュアル録音といいます。アナログ録音となります。本機の録音レベルはあらかじめ固定されています。MD 記録曲数は最大 255 曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

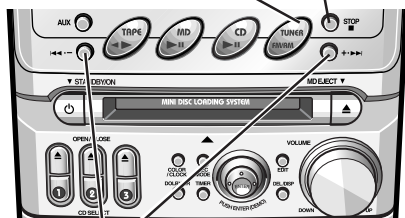


4 録音モード (REC MODE)

5.6 エンタージョグ (ENTER)

2 チューナー (TUNER) ボタン

停止 (STOP ■) ボタン



3 ◀◀・- ボタンまたは +・▶▶ ボタン

1. 録音用の MD を入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。誤消去防止状態になっている MD には録音できません。(48 ページ参照) ディスクの録音可能時間を知ることができます。(49, 66 ページ参照)

2. チューナー (TUNER) ボタンを押します

3. ◀◌・- ボタン、または +・▶▶ ボタンで、録音したい放送局のステーションを選びます。またはリモコンの数字ボタンでダイレクトに選びます。録音したい放送局がステーションに記憶されていない場合は、18 ページを参照して選局してください。

4. 録音モード (REC MODE) ボタンを押して、録音モードの選択表示にします

5. エンタージョグ (ENTER) を上下に動かして、"MD REC" を選びます。押すごとに以下のように切り替わります。



REC MODE
MD REC

6. エンタージョグ (ENTER) を押します。MD の録音を開始します。

録音を停止するには
停止 (STOP ■) ボタンを押します。

注意

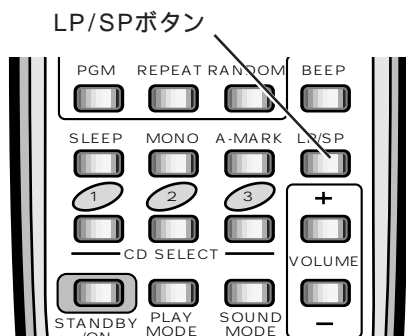
録音中は放送局を切りかえることはできません。

メモ

- FM/AM 放送をテープに録音 (28, 29 ページ参照) した状態で、このページの手順に従って MD に録音することもできます。

MDモノラル長時間録音を設定する

MDに録音する設定をモノラル録音にすると、ステレオ録音の約2倍の時間で長時間録音することができます。設定はリモコンで操作します。モノラル演奏の曲やトーク中心の番組などの録音に便利です。



停止中にリモコンのLP/SPボタンを押します
押すごとにステレオ録音とモノラル長時間録音とが切りかわります。

ステレオ録音 表示部に"MONO LP" 消灯
モノラル長時間録音 表示部に"MONO LP" 点灯

MD ステレオ録音 ←→ MDモノラル長時間録音
("MONO LP" 消灯) ("MONO LP" 点灯)

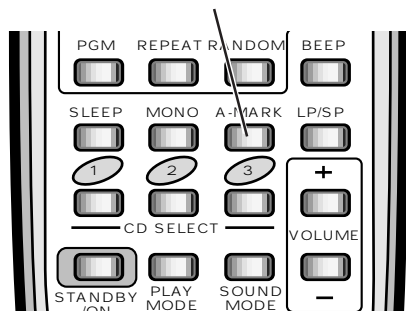
注意

録音モードは、次に変更するまで変わりません。
モノラル長時間録音した後はステレオ録音の設定に戻しておくことをおすすめします。
MDモノラル長時間録音では、ステレオ演奏の曲やステレオ放送の番組でもモノラル録音され、モノラル録音されたMDは、ステレオで演奏できません。

MDに曲番号をつけないで録音するには

テープや外部機器(AUX)のアナログ録音のときに、1回の録音を1曲として曲番号をつけないで録音することができます。

オートマーク(A-MARK)ボタン



オートマーク機能をオフに設定する

オートマーク機能をオフに設定すると、テープや外部機器(AUX)のアナログ録音のときに、1回の録音を1曲として曲番号をつけないで録音できるようになります。

停止中にリモコンのオートマーク(A-MARK)ボタンを押してオフを選びます

押すごとに切りかわります。
オフを選ぶと、表示部の"A-MARK"が消灯します。

オートマークオン ←→ オートマークオフ
("A-MARK" 点灯) ("A-MARK" 消灯)

オートマーク機能とは

テープ、外部機器(AUX)からのアナログ録音のときに1.5秒以上の無音部分を曲間とみなして自動的に次の曲番をつける機能です。初期設定は"オン"に設定されており、表示部の"A-MARK"が点灯します。

注意

MDに録音している間は、オートマークの切り換えはできません。

表示を切りかえる

MD 録音中のディスクの時間表示の内容を切りかえることができます。



ディスプレイ(DISPLAY)ボタン



デリート/ディスプレイ(DEL/DISP)ボタン

例) CD (DISC 1)をMDに録音しているとき

デル/ディスプレイ(DEL/DISP)ボタンを押します(リモコンの場合は、ディスプレイ(DISPLAY)ボタン)を押すごとに以下のように切りかわります。

[演奏中のCD曲番の残り演奏時間]

DISC 1 CD DISC1
Tr06 R03:28

[演奏中のCDでの演奏終了までの残り時間]

DISC 1 CD DISC1
Tr06 T40:28

[演奏中のCDでの総演奏時間]

DISC 1 CD DISC1
Tr06 t50:47

[現在録音している曲番号とMDの残記録時間] *

DISC 1 REMAIN
026 13:45

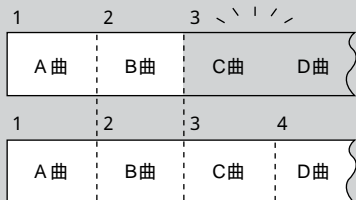
- テープを録音している場合は、テープの再生方向と一番下の*マークの表示を交互に表示します。
- チューナーを録音している場合は、受信放送局と一番下の*マークの表示を交互に表示します。

MD の編集機能でできること

曲順を移動させたり、ディスクや曲に名前をつけたり、MD の編集機能を使ってオリジナルのディスクを作ってみましょう。ただし、誤消去防止つまみが開いた MD (48 ページ参照) では編集メニューは使うことはできません。編集メニューを使用する場合は誤消去防止つまみを閉じてください。編集機能には次のようなものがあります。

曲を 2 つに分ける (デバイド機能)

ひとつの曲を希望の位置で 2 つの曲に分けます。

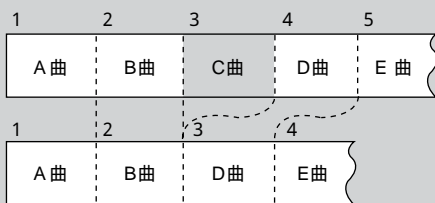


1 枚の MD で最大 255 曲まで曲を分けられます。ただし、255 曲以下でも曲を分けられないことがあります。分けた曲以降の曲番は大きくなります。

曲を消す

(トラックイレース / オールイレース機能)

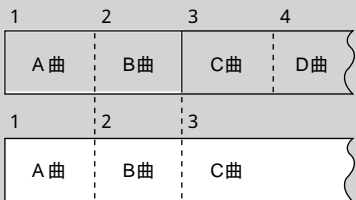
指定した 1 曲、またはディスク内のすべての曲を消します。(ディスク名・曲名も消えます。)



消した曲をもとに戻すことはできません。消した曲以降の曲番は小さくなります。

2 つの曲を 1 曲にする (コンバイン機能)

連続した 2 つの曲を、ひとつの曲にまとめます。



まとめた曲以降の曲番は小さくなります。

ディスクや曲に名前をつける (ディスクネーム / トラックネーム機能)

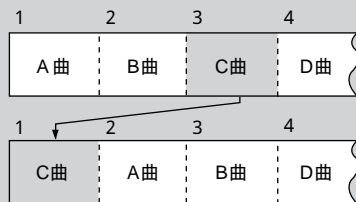
ディスク全体の名前、曲ごとの名前がつけられます。再生中や頭出し時に表示されるため、曲の確認がすばやくできます。



カタカナ、英文字 (大文字 / 小文字)、数字、記号が使用できます。

ひとつの曲を移動する (ムーブ機能)

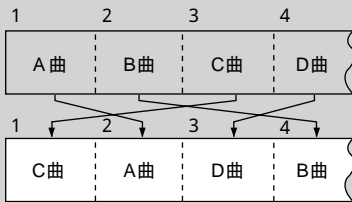
指定した曲を希望する場所へ移動します。



並べ換え後の曲番は自動的に調整されます。

曲を並べかえる (プログラムムーブ機能)

プログラム演奏で指定した曲順に、曲を並べかえます。



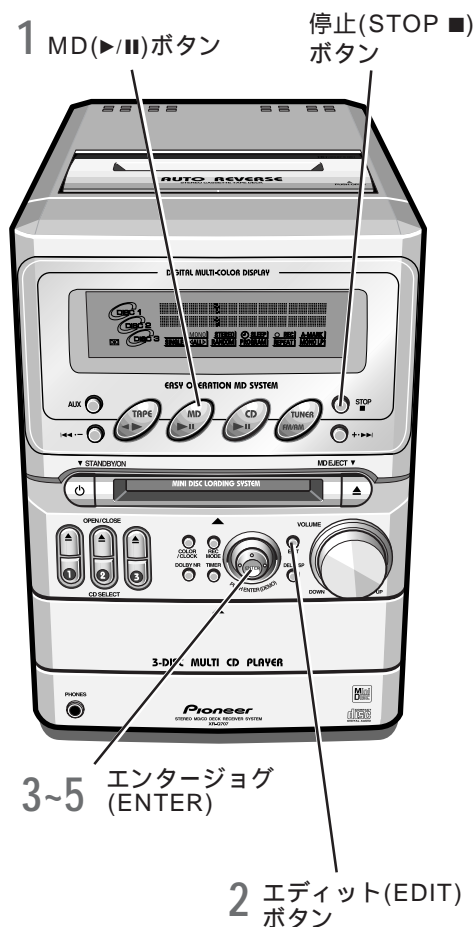
並べかえた後の曲番号は自動的に調整されます。プログラムした曲以外の曲番号も自動的に並べかわります。

曲を2つに分ける (デバイド機能)

録音後に1つの曲を2つに分けます。これにより、新たに頭出しのための曲番号を記録することができます。

分けた曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

また、分けた曲に曲名がついていた場合は、両方に同じ名前がつきます。



1. 演奏を聞きながら、曲の分けたい位置で MD (▶/II) ボタンを押します
演奏が一時停止します。
2. エディット(EDIT) ボタンを押します
編集メニューの表示になります。
3. エンタージョグ(ENTER) を上下に動かして "DIVIDE" を選びます

EDIT MODE
DIVIDE

4. エンタージョグ(ENTER) を押します
10 秒以内に押してください。確認の表示になります。やめる場合は、停止(STOP ■) ボタンを押します。

DIVIDE ?

5. エンタージョグ(ENTER) を押します
10 秒以内に押してください。"COMPLETE" の表示が出て、デバイド機能を実行します。

注意

プログラム演奏が設定されている状態、またはランダム演奏やプログラム演奏の一時停止中では、デバイド機能は操作できません。あらかじめランダム演奏、またはプログラムを解除してください。

(39 ~ 41 ページ参照)

1 枚の MD で最大 255 曲まで曲を分けることができます。ただし MD の状態によってはできないこともあります。

2つの曲を1曲にする(コンバイン機能)

連続したとなり同士の曲をつないで、1曲にまとめます。つないだ曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更されます。つないだ曲に曲名がついている場合は、前の曲の曲名がつきます。前の曲名がついていない場合は後の曲名がつきます。

- 1 ◀◀・▶▶ボタンまたは
+・▶▶ボタン 停止(STOP ■)ボタン



- 3~5 エンタージョグ(ENTER)

- 2 エディット(EDIT)ボタン

例) 4曲目と5曲目をつなぐ場合

1. MD 停止中に、◀◀・▶▶ボタンまたは +・▶▶ボタンを押して、5 曲目を選びます

エンタージョグ(ENTER)を上下に動かしても5 曲めを選曲することができます。

または5 曲目を演奏中に MD(▶/■)ボタンを押して一時停止させます。

つなぐ曲の、曲番号の大きい方の曲を選びます。

2. エディット(EDIT)ボタンを押します
編集メニューの表示になります。
3. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして "COMBINE" を選びます

EDIT MODE
COMBINE

4. エンタージョグ(ENTER)を押します
10 秒以内に押してください。確認の表示になります。やめる場合は、停止(STOP ■)ボタンを押します。

COMBINE ?
Tr004 + Tr005

5. エンタージョグ(ENTER)を押します
10 秒以内に押してください。"COMPLETE" の表示が出て、コンバイン機能を実行します。

メモ

- 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。(70 ページ参照)

注意

プログラム演奏が設定されている状態、またはランダム演奏やプログラム演奏の一時停止中では、コンバイン機能は操作できません。あらかじめランダム演奏、またはプログラムを解除してください。

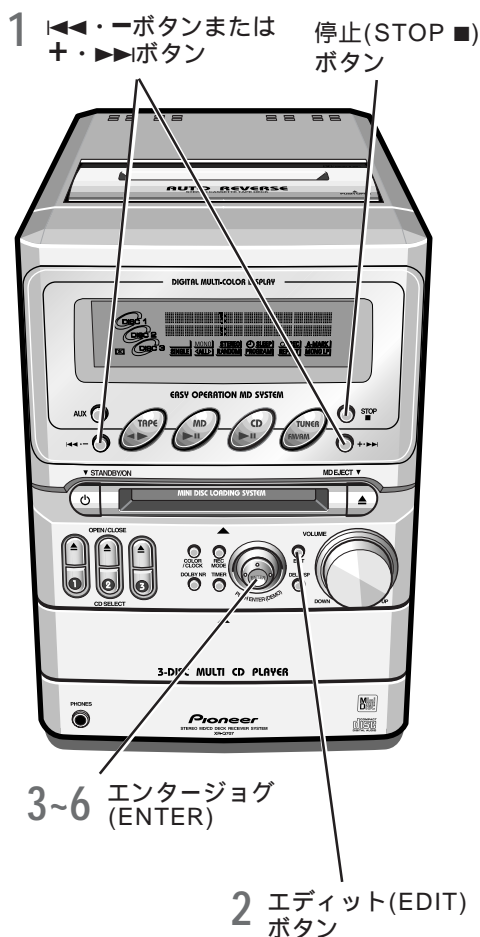
(39 ~ 41 ページ参照)

ステレオ録音した曲とモノラル長時間録音した曲は、つなぐことができません。

15 秒以下の短い曲はつながらないことがあります。

ひとつの曲を移動する(ムーブ機能)

あるひとつの曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。



例) 8曲目を3曲目に移動する場合

1. MD停止中に、◀◀・▶▶ボタンまたは+・▶▶ボタンを押して、8曲目を選びます
エンタージョグ(ENTER)を上下に動かしても8曲めを選曲することができます。
または8曲目を演奏中にMD(▶/■)ボタンを押して一時停止させます。
2. エディット(EDIT)ボタンを押します
編集メニューの表示になります。
3. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして"MOVE"を選びます

EDIT MODE
TRACK MOVE

4. エンタージョグ(ENTER)を押します
10秒以内に押してください。確認の表示になります。やめる場合は、停止(STOP ■)ボタンを押します。

TRACK MOVE ?
Tr-008 → Tr-001

5. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして移動先の曲番号を選びます
例の場合は、3を選びます。

TRACK MOVE ?
Tr-008 → Tr-003

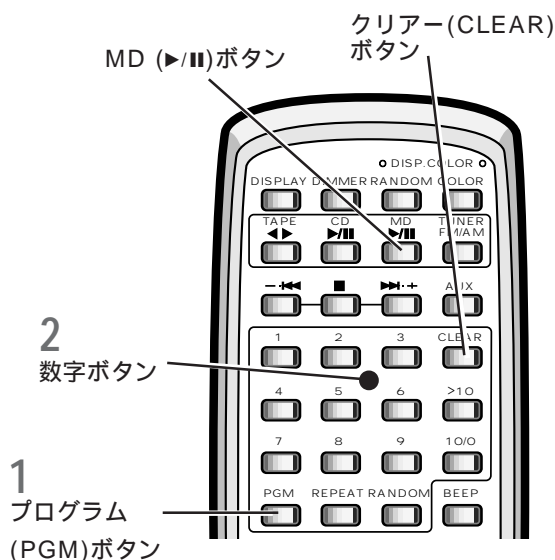
6. エンタージョグ(ENTER)を押します
10秒以内に押してください。"COMPLETE"の表示が出て、ムーブ機能を実行します。

注意

プログラム演奏が設定されている状態、またはランダム演奏やプログラム演奏の一時停止中では、ムーブ機能は操作できません。あらかじめランダム演奏、またはプログラムを解除してください。
(39 ~ 41 ページ参照)

曲を並べかえる (プログラムムーブ機能)

MD の曲をプログラム登録してからムーブ機能を使うと、一度に好きな曲順に並べかえることができます。



数字ボタン

数字ボタンでの曲番号を選の選びかた

1 ~ 9 : 番号のボタンを押します。

10 : を押します。

11 以上 : を押してから番号を選びます。

(例) 15 曲目

20 曲目

例) 6 曲目、31 曲目の順に並べかえる

1. MD 停止中に、プログラム (PGM) ボタンを押します

PROGRAM
PG1- 0:00

PROGRAM

2. 数字ボタンで並べかえたい曲順に曲番号を登録します

並べかえたい曲の順番に、曲番号を登録していきます。

6 曲目を登録します

6

PROGRAM
PG1-006 5:01

PROGRAM

PROGRAM
PG2- 5:01

PROGRAM

31 曲目を登録します

>10 >10 >10 1

PROGRAM
PG2-031 12:53

PROGRAM

3. エディット (EDIT) ボタンを押します

EDIT MODE
PROGRAM MOVE

PROGRAM

4. エンタージョグ (ENTER) を押します
10 秒以内に押してください。
中止するときは停止 (STOP) ボタンを押します。

PROGRAM MOVE ?

5. エンタージョグ (ENTER) を押します
10 秒以内に押してください。
"COMPLETE" と表示され、曲順が並べかわります。

注意

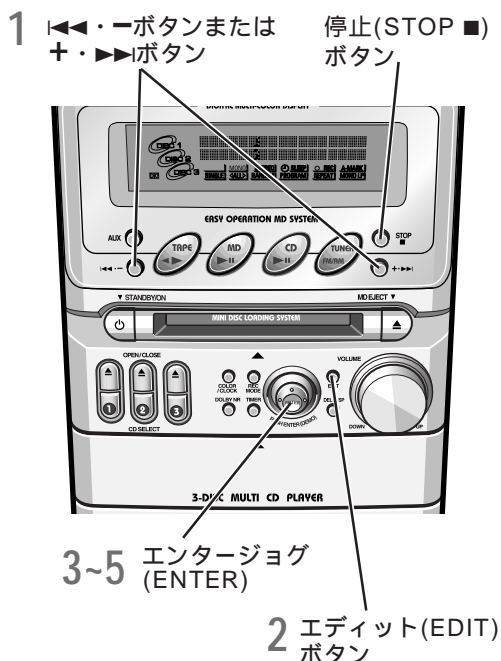
プログラム登録しなかった曲は、プログラムムーブで並べかえた曲のうしろに並びます。
同じ曲を2回以上プログラム登録しているときは、うしろにプログラムされた曲が優先されます。

曲を消す

トラックイレース / オールイレース機能。

選択したひとつの曲と名前だけを消すトラックイレース機能と、ディスクに記録されているすべての曲や名前を消すオールイレースがあります。

トラックイレースの場合、消した曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。



1 曲だけ消す (トラックイレース機能)

1. MD 停止中に、◀◀・-ボタンまたは+・▶▶ボタンを押して消したい曲を選びます
エンタージョグ(ENTER)を上下に動かしても消したい曲を選ぶことができます。
または消したい曲が演奏中にMD(▶/■)ボタンを押して一時停止させます。
2. エディット(EDIT)ボタンを押します
編集メニューの表示になります。
3. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして "TRACK ERASE" を選びます
4. エンタージョグ(ENTER)を押します
10秒以内に押してください。確認の表示になります。やめる場合は、停止(STOP ■)ボタンを押します。

TRACK ERASE ?

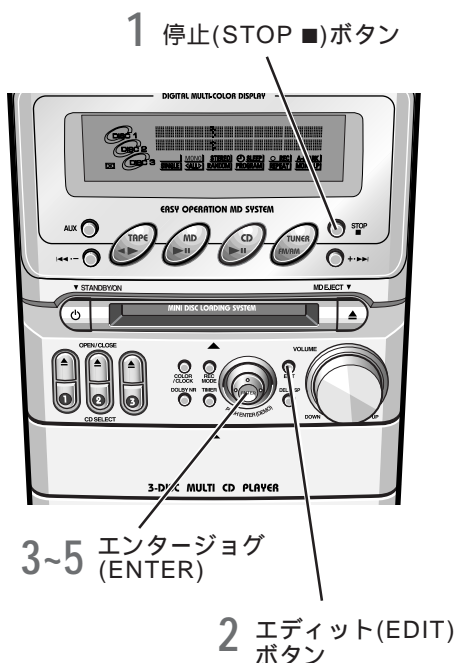
5. エンタージョグ(ENTER)を押します
10秒以内に押してください。"COMPLETE"の表示が出て、トラックイレース機能を実行します。

全曲を消す (オールイレース機能)

1. 停止(STOP ■)ボタンを押します
2. エディット(EDIT)ボタンを押します
編集メニューの表示になります。
3. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして "ALL ERASE" を選びます
4. エンタージョグ(ENTER)を押します
10秒以内に押してください。確認の表示になります。やめる場合は、停止(STOP ■)ボタンを押します。

ALL ERASE ?

5. エンタージョグ(ENTER)を押します
10秒以内に押してください。"COMPLETE"の表示が出て、オールイレース機能を実行します。



MD のディスクや曲に名前をつける

1 枚のディスクには、ひとつのディスク名と最大 255 曲の曲名をつけることができます。
ディスクに名前をつけることをディスクネーム機能、曲に名前をつけることをトラックネーム機能と言います。

入力できる文字数について

ディスク名・曲名

1 つの名前に対して、それぞれ 100 文字まで入力できます。100 文字をこえると "NAME ^{ネーム}FULL ^{フル}" が表示されます。

1 枚の MD の総文字数

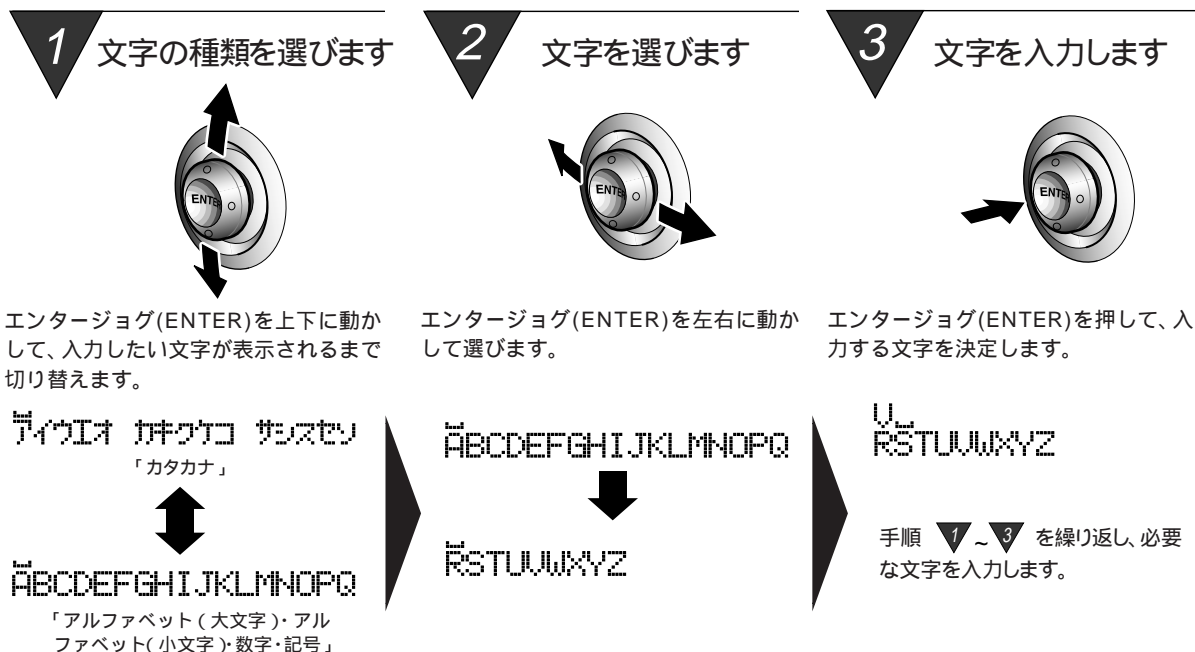
ディスク名と曲名を合わせて約 1700 文字まで入力できます。文字数をこえると "TOC ^{トラック}FULL ^{フル}" が表示されます。
カタカナを入力しているときは、総文字数が減ります。

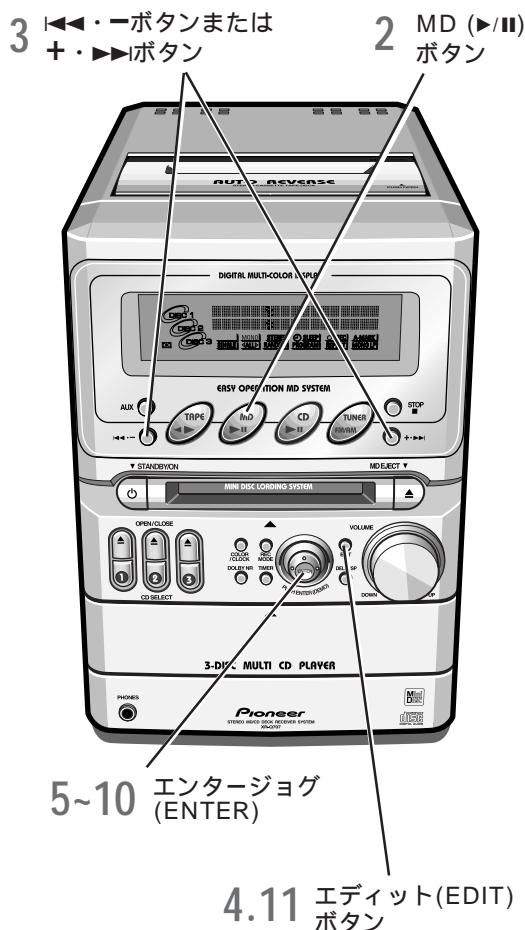
使える文字の種類

文字の種類	入力できる文字																																																																				
カタカナ	<table><tr><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td><td>オ</td><td></td><td>カ</td><td>キ</td><td>ク</td><td>ケ</td><td>コ</td><td></td><td>サ</td><td>シ</td><td>ス</td><td>セ</td><td>ソ</td></tr><tr><td>タ</td><td>チ</td><td>ツ</td><td>テ</td><td>ト</td><td></td><td>ナ</td><td>ニ</td><td>ヌ</td><td>ネ</td><td>ノ</td><td></td><td>ハ</td><td>ヒ</td><td>フ</td><td>ヘ</td><td>ホ</td></tr><tr><td>マ</td><td>ミ</td><td>ム</td><td>メ</td><td>モ</td><td></td><td>ヤ</td><td>ユ</td><td>ヨ</td><td></td><td></td><td></td><td>ラ</td><td>リ</td><td>ル</td><td>レ</td><td>ロ</td></tr><tr><td>ワ</td><td>ヲ</td><td>ン</td><td></td><td>ァ</td><td>ィ</td><td>ゥ</td><td>ェ</td><td>ォ</td><td>ャ</td><td>ュ</td><td>ョ</td><td>ッ</td><td>*</td><td>°</td><td>-</td><td>/</td></tr></table>	ア	イ	ウ	エ	オ		カ	キ	ク	ケ	コ		サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト		ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ		ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ		ヤ	ユ	ヨ				ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	*	°	-	/
ア	イ	ウ	エ	オ		カ	キ	ク	ケ	コ		サ	シ	ス	セ	ソ																																																					
タ	チ	ツ	テ	ト		ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ		ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ																																																					
マ	ミ	ム	メ	モ		ヤ	ユ	ヨ				ラ	リ	ル	レ	ロ																																																					
ワ	ヲ	ン		ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	*	°	-	/																																																					
アルファベット（大文字）	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>G</td><td>H</td><td>I</td><td>J</td><td>K</td><td>L</td><td>M</td><td>N</td><td>O</td><td>P</td><td>Q</td></tr><tr><td>R</td><td>S</td><td>T</td><td>U</td><td>V</td><td>W</td><td>X</td><td>Y</td><td>Z</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z																																										
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q																																																					
R	S	T	U	V	W	X	Y	Z																																																													
アルファベット（小文字）	<table><tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td><td>e</td><td>f</td><td>g</td><td>h</td><td>i</td><td>j</td><td>k</td><td>l</td><td>m</td><td>n</td><td>o</td><td>p</td><td>q</td></tr><tr><td>r</td><td>s</td><td>t</td><td>u</td><td>v</td><td>w</td><td>x</td><td>y</td><td>z</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z																																										
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q																																																					
r	s	t	u	v	w	x	y	z																																																													
数字・記号	<table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>0</td><td>!</td><td>"</td><td>#</td><td>\$</td><td>%</td><td>&</td><td>'</td></tr><tr><td>(</td><td>)</td><td>*</td><td>+</td><td>,</td><td></td><td>.</td><td>/</td><td>:</td><td>;</td><td><</td><td>=</td><td>></td><td>?</td><td>@</td><td>_</td><td>`</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,		.	/	:	;	<	=	>	?	@	_	`																																		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	!	"	#	\$	%	&	'																																																					
()	*	+	,		.	/	:	;	<	=	>	?	@	_	`																																																					

文字入力におけるエンタージョグ(ENTER)の使い方

ディスク名や曲名をつけるときの文字入力は、次のような流れで行います。エンタージョグ(ENTER)の使い方を覚えて下さい。





メモ

- 録音中に曲名を入力する場合は、曲名をつけたい曲の録音中に、手順 4 ~ 11 の操作を行ってください。

注意

ランダム演奏、またはプログラム演奏中は、トラックネームの編集をすることはできません。

録音中に曲名を入力していて、名前への入力完了する前に次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は無効になります。録音が終わってから改めて入力してください。

演奏中での曲名への入力は、ネームへの入力完了する前に曲が終了しても繰り返して演奏します。

曲に名前をつける (トラックネーム)

つけた曲名は、曲を選んだときや演奏中に表示されます。

1. MD を入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

誤消去防止状態になっている MD には名前をつけることはできません。(48ページ参照)

2. MD (▶/||) ボタンを押してから停止(STOP ■) ボタンを押します

3. ◀◀・▶▶ボタンまたは+・-ボタンを短く押して、名前をつける曲を選びます

エンタージョグ(ENTER)を上下に動かしても曲を選ぶことができます。

4. エディット(EDIT)ボタンを押します

編集メニューの表示になります。

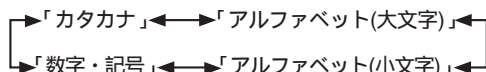
5. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして "TRACK NAME" を選びます

6. エンタージョグ(ENTER)を押します

10秒以内に押してください。文字入力ができる状態になります。

アイウエオカキクケコサシスセソタチ

7. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、文字の種類を選びます



8. エンタージョグ(ENTER)を左右に動かして、入力する文字を選びます

A B C D E F G H I J K L M N O P Q

9. エンタージョグ(ENTER)を押して、文字を決定します

10 手順 7 ~ 9 を繰り返して、すべての文字を入力します

同じ種類の文字を入力する場合は、手順 7 の操作は必要ありません。

途中で名前をつけるのを操作をやめる場合は、停止(STOP ■)ボタンを押します。

11 エディット(EDIT)ボタンを押します

文字の入力が終了します。



ディスクに名前をつける (ディスクネーム)

ディスク名は、MD を挿入したときなどに表示されます。

1. MD を入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。誤消去防止状態になっているMD には名前をつけることはできません。(48ページ参照)

2. MD (▶/⏸)ボタンを押してから、停止(STOP ■)ボタンを押します。

MD のモードになります。

3. エディット(EDIT)ボタンを押します

編集メニューの表示になります。

4. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして "DISC NAME" を選びます

5. エンタージョグ(ENTER)を押します

10秒以内に押してください。文字入力ができる状態になります。

アイウエオカキフクコサシスセソタチ

6. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、文字の種類を選びます

「カタカナ」 ↔ 「アルファベット(大文字)」
「数字・記号」 ↔ 「アルファベット(小文字)」

7. エンタージョグ(ENTER)を左右に動かして、入力する文字を選びます

A B C D E F G H I J K L M N O P Q

8. エンタージョグ(ENTER)を押して、文字を決定します

9. 手順6 ~ 8を繰り返して、名前をつけるすべての文字を入力します

同じ種類の文字を入力する場合は、手順6 はの操作はありません。途中で名前をつけるのを操作をやめる場合は、停止(STOP ■)ボタンを押します。

10 エディット(EDIT)ボタンを押します

文字の入力が終了します。

ディスク名や曲名 を修正する

3.7

◀◀・▶▶ボタンまたは
+・-ボタン

2

MD (▶/⏸) ボタン



5.6 エンタージョグ
(ENTER)

4 エディット
(EDIT) ボタン

曲の名前(トラックネーム)を修正/追加する

間違えて入力してしまった文字を消したり、新たに文字を追加したりすることができます。

例) "BEUT" から "U" を消して "S" を追加して、
"BEST" にする

1. MD を入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっているMDは名前を修正することはできません。(48ページ参照)

2. MD (▶/⏸) ボタンを押してから停止(STOP ■) ボタンを押します

MD のモードになります

3. ◀◀・▶▶ボタンまたは +・- ボタンを短く押して、修正したい曲名を選びます

エンタージョグ(ENTER)を上下に動かしても曲を選ぶことができます。

4. エディット(EDIT)ボタンを押します

編集メニューの表示になります。

5. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして "TRACK NAME" を選びます

表示されているすべての文字を消すには...
TRACK NAME が点滅表示している時に、デリート / ディスプレイ (DEL/DISP) ボタンを 2 秒以上押しします。"NAME CLEAR?" と表示されます。
エンタージョグ(ENTER)を押します。
"NO NAME" と表示して名前がすべて消えます。

6. エンタージョグ(ENTER)を押します

10 秒以内に押してください。ディスク名または曲名が表示されます。

BEUT
アイウエオカキククコサシスセソタチ

7. ◀◀・▶▶ボタンまたは +・- ボタンを押して、アンダーバーを移動させます

消したり追加したい文字の右側にアンダーバーを移動させます。

BEULT
アイウエオカキククコサシスセソタチ



8. デリート / ディスプレイ (DEL/DISP) ボタンを押して文字を消します
消す文字がない場合は、次の操作に進みます。

BE L T
アイウエオカキクケコサシスセソタチ

9. エンタージョグ (ENTER) を上下に動かして、文字の種類を選びます

「カタカナ」 ↔ 「アルファベット (大文字)」
「数字・記号」 ↔ 「アルファベット (小文字)」

- 10 エンタージョグ (ENTER) を左右に動かして、入力する文字を選びます

BE L T
STU V W X Y Z

- 11 エンタージョグ (ENTER) を押して、文字を決定します

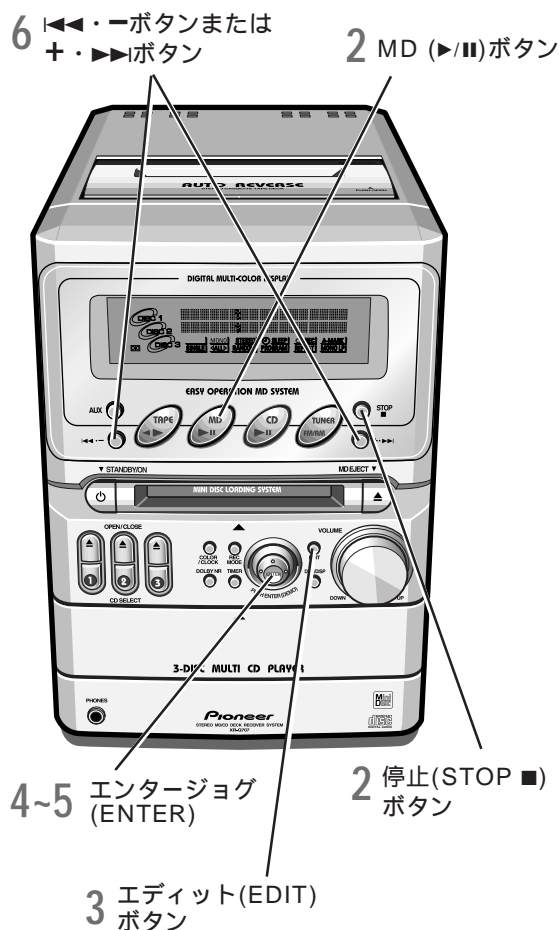
BES L T
STU V W X Y Z

- 12 複数の文字を修正する場合は、手順 7 ~ 11 を繰り返して、すべての文字を修正します
名前の修正を途中でやめる場合は、停止 (STOP ■) ボタンを押します。

- 13 エディット (EDIT) ボタンを 2 回押します
名前の修正が終了します。

注意

ランダム演奏、またはプログラム演奏中は、トラックネームの編集をすることはできません。
すべての曲名の文字を削除する (手順 5) の操作は、録音中は操作することはできません。
手順 8 に従って、1 文字ずつ文字を消してください。



ディスクの名前(ディスクネーム)を修正 / 追加する

間違えて入力してしまった文字を消したり、新たに文字を追加したりすることができます。

例) "BEUT" から "U" を消して "S" を追加して、"BEST" にする

1. MD を入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっている MD は名前を修正することはできません。(48 ページ参照)

2. MD (▶/⏸) ボタンを押してから、停止 (STOP ■) ボタンを押します。 MD のモードになります。

3. エディット (EDIT) ボタンを押します 編集メニューの表示になります。

4. エンタージョグ (ENTER) を上下に動かして "DISC NAME" を選びます

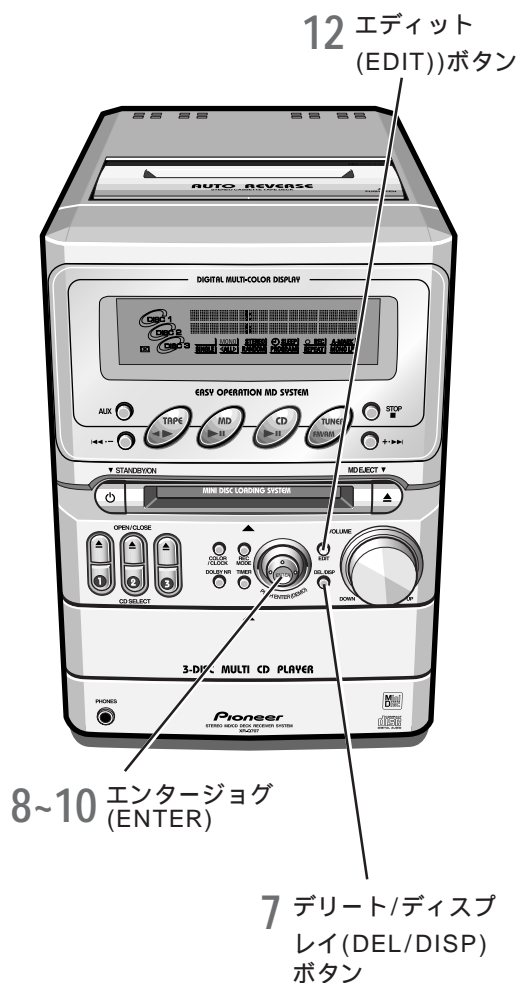
表示されているすべての文字を消すには
DISC NAME が点滅表示している時に、デリート / ディスプレイ (DEL / DISP) ボタンを 2 秒以上押します。"NAME CLEAR?" と表示されます。
エンタージョグ (ENTER) を押します。
"NO NAME" と表示して名前がすべて消えます。

5. エンタージョグ (ENTER) を押します 10 秒以内に押してください。ディスク名または曲名が表示されます。

BEUT
アイウエオカキクケコサシスセソタチ

6. 1 1/2 ボタンまたは + 1/2 ボタンを押して、 アンダーバーを移動させます 消したり追加したい文字の右側にアンダーバーを移動させます。

BEUT
アイウエオカキクケコサシスセソタチ



- 7** • デリート / ディスプレイ (DEL/DISP) ボタンを押して文字を消します
消す文字がない場合は、次の操作に進みます。

BE.LT
アイウエオカキクケコサシスセソタチ

- 8** • エンタージョグ (ENTER) を上下に動かして、文字の種類を選びます
- 「カタカナ」 ← 「アルファベット (大文字)」
「数字・記号」 ← 「アルファベット (小文字)」

- 9** • エンタージョグ (ENTER) を左右に動かして、入力する文字を選びます

BE.LT
STUVWXYZ

- 10** エンタージョグ (ENTER) を押して、文字を決定します

BES.LT
STUVWXYZ

- 11** 複数の文字を修正する場合は、手順 7 ~ 10 を繰り返して、すべての文字を修正します
名前の修正を途中でやめる場合は、停止 (STOP ■) ボタンを押します。

- 12** エディット (EDIT) ボタンを 2 回押します
名前の修正が終了します。

好きな音楽で目覚める

ウェイクアップタイマーといいます。
解除しない限り、毎日同時刻に実行されます。
17ページにて時刻の設定をしていないと操作するとはできません。



MD、テープ、CDのいずれかを使う

例1) 午前8時40分に、MD、テープ、CDのいずれかの演奏がスタートし、午前9時30分に演奏が終わるようにタイマーをセットするとき

1. 演奏させたい機器の準備をします

MDで目覚めるには...

ディスクをセットして停止(STOP ■)ボタンを押して停止させます。ウェイクアップタイマーが動作すると、MDの一曲目から演奏がスタートします。(38ページ参照)

テープで目覚めるには...

カセットテープをセットして聞きたい曲で停止(STOP ■)ボタンを押して停止させます。(26ページ参照)

CDで目覚めるには...

ディスクをセットし、CD選択(SELECT)ボタンで演奏するディスクを選んでから、停止(STOP ■)ボタンを押して停止させます。ウェイクアップタイマーが動作すると、CDの一曲目から演奏がスタートします。(20ページ参照)

2. 音量の調整を行ないます

設定した音量でタイマーがオンします。

3. タイマー(TIMER)ボタンを押します

**TIMER MODE
WAKE UP TIMER**

4. エンタージョグ(ENTER)を押します

ON TIME 0:00

5. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、開始時刻の「時」を合わせます

例の場合は、8にします。

ON TIME 8:00

6. エンタージョグ(ENTER)を押します

開始時刻の「時」が入力されます。

ON TIME 8:00

7. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして開始時刻の「分」を合わせます
例の場合は、40 にします。

ON TIME 8:40

8. エンタージョグ(ENTER)を押します
演奏開始時間が設定されます。

ON TIME 8:40

9. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、終了時刻の「時」を合わせます
例の場合は、9 にします。

OFF TIME 9:00

- 10 エンタージョグ(ENTER)を押します
終了時刻の「時」が入力されます。

OFF TIME 9:00

- 11 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして終了時刻の「分」を合わせます
例の場合は、30 にします。

OFF TIME 9:30

- 12 エンタージョグ(ENTER)を押します
終了時刻の「分」が入力され、自動的に設定の確認になります。
「タイマーの種類」→「開始時刻」→「終了時刻」→
「演奏される機器」→「音量」を順番に表示していきます。

OFF TIME 9:30

- 13 電源スイッチを押して電源をオフにします
スタンバイ状態になって、④ が点灯します。

途中で設定を中止するには

停止(STOP ■)ボタンを押します
再度ウェイクアップタイマーを設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定した内容を変更するには

はじめから設定をやり直します

解除するには

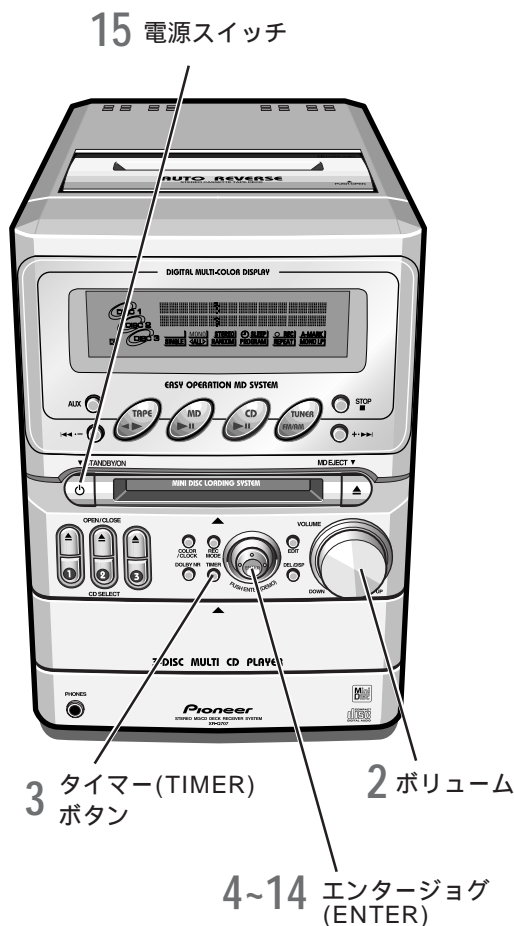
電源がオフ(スタンバイ状態)のときにタイマー(TIMER)ボタンを押します
④ の点灯が消えるまで押してください。

メモ

- ウェイクアップタイマーを設定したあとに、設定したCDの演奏モードやテープのリバースモードを切り換えたり、CD選択(SELECT)ボタンの番号が変更されたときは、変更後(電源を切る前)の状態でウェイクアップタイマーが動作します。
- ウェイクアップタイマーは、解除しない限り毎日、同時刻に実行されます。

注意

停電したり電源コードを抜くと、時計表示が「0:00」となり時計は動作しません。この場合はウェイクアップタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためてウェイクアップタイマーを設定し直してください。
CDやMDでウェイクアップタイマーを使われる場合、リピート演奏はあらかじめ設定できません。この場合、ウェイクアップタイマー動作中にリモコンのリピート(REPEAT)ボタンを押せばリピート演奏を設定することができます。



FM/AM ラジオを使う

例1) 午前8時40分にFM/AMラジオがスタートし、午前9時30分終わるようにタイマーをセットする

1. FM/AM 放送の準備をします
好きな放送局を受信します。(18 ページ参照)
2. 音量の調整を行ないます
設定した音量でタイマーがオンします。
3. タイマー(TIMER)ボタンを押します

TIMER MODE
WAKE UP TIMER

4. エンタージョグ(ENTER)を押します

ON TIME 0:00

5. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、開始時刻の「時」を合わせます
例の場合は、8 にします。

ON TIME 8:00

6. エンタージョグ(ENTER)を押します
開始時刻の「時」が入力されます。

ON TIME 8:00

7. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして開始時刻の「分」を合わせます
例の場合は、40 にします。

ON TIME 8:40

8. エンタージョグ(ENTER)を押します
演奏開始時間が設定されます。

ON TIME 8:40

途中で設定を中止するには

停止(STOP ■)ボタンを押します

再度ウェイクアップタイマーを設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定した内容を変更するには

はじめから設定をやり直します

解除するには

電源がオフ(スタンバイ状態)のときにタイマー(TIMER)ボタンを押します

⌚の点灯が消えるまで押してください。

●の点灯が消えると、レックタイマーも解除されます。

9. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、終了時刻の「時」を合わせます
例の場合は、9 にします。

OFF TIME 9:00

- 10 エンタージョグ(ENTER)を押します
終了時刻の「時」が入力されます。

OFF TIME 9:00

- 11 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして終了時刻の「分」を合わせます
例の場合は、30 にします。

OFF TIME 9:30

- 12 エンタージョグ(ENTER)を押します
終了時刻の「分」が入力され、ウェイクアップタイマーで聞きたい放送局を選択する表示になります。

ST-01 FM 76.00MHz

- 13 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かすか、◀◀・▶▶ボタン、または+・-ボタンで、記憶させておいた放送局を選びます
リモコンの数字ボタンでダイレクトに選ぶこともできます。また、受信したい放送局がステーションに記憶されていない場合は、19 ページを参照して記憶させてください。

ST-02 FM 82.50MHz

- 14 エンタージョグ(ENTER)を押します
自動的に設定の確認になります。
「タイマーの種類」→「開始時刻」→「終了時刻」→「演奏される機器」→「音量」を順番に表示していきます。

OFF TIME 9:30

- 15 電源スイッチを押して電源をオフにします
スタンバイ状態になって、⌚が点灯します。

メモ

- ウェイクアップタイマーを設定したあとに、ステーションに記憶させた放送局の受信周波数が変更されたときは、変更後の状態でウェイクアップタイマーが動作します。
- ウェイクアップタイマーは、解除しない限り毎日、同時刻に実行されます。

注意

停電したり電源コードを抜くと、時計表示が「0:00」となり時計は動作しません。この場合はウェイクアップタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためてウェイクアップタイマーを設定し直してください。

FM/AM 放送を MD に留守録音する

レックタイマーといいます。レックタイマーは、FM/AM放送の留守録専用です。

一度実行すると解除されますので、次に実行する場合は再設定が必要になります。

必ず時計をあわせてから操作してください。(17 ページ参照)

アナログ録音となります。本機は自動的に録音レベルを設定します。

MD 記録曲数は最大 255 曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

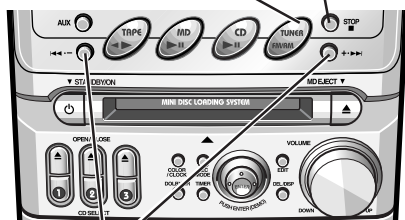


2 タイマー (TIMER) ボタン

エンタージョグ (ENTER) ボタン

チューナー (TUNER) ボタン

停止 (STOP) ボタン



◀◀・- ボタンまたは
+・▶▶ ボタン

午後 8 時 30 分から午後 9 時 15 分まで、FM 放送 82.50MHz を MD に録音するときの例

1. 録音用 MD を入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。
途中から自動的に引き込まれます。
誤消去防止状態になっている MD には録音できません。(48 ページ参照)
ディスクの録音可能時間を知ることができます。(49, 66 ページ参照)

2. タイマー (TIMER) ボタンを押します

3. エンタージョグ (ENTER) を上下に動かして、"REC TIMER" を選びます

TIMER MODE
REC. TIMER

4. エンタージョグ (ENTER) を押します

ON TIME 0:00

5. エンタージョグ (ENTER) を上下に動かして、開始時刻の「時」を合わせます 例の場合は、20 にします。

ON TIME 20:00

6. エンタージョグ (ENTER) を押します 開始時刻の「時」が入力されます。

ON TIME 20:00

7. エンタージョグ (ENTER) を上下に動かして開始時刻の「分」を合わせます 例の場合は、30 にします。

ON TIME 20:30

8. エンタージョグ(ENTER)を押します
演奏開始時間が設定されます。

ON TIME 20:30

9. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
終了時刻の「時」を合わせます
例の場合は、21 にします。

OFF TIME 21:00

- 10 エンタージョグ(ENTER)を押します
終了時刻の「時」が入力されます。

OFF TIME 21:00

- 11 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして終
了時刻の「分」を合わせます
例の場合は、15 にします。

OFF TIME 21:15

- 12 エンタージョグ(ENTER)を押します
終了時刻の「分」が入力され、レックタイマー
で留守録したい放送局を選択する表示になります。

ST-01 FM 76.00MHz

- 13 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かすか、
◀◀・ボタン、または+・▶▶ボタンで、記
憶させておいた放送局を選びます

リモコンの数字ボタンでダイレクトに選ぶこともで
きます。また、受信したい放送局がステーションに
記憶されていない場合は、19 ページを参照して記
憶させてください。

ST-02 FM 82.50MHz

- 14 エンタージョグ(ENTER)を押します

- 15 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
MD への録音を選びます

ST-02 FM → MD
82.50MHz

- 16 エンタージョグ(ENTER)を押します
「タイマーの種類」→「開始時刻」→「終了時刻」→
「録音する機器」→「音量」を順番に表示していき
ます。

- 17 電源スイッチを押して電源をオフにします
スタンバイ状態になって、●が点灯します。
⊙の点灯が消えると、ウェイクアップタイマーも
解除されます。
途中で設定を中止にする場合は、停止(STOP ■)ボ
タンを押します。
また、設定した内容を変更する場合は、はじめから
設定をやり直します。

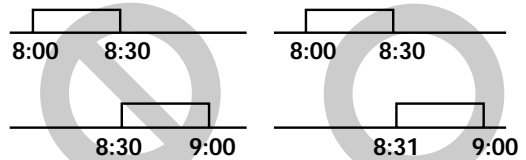
解除するには

電源がオフ(スタンバイ状態)のときにタイ
マー(TIMER)ボタンを押します

- の点灯が消えるまで押してください。

ウェイクアップタイマーとタイマー録音を組み合わせて使うには

ウェイクアップタイマーとタイマー録音が連続する設定を
するときは、設定時刻が重ならないように設定間隔を1分
以上あけてください。設定時間に間隔があいていないと、
あとに動作予定のタイマーが設定どおり動作しません。



ウェイクアップタイマーとタイマー録音を両方とも解除す
るときは、電源がオフ(スタンバイ状態)のときにタイマー
(TIMER)ボタンを押します。

“OFF”の表示が出てウェイクアップタイマーインジケ
ーター(⊙)とレックタイマー録音インジケーター(●)が消
え、タイマーを解除します。

注意

タイマー録音したあとは、音量は0になっています。
タイマー録音中は、音量は0になり音は出ません。
タイマー録音は、1度だけの動作です。
停電したり電源コードを抜くと、時計表示が「0:00」
となり時計は動作しません。この場合はレックタイ
マーの設定も解除されていますので、時刻を合わせ
てからあらためてレックタイマーを設定し直してく
ださい。

FM/AM放送をテープに留守録音する

レックタイマーといいます。レックタイマーは、FM/AM放送の留守録専用です。必ず時計をあわせてから操作してください。(17ページ参照)

一度実行すると解除されますので、次に実行する場合は再設定が必要になります。

TYPE I (ノーマル) を使用してください。TYPE II (クローム/HIGH) または TYPE IV (メタル) テープは、ご使用になれません。

テープの始めにリーダーテープ (録音できない部分) があるので、約5秒ほどテープを走行させておいてください。

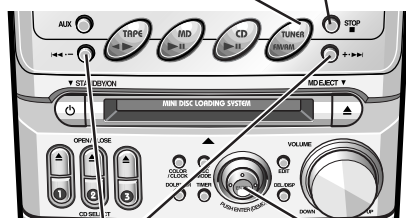
- 3 テープ(TAPE ◀▶) ボタン
- 1 テープイジェクト (PUSH OPEN ▲) 部



- 2 ドルビーNR (DOLBY NR) ボタン
- 5 タイマー (TIMER) ボタン

チューナー (TUNER) ボタン

停止 (STOP ■) ボタン

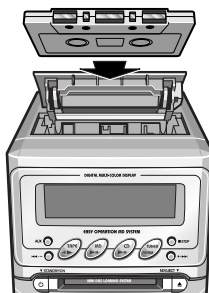


1<<・- ボタンまたは +・>>1 ボタン

エンタージョグ (ENTER)

午後8時30分から午後9時15分まで、FM放送82.50MHzをMDに録音するときの例

1. テープイジェクト (PUSH OPEN ▲) 部を押してカセットホルダーに録音用テープを入れます



イジェクト (PUSH OPEN ▲) 部は、テープが停止しているのを確かめてから押してください。

カセットテープをホルダー内に入れます。

手でカセットホルダーを押して閉めます。

2. ドルビーNR (DOLBY NR) ボタンを押して、オンかオフかを選びます

オンを選ぶと高域のノイズが低減されます。(26ページ参照)

押すごとに以下のように切り替わります。

ドルビーオンのときは、表示部に□□が点灯します。

ドルビー オン ◀————▶ ドルビー オフ
(□□点灯) (□□消灯)

3. テープ (TAPE ◀▶) ボタンを押して録音方向を切りかえます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止 (STOP ■) ボタンを押します。

◀ (リバース方向) ◀————▶ (フォワード方向)

テープをカセットホルダーにセットするとき、A面を上になれば▶がA面に、◀がB面になります。

4. 演奏モード (PLAY MODE) ボタンを押してリバースモードを選びます

押すごとに以下のように切り替わります。



◀▶ : 片面だけ録音して停止します。

◀▶ ◀▶ : 片面を1回ずつ(両面)録音して停止します。
ただし◀ (リバース方向) から録音を開始した場合は、片面 (リバース) 録音が終わると停止します。

5. タイマー (TIMER) ボタンを押します

TIMER MODE
WAKE UP TIMER

6. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
"REC TIMER" を選びます

TIMER MODE
REC. TIMER

7. エンタージョグ(ENTER)を押します

ON TIME 0:00

8. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
開始時刻の「時」を合わせます
例の場合は、20 にします。

ON TIME 20:00

9. エンタージョグ(ENTER)を押します
開始時刻の「時」が入力されます。

ON TIME 20:00

10. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして開
始時刻の「分」を合わせます
例の場合は、30 にします。

ON TIME 20:30

11. エンタージョグ(ENTER)を押します
演奏開始時間が設定されます。

ON TIME 20:30

12. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
終了時刻の「時」を合わせます
例の場合は、21 にします。

OFF TIME 21:00

13. エンタージョグ(ENTER)を押します
終了時刻の「時」が入力されます。

OFF TIME 21:00

14. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして終
了時刻の「分」を合わせます
例の場合は、15 にします。

OFF TIME 21:15

15. エンタージョグ(ENTER)を押します
終了時刻の「分」が入力され、レックタイマー
で留守録したい放送局を選択する表示になります。

ST-01 FM 76.00MHz

16. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かすか、
◀◀・ボタン、または▶▶・ボタンで、記
憶させておいた放送局を選びます
リモコンの数字ボタンでダイレクトに選ぶこともで
きます。また、受信したい放送局がステーションに
記憶されていない場合は、19 ページを参照して記
憶させてください。

17. エンタージョグ(ENTER)を押します

18. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
TAPE への録音を選びます

ST-05 FM → TAPE
82.50MHz

19. エンタージョグ(ENTER)を押します
「タイマーの種類」→「開始時刻」→「終了時刻」→
「録音する機器」→「音量」を順番に表示していき
ます。

20. 電源スイッチを押して電源をオフにします
スタンバイ状態になって、● が点灯します。

解除するには

電源がオフ (スタンバイ状態) のときにタイ
マー (TIMER) ボタンを押します
● の点灯が消えるまで押してください。

注意

タイマー録音したあとは、音量は0になっています。
タイマー録音中は、音量は0になり音は出ません。
タイマー録音は、1 度だけの動作です。
停電したり電源コードを抜くと、時計表示が「0:00」
となり時計は動作しません。この場合はレックタイ
マーの設定も解除されていますので、時刻を合わせ
てからあらためてレックタイマーを設定し直してく
ださい。

FM/AM 放送を MD とテープに留守録 音する

レックタイマーといひます。レックタイマーは、FM/AM放送の留守録専用です。必ず時計をあわせてから操作してください。(17 ページ参照)

一度実行すると解除されますので、次に実行する場合は再設定が必要になります。

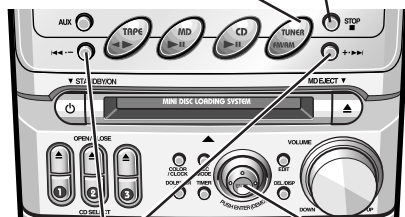
TYPE I (ノーマル) を使用してください。TYPE II (クローム / HIGH) または TYPE IV (メタル) テープは、ご使用になれません。

- 4 テープ(TAPE ◀▶) ボタン 2 イジェクト(PUSH OPEN ▲) 部



- 3 ドルビー NR (DOLBY NR) ボタン 6 タイマー (TIMER) ボタン

チューナー (TUNER) ボタン 停止 (STOP ■) ボタン



1◀◌・-- ボタンまたは +・▶▶ ボタン エンタージョグ (ENTER)

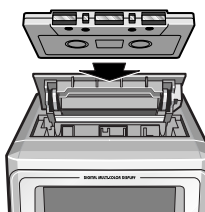
午後8時30分から午後9時15分まで、FM 放送 82.50MHzをMDとテープに録音するときの例

1. 録音用の MD を入れます



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。途中で自動的に引き込まれます。誤消去防止状態になっている MD には録音できません。(48 ページ参照)

2. テープイジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押しかセットホルダーに録音用テープを入れます



テープが停止しているのを確かめてから押してください。
↓
カセットテープをホルダー内に入れます。
↓
手でカセットホルダーを押して閉めます。

3. ドルビー NR (DOLBY NR) ボタンを押して、オンかオフかを選びます

ドルビー オン ◀────────▶ ドルビー オフ
(点灯) (消灯)

4. テープ(TAPE ◀▶) ボタンを押して録音方向を切りかえます

押すごとに切りかわります。録音開始方向を選んだら、停止 (STOP ■) ボタンを押します。

5. 演奏モード (PLAY MODE) ボタンを押してリバースモードを選びます

押すごとに以下のように切り替わります。



→ : 片面だけ録音して停止します。

↔ : 片面を1回ずつ(両面)録音して停止します。ただし ◀ (リバース方向) から録音を開始した場合は、片面 (リバース) 録音が終わると停止します。

6. タイマー (TIMER) ボタンを押します

**TIMER MODE
WAKE UP TIMER**

7. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
"REC TIMER" を選びます

TIMER MODE
REC. TIMER

8. エンタージョグ(ENTER)を押します

ON TIME 0:00

9. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
開始時刻の「時」を合わせます
例の場合は、20 にします。

ON TIME 20:00

- 10 エンタージョグ(ENTER)を押します
開始時刻の「時」が入力されます。

ON TIME 20:00

- 11 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして開
始時刻の「分」を合わせます
例の場合は、30 にします。

ON TIME 20:30

- 12 エンタージョグ(ENTER)を押します
演奏開始時間が設定されます。

ON TIME 20:30

- 13 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
終了時刻の「時」を合わせます
例の場合は、21 にします。

OFF TIME 21:00

- 14 エンタージョグ(ENTER)を押します
終了時刻の「時」が入力されます。

OFF TIME 21:00

- 15 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして終
了時刻の「分」を合わせます
例の場合は、15 にします。

OFF TIME 21:15

- 16 エンタージョグ(ENTER)を押します
終了時刻の「分」が入力され、レックタイマーで留
守録したい放送局を選択する表示になります。

ST-01 FM 76.00MHz

- 17 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かすか、
◀◀・ボタン、または▶▶ボタンで、記
憶させておいた放送局を選びます
リモコンの数字ボタンでダイレクトに選ぶこともで
きます。また、受信したい放送局がステーションに
記憶されていない場合は、19ページを参照して記
憶させてください。

- 18 エンタージョグ(ENTER)を押します

- 19 エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、
MD&TAPE への録音を選びます

ST-05 FM → MD
82.50MHz → TAPE

- 20 エンタージョグ(ENTER)を押します
「タイマーの種類」→「開始時刻」→「終了時刻」→
「録音する機器」→「音量」を順番に表示していき
ます。

- 21 電源スイッチを押して電源をオフにします
スタンバイ状態になって、● が点灯します。

解除するには

電源がオフ(スタンバイ状態)のときにタイ
マー(TIMER)ボタンを押します
● の点灯が消えるまで押してください。

注意

タイマー録音したあとは、音量は0になっています。
タイマー録音中は、音量は0 になり音は出ません。
タイマー録音は、1 度だけの動作です。
停電したり電源コードを抜くと、時計表示が「0:00」
となり時計は動作しません。この場合はレックタイ
マーの設定も解除されていますので、時刻を合わせ
てからあらためてレックタイマーを設定し直してく
ださい。

音楽を聞きながら 眠る

スリープタイマーと言います。設定した時間が経過すると自動的に電源がオフになります。音楽を聞きながら眠ったり、録音したまま外出したりするときに便利です。設定できる時間は、90分、60分、30分の3種類と、スリープオートです。操作はリモコンで行います。



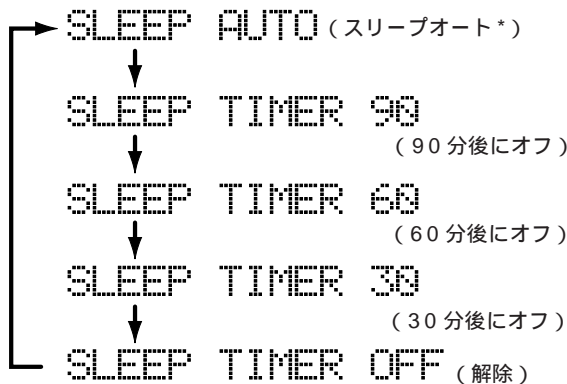
スリープ(SLEEP)
ボタン

注意

現在の時刻の設定がされていないと、スリープタイマーは動作しません。必ず17ページにて時計をあわせてから操作してください。
タイマーの動作が重なったときは、先に動作する方が優先します。
開始時刻が重なったときはレックタイマー、ウェイクアップ、タイマーの順に優先されます。
MD、CDのリピート演奏中は、スリープオートは選べません。
テープで (リバースモード) が選択されている場合は (リバース面) で電源オフとなります。

演奏中または録音中に、スリープ(SLEEP)ボタンを押します

押すごとに以下のように切り替わります。
"SLEEP" が点灯します。



* スリープオート(SLEEP AUTO)

CDやMD、テープの演奏中または録音中に選ぶことができます。(FM/AM放送はテープやMDに録音中の時だけ選ぶことができます。外部機器では選ぶことはできません。)演奏または録音が終了して本機が停止してから1分後に自動的に電源がオフになります。

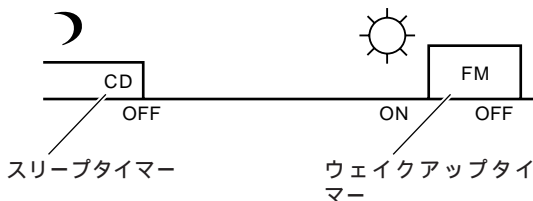
スリープタイマーの残り時間を確認するにはスリープタイマーの動作中に、スリープ(SLEEP)ボタンを押します。残り時間を表示します。もう一度押すと、設定時間が切り替わります。

タイマー動作を解除するには

スリープ(SLEEP)ボタンを押して、スリープタイマーオフ(SLEEP TIMER OFF)を選びます。表示部の"SLEEP"が消えます。

スリープタイマーとウェイクアップタイマーを組み合わせるには

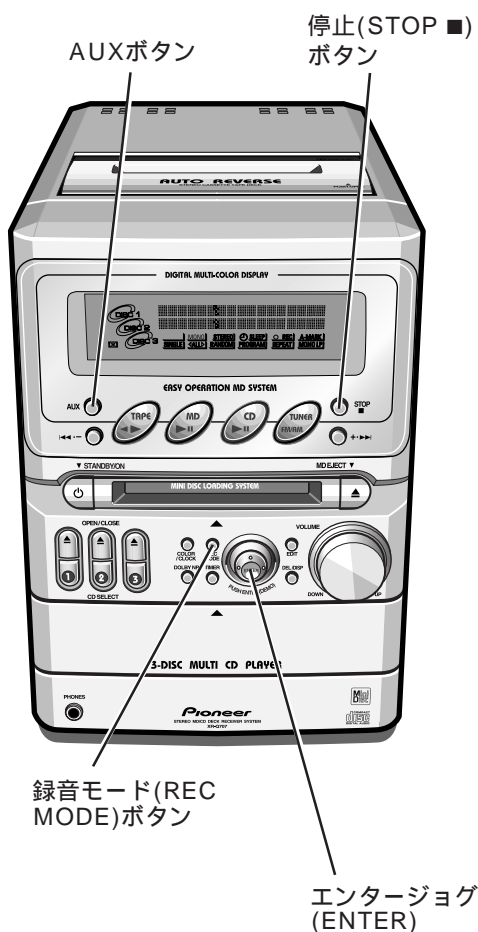
例えば、夜はCDを聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝はFMで目覚めるといったことができます。



外部機器を使う

10 ページで本機に接続した外部機器を聞いたり、本機の MD やテープに録音することができます。

本機と外部機器との接続はアナログ接続のため、MD への録音も全てアナログ録音となります。

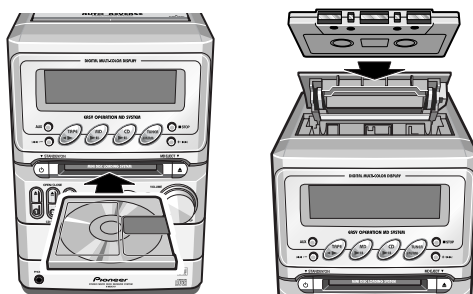


外部機器を聞く

1. AUX ボタンを押します
2. 外部機器を演奏をスタートさせます
音量を本機の音量調整ボリュームで行います。

外部機器を本機で録音する

1. 録音用の MD またはテープを入れます



テープに録音するときは

ドルビー NR(DOLBY NR)ボタンを押して、オンかオフかを選びます。

テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押して録音方向を切りかえます。

演奏モード(PLAY MODE)ボタンを押して演奏させてからリバースモードを選びます。

2. AUX ボタンを押します
3. 録音モード(REC MODE)ボタンを押して、録音モードの選択表示にします。
4. エンタージョグ(ENTER)を上下に動かして、以下のように切りかえます
MD に録音するときは "MD REC" を、テープに録音するときは "TAPE REC" を選びます。



5. エンタージョグ(ENTER)を押します
MD またはテープの録音が始まります。
6. 外部機器の演奏をスタートさせます
録音を停止する場合は、停止(STOP ■)ボタンを押します。

メモ

- MD とテープの両方とも録音ができる状態の時に、手順 3 ~ 5 に従って "MD REC" の操作をしたあと、同じく手順 3 ~ 5 に従って "TAPE REC" の操作を行なうと、MD とテープの両方に録音することができます。

CDの取り扱いかた

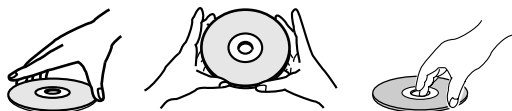
⚠ 注意

右記マークの付いたディスクをお使いください。
それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。



ディスクの持ちかた

信号面（虹色に光っている側）にふれないでください。

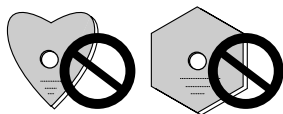


保管

- ◆ 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ◆ ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

⚠ 注意

特殊な形状のCDは使用しないでください。
ハートの形など、円形以外の形状のCDは使用しないでください。使用すると故障の原因になります。



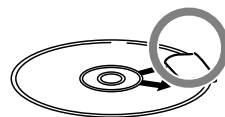
損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

ディスクのお手入れ

- ◆ 汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。



円周に沿って拭かない



柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く

- ◆ ディスクの清掃には別売ディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
- ◆ 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- ◆ ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。

⚠ 注意

レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。
のりなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。
特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどはみ出しを確認してから、ご使用ください。

⚠ 注意

ビデオCD [COMPACT disc DIGITAL VIDEO] または VIDEO CD は

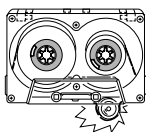
再生できません。

ビデオCDとは、MPEG方式で最大74分のデジタル画像／音声記録されているディスクです。

テープの取扱いかた

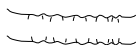
⚠ 注意

C-90を超えるテープ(C-100,C-120等)は厚みが非常に薄く、早送り、巻戻し、停止等を繰り返すと、ピンチローラやキャプスタンに巻き込んだり、テープが切れたりする原因になりますので、ご使用にならないください。



テープがからまる！

巻き乱れのあるテープ、わかめ状になったテープ、伸びたテープなどは、巻き込んだり切れたりする場合がありますのでご使用はおすすめできません。

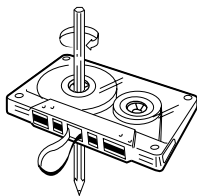


わかめ状になったテープ



伸びたテープ

テープたるみがあると巻き込んだりする場合がありますので、ご使用の前に図のようにたるみを取り除いてください。



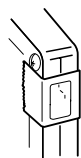
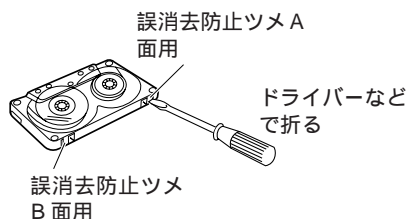
テープのはじめには、リーダーテープ(録音できない部分)があります。あらかじめ、約5秒間テープを走行させてから録音を始めてください。
また、録音前に早送り、早戻しをすると、テープの巻きムラによって起こるカセットデッキへの負担が防げます。

保管

カセットケースに入れて、ホコリ・油・湿気・磁気の影響を受けないところに保管してください。

録音したものを誤って消さないために

カセットテープの側面にある誤消去防止用のツメを折ってください。ツメを折っても、穴をセロハンテープなどで二重にしっかりと貼れば録音することができます。



カセットデッキのヘッドは汚れていませんか？

- ・ いままでにお客様の製品で、カセットデッキのヘッド汚れによるこんな故障がありました。
正常に録音できない・音がこもっている
高音が出ない・正常に再生しない
音が出ない・音がおかしい
- ・ それほどにヘッド部の清掃は重要なのです。
製品を自分で故障させないために、いつもきれいにしておいてください。
おおよそ10時間程度の使用を目安に汚れを拭きとってください。

清掃のしかた

- ① イジェクト(PUSH OPEN ▲)部を押し、カセットホルダーを開ける。
 - ② クリーニングカセットをセットする。
 - ③ テープ(TAPE ◀▶)ボタンを押してテープを走行させる。
- 乾式のクリーニングカセットは使用しないでください。別売のカセットクリーニングキット“JV-C1”のご使用をおすすめします。

注意

- ・ 清掃後は、クリーニング液が乾くまで(2~3分)テープをセットしないでください。

クリーニングカセットについて

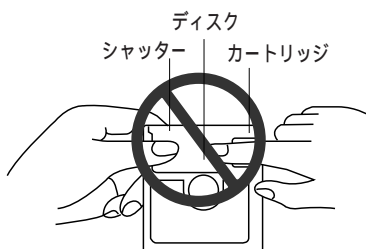
市販されているクリーニングカセットの中には、構造不備のため、クリーニングカセット自体が取り出せなくなる恐れのあるものがありますのでご注意ください。

MD の取扱いかた



注意

- ・ディスクに直接触れないでください。
- ・シャッターを無理に開けるとこわれます。
- ・分解しないでください。



下記マークの
ディスクをお使
いください。



MD とは

- 直径64mmのMDをカートリッジに収めたもので、ホコリに強く、キズもつきにくいなどCDに比べ取り扱いが簡単です。
- 録音や再生はデジタル方式ですので、CDに迫る高音質を再現します。また、テープのようにからんだり、伸びたりすることがなく、音質も劣化せず耐久性に優れています。

MD の種類について

再生専用と録音・再生用があります。

再生専用MD(録音はできません)

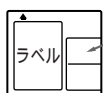
CDと同じ光ディスクを使っています。



シャッターが裏面にあります

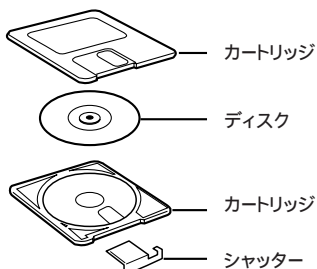
録音・再生用MD

光磁気ディスクを使っているので、繰り返し録音することができます。



シャッターが両面にあります

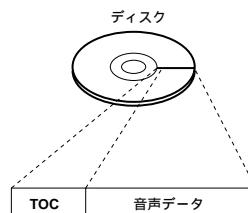
MD の構造 (録音用)



MDは絶対に分解しないでください。

TOC(トック)による管理

MDの大きな特長は、高速で目的の曲の頭出しができたり、曲順を簡単に並べかえたり、削除したりできることです。これは、曲番や曲名などのディスク情報をTOCで管理しているためです。



保管

- ・ ケースに入れて保管してください。
- ・ 次のようなところには保管しないでください。
 - 高温多湿の場所
 - 直射日光が当たる場所
 - 砂やホコリの入りやすい場所

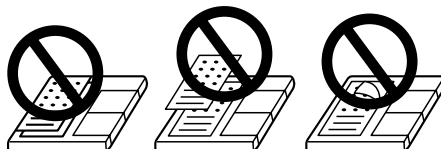
カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

ラベルの貼付けについて

以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MDが取出せなくなります。

- ・ 指定の場所(エリア内)に貼ってください。
- ・ 重ねて貼付けないでください。
- ・ ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。



MD のシステム上の制約

MD は従来のカセットテープや DAT とは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。

これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MD の最大録音時間になっていないのに“ ^{トラック} TOC FULL ”が表示されることがある。	MD では、TOC に MD 上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大 (255 曲) になっていなくても、TOC の情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 (このような MD は、全曲イレース機能を行えば最初から使用できます。)
MD の最大録音時間になっていないのに“ ^{ディスク} DISC FULL ”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12 秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MD に録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1 クラスタ (約 2 秒) を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約 2 秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MD にキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 (録音中に“ ^{デフェクト} DEFECT ”と表示され、MD の曲番が自動的に増えます。)
編集で曲と曲をつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なった MD では、コンバイン機能を使えないことがあります。
録音された曲を早戻し / 早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なった MD では、早戻し / 早送り中に音がとぎれることがあります。

日ごろのお手入れ

CD レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されている CD レンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものあるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ~ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ (結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。

このような場合には 1 時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

音のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに関心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

こんな表示が出たときは

表 示	意 味	このようにしてください
ノー ディスク NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが入っていない。 ● MDのデ-タが読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDを入れる。 ● MDをもう一度入れ直す。
ディスク エラー DISC ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズがついている。 ● TOCがMDに書き込まれていないか、デ-タに異常がある。 ● デ-タに異常がある。規格外のMDである。 ● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDをもう一度入れ直す。 ● 他のMDと取りかえる。 ● 他のMDと取りかえる。 ● 他のMDと取りかえる。 ● オ-ルイレ-スをし、録音をやり直す。
ディスク フル DISC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● MDに録音できる空きがない。 ● 255曲録音されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取りかえる。 ● 他の録音用MDと取りかえる。
ブランク BLANK	<ul style="list-style-type: none"> ● 何も記録されていない。 (音楽もディスク名も記録されていない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生するときは、録音されたMDと取りかえる。
00:00	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽が録音されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音されたMDと取りかえる。
トラック フル TOC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字情報(ディスク名/曲名など)を登録する空きがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取りかえる。
キャント レコ Can't REC	<ul style="list-style-type: none"> ● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。 ● MDが誤消去防止状態になっている。 ● 再生専用MDに録音をしようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音をやり直すか、MDをかえてみる。 ● 誤消去防止ツマミを移動する。(ツマミを閉じる) ● 録音用MDと取りかえる。
テンプ オーバー TEMP OVER	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度が高くなりすぎた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切ってしばらく休ませる。
キャント エディット Can't EDIT	<ul style="list-style-type: none"> ● 編集できない。 ● 再生専用MDに編集をしようとした。 ● 誤消去防止状態になっているMDに編集しようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。 ● 録音用MDと取りかえる。 ● 誤消去防止ツマミを移動する。(ツマミを閉じる)
ネーム フル NAME FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク、曲名の合計が100文字をこえている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名/曲名を短くする。
メカ エラー MECHA ERR** (**は数字や記号です)	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが正しく働いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 停止ボタンを押す。それでも表示が出る場合、電源プラグを抜いて再度つないでみる。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外(例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輛、船舶への搭載使用)で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

故障？ちょっと調べてください

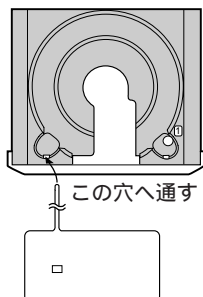
故障かな？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	症状	原因とおもわれること	処置
全てに共通	音がでない。	電源プラグがはずれている。 すべてのコードが完全に接続されていない。	電源プラグを正しく接続する。 接続のしかたを参照して、正しく接続する。 (P.8 参照) 聞きたい機器を選択する。
C D 関係	再生ボタンを押しても演奏が始まらない。あるいはディスクが出てくる。	ディスクの裏表を逆にセットしている。 ディスクに汚れやくもりなどがある。 ディスクに大きなキズやソリなどがある。	ディスクのレーベル面 (印刷のある面) を上にし、正しくセットする。 ディスクをクリーニングする。(P.92 参照) ディスクを交換する。
	音が出ない。	入力切換が CD になっていない。 一時停止状態になっている。	CD 再生 / 一時停止ボタンを押す。
	CDトレイを閉めても自動的に開いてしまう。	ディスクが正しくセットされていない。 2枚以上のディスクを重ねてセットしている。	ディスクを正しくセットする。(P.20 参照) ディスクをいったん取り出し、再度演奏したいディスクを1枚だけCDトレイにセットする。
	“ MECHA ERROR ” が表示される。	CD が正しく働いていない。	停止ボタンを押す。それでも表示が出る場合、電源プラグを抜いて再度つないでみる。
テープ関係	カセットホルダーが開かない。	テープ走行中に電源コードを抜いた。 テープが走行中である。	電源コードを入れ直す。 停止ボタンを押してから、カセットホルダーを開ける。
	録音ができない。	誤消去防止用ツメが折れている。 ヘッドが汚れている。 TYPE II (クローム / HIGH) 又は TYPE IV (メタル) を使用している。	テープを交換するか、またはツメの部分にセロテープを貼って穴をふさぐ。 ヘッドを清掃する。(P.93 参照) TYPE I (ノーマル) テープを使用する。
	音がかもる。録音済みのテープの上から重ねて録音したとき、前の音が残る。	ヘッドが汚れている。 TYPE II (クローム / HIGH) 又は TYPE IV (メタル) テープを使用している。	ヘッドを清掃する。(P.93 参照) TYPE I (ノーマル) テープを使用する。
	音がかもる。高音が強調されすぎる。	ドルビー NR 切換ボタンが録音したときと同じになっていない。 TYPE II (クローム / HIGH) 又は TYPE IV (メタル) テープを使用している。	ドルビー NR 切換ボタンを切り換える。 (P.26 参照) TYPE I (ノーマル) テープを使用する。
放送関係	放送が聞こえない、聞き苦しい。	アンテナが接続されていない。 アンテナの向き、位置が悪い。 電気器具 (蛍光灯、ドライヤーなど) を使用している。	アンテナを正しく接続する。(P.9,10 参照) アンテナの向きや位置を調整する。 雑音を発生させる機器の使用をやめる。
	放送がステレオなのにステレオにならない。	表示部のモノインジケータが点灯している。	リモコンのモノボタンを押してモノインジケータを消灯する。(P.18 参照)
M D 関係	録音ができない。	MD が誤消去防止状態になっている。 再生専用 MD (市販の音楽ソフト) に録音しようとしている。 TOC FULL (トックフル) になっている。	誤消去防止ツマミを移動する。(ツマミを閉じる。) 録音できる MD に交換する。 新しい録音用 MD と交換する。
	モノラルで録音されてしまう。	モノラル長時間モードになっている。	録音前に録音モードをステレオ録音に設定する。
	MDを入れても “ NO DISC ” や “ ERROR ” が表示される。	ディスクにキズが付いている。 振動の多い不安定な場所で使用している。	録音モードをステレオモードにする。 新しい MD に交換する。 平らな安定した場所に移し変える。
	再生音がとぎれる	結露現象が起きている。(P.95 参照)	1時間ほど放置してから使用する。
その他	タイマーが動作しない。	現在時刻の設定がされていない。	現在時刻を設定する。(P.17 参照)
	リモコンがきかない。	リモコンの電池がなくなっている。 蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。	新しい電池に換える。(P.7 参照) 蛍光灯をリモコン受光部から離す。
	表示の色が厳密に 8 色になっていない。	使用される室内環境温度や長期の使用による経年変化、発光素子のバラツキにより、色合いが異なるため、厳密な色再現性はありません。	赤、緑、青の3色を選んで点灯確認をしてください。 赤、緑、青の3色がそれぞれ点灯していれば故障ではありません。

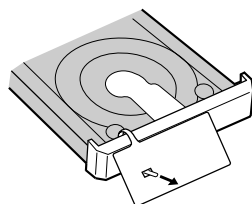
- テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

輸送用ストッパーを取付ける

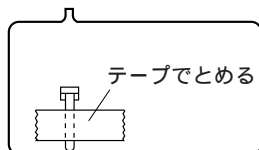
1.



2.



3.



- (例) ① CD 選択ボタンの DISC3 を押します。
② CD オープン / クローズボタンの DISC1 を押します。ディスクトレイ 1 の下にディスクトレイ 2 が重なっている状態になります。

1. ディスクトレイの左手前の穴にストッパーの先を通します
2. ストッパーの先を裏側から穴に通して、しっかりと引張ります
3. 前にでてきたストッパーの先を下側に折りテープでとめます
CD トレイを押さないように注意してください。
4. 電源スイッチを押して CD トレイを閉めます
他のボタンを押さないでください。
5. 時計表示になったら電源コードを抜きます

注意

ストッパーをつける前に MD、CD、テープなどはすべて本機から取り出しておいてください。
ストッパーは CD トレイの中のディスクトレイが 2 枚重なっている状態でとめます。

アフターサービス

保証書 (別に添付してあります。)

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 8 年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。
お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ・ご住所
- ・ご名前
- ・電話番号
- ・製品名 (製品名: X-MDX707)
- ・型番
- ・ご購入日
- ・故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)
- ・訪問のご希望日
- ・ご自宅までの道順と目標 (建物、公園など)

保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。

仕様

レシーバー部

アンプ部

実用最大出力 (EIAJ)

1kHz、10%、6Ω 15 W + 15 W

FM チューナー部

受信周波数 76.0 ~ 108 MHz

アンテナ 75 Ω 不平衡型

AM チューナー部

受信周波数

..... 522 kHz ~ 1,629 kHz (9 kHz ステップ)

..... 530 kHz ~ 1,700 kHz (10 kHz ステップ)

アンテナ ループアンテナ (付属)

コンパクトディスクプレイヤー部

型式 コンパクトディスクオーディオシステム

使用ディスク コンパクトディスク

チャンネル数 2 チャンネル (ステレオ)

カセットデッキ部

トラック方式 4トラック 2チャンネルステレオ

録音 / 再生ヘッド ×1

消去ヘッド ×1

SN比 * 50 dB

(ピーク録音レベル、聴感補正)

DOLBY B タイプ NR ON 5 kHz で 10 dB 改善

* 印は日本電子機械工業会 (EIAJ) 規格に定められた測定方法による数値です。

ミニディスク部

記録方式 磁界変調オーバーライト方式

再生方式 非接触光学式

サンプリング周波数 44.1 kHz

周波数特性 20 Hz ~ 20 kHz

電源部・その他

電源電圧 AC100 V、50/60 Hz

消費電力 (電気用品取締法) 38 W

スタンバイ時消費電力 3 W

外形寸法 160 (幅) × 237 (高さ) × 350 (奥行) mm

本体質量 6.5 kg

スピーカー部

型式 パスレフ式ブックシェルフ型

使用スピーカー (2 ウェイ方式)

低音用 (ウーファー) 10 cm (コーン型)

高音用 (トゥイーター) 2 cm (圧電型)

公称インピーダンス 6 Ω

再生周波数帯域 55 ~ 20,000 Hz

最大入力 20 W (EIAJ)

外形寸法 130 (幅) × 234 (高さ) × 226 (奥行) mm

本体質量 1.9 kg

付属品

保証書 1

取扱説明書 1

安全上のご注意 1

ご相談窓口・修理窓口のご案内 1

FM T 型 アンテナ 1

AM ループアンテナ 1

リモートコントロールユニット (リモコン) 1

単 3 形乾電池 (R6P) 2

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

索引

ア オートマーク機能 65

オールイレース機能 72

ウェイクアップタイマー 80, 82

カ コンバイン機能 67, 69

サ スリープタイマー 90

タ テープシンクロ録音 58

ディスクネーム機能 73, 75

デバインド機能 67, 68

トラックイレース機能 72

トラックネーム機能 73, 74

ハ プログラム演奏 24, 40

プログラムムーブ機能 41, 67, 71

プログラムリピート演奏 23, 39

マ マニュアル録音 36, 46, 56, 60, 64

ミュージックサーチ 27

ムーブ機能 67, 70

ラ ランダム演奏 22, 39

ランダムリピート演奏 22, 23, 39

リピート演奏 23, 39

レックタイマー 84, 86, 88

レンタルCD録音 34, 54, 62

C CDシンクロ録音 30, 50, 62

CDプログラムシンクロ録音

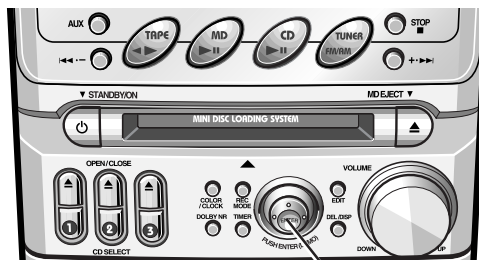
..... 32, 52, 62

M MDシンクロ録音 42

MDプログラムシンクロ録音 44

デモモードについて

- 電源プラグをコンセントに差し込むとデモモードになり電源オンになります。停電した後にもデモモードに入ります。また、CDやMD、テープの演奏または録音が終了してからしばらくした後もデモモードの表示になります。電源オフのときにエンタージョグ(ENTER)を約3秒間押しつづけても、デモモードになり電源オンになります。デモモードではこのシステムのバラエティーに富んだ機能が表示部に表示されます。
- デモモードを一時的に解除するには、本体またはリモコンの電源スイッチか、ダイレクトパワーオンに対応しているボタン(13ページ参照)を押してください。
- 電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、CDやMD、テープの演奏または録音が終了してもデモモードに入らないようにするには、電源がオフの時にエンタージョグ(ENTER)を約3秒間押しつづけてデモモードの表示にした後、再度エンタージョグ(ENTER)を約3秒間押しつづけてください。デモモードを解除したことをセットが記憶します。ただし、デモモード解除をセットが記憶した場合でも、停電や電源プラグを抜いた状態で12時間以上放置しますと、再度電源プラグをコンセントに差した時にデモモードを表示する場合があります。
- 解除したデモモードを再びデモモード表示させるときは、電源がオフの時にエンタージョグ(ENTER)を約3秒間押しつづけます。デモ表示が行なわれ、デモモードが設定されます。電源スイッチを押して電源を入れてから、通常の操作を行ってください。



エンタージョグ
(ENTER)

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

カーステレオ/カーナビゲーション製品に関するお問合せ窓口

☎0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問合せ窓口

☎0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口

☎0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。